

MAX

DESK TOP SIGN CREATOR

LC-100KP

取扱説明書

BePOP



ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

文字の入力

2桁数字の入力  P.33

第50回

2桁数字

- **シフト** + **2桁数字** **絵文字** を押す。
- 数字キーで数字を入力する。

絵文字 (シンボル) の入力  P.30



ピクトサイン キャッチコピー イラスト

- **絵文字** を押す。
- カーソルキーでグループを選び、**実行** を押す。
- カーソルキーで入力する絵文字を選び、**実行** を押す。

□ごとに設定する (□以外の場所で操作すると、新たに□が挿入されます。)

文字サイズ  P.51.52

字字字

サイズ

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **サイズ** を押す。
- **[文字サイズ]**
30mm
10~180mm
希望するサイズを入力し、**実行** を押す。

- 英数字は、設定サイズの約80%の大きさです。
- 実際の文字サイズが100mmを超えると分割作画になります。

文字幅  P.53

AA A
文字幅

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **文字幅** を押す。
- **[文字幅]**
200%
50~200%
希望する文字幅を入力し、**実行** を押す。

- 縦書き時に実際の文字幅が100mmを超えると分割作画になります。
- 文字幅 = 文字サイズ + 設定値です。
- 文字幅設定200%で文字幅が文字高さの2倍になります。

文字間隔  P.55

A B
文字間

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **文字間** を押す。
- **[文字間隔]**
3%
1~100%
希望する文字間隔を入力し、**実行** を押す。

- 文字間隔100%で行間隔 = 文字サイズとなります。

行間隔  P.56

ABC
DEF
行間隔

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **シフト** + **文字幅** を押す。
- **[行間隔]**
10%
1~100%
希望する行間隔を入力し、**実行** を押す。

- 行間隔 = 文字サイズ × 設定値となります。
- 複数の **□** が設定されている行では、最も大きい行間隔が有効となります。

書体  P.54

太丸G
太角G

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **書体** を押す。
- **[書体]**
太丸G 太角G
カーソルキーで希望する書体を選び、**実行** を押す。

- 書体バック (別売) のセット時には、その書体名も表示されます。

斜体  P.57

A A
斜体なし 斜体あり

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **斜体** を押す。
- **[斜体]**
する しない
カーソルキーで「する」を選び、**実行** を押す。

- 斜体の傾斜角度は一定です。

均等配列  P.58

ABC
A B
均等配列作画範囲

- カーソルを **□** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。
- **均配** を押す。
- **[均等配列]**
する しない
カーソルキーで「する」を選び、**実行** を押す。
- **[均等配列]**
200mm
20~2000mm
配列する長さを入力し、**実行** を押す。

- 文字数が多い場合、設定されている文字サイズの50%まで文字幅を自動縮小します。
- 設定範囲は、次の **□** または文末までです。

色の設定 (2色以上の設定でカラフル印刷) P.60~62

●カーソルを **[P]** に合わせるか、設定したい文字に合わせる。

● **(シフト) + (斜体)** を押す。

● **[色]**

色1 色2 色3

カーソルキーで色を選び、**(実行)** を押す。

●色1、2、3は、印刷時のリボン装着順序です。色1は、最初に装着した色のインクリボンで印刷する、ということになります。

●2色以上設定すると、印刷時にカラフル印刷の手順が画面に表示されます。

パラメーター一覧表示 P.63

パラメータリスト (1)

パラメータリスト (1)
 サイズ 30mm
 モシバ 100%
 ショカン 3%
 キョフカン 10%
 キントウ シナイ
 ショクタイ シナイ
 ショタイ フトマルG

●入力画面上で表示したい **[P]** にカーソルを合わせる。

● **(シフト) + (イメージ)** を押す。

● **[パラメータリスト (1)]**

パラメータリスト (1)
 サイズ 30mm
 モシバ 100%
 ショカン 3%
 キョフカン 10%
 キントウ シナイ
 ショクタイ シナイ
 ショタイ フトマルG

カーソルキーを押して、画面を切り替える。

● **(実行)** または **(戻る)** を押して、入力画面に戻る。

●パラメーター一覧画面から **[P]** の設定ができます。

ラベル全体にかかわる設定

枠囲み P.69~73

表枠

矩形

長円

円

長丸

メモ

左矢

右矢

影付き

表札

吹出し

リボン

● **(枠囲み)** を押す。

● 枠囲み = **なし**

左右カーソルキーで枠線種を選び、**(実行)** を押す。

● **[枠線情報]**

枠の太さ 2mm
 枠と字の間 3mm
 反転 しない

必要な数値を入力し、**(実行)** を押す。

●矢印枠では、さらに矢印情報の入力画面が表示されます。

●カラフル印刷する時の枠線の色は、色1固定です。

反転 (枠囲み) P.72.74

表枠

矩形

長円

円

長丸

メモ

左矢

右矢

影付き

表札

吹出し

リボン

● **(枠囲み)** を押す。

● 枠囲み = **なし**

左右カーソルキーで枠線種を選び、**(実行)** を押す。

● **[枠線情報]**

枠の太さ 2mm
 枠と字の間 3mm
 反転 **しない**

必要な数値を入力し、反転「する」を選び、**(実行)** を押す。

●矢印枠では、さらに矢印情報の入力画面が表示されます。

●カラフル印刷する時の枠線の色は、色1固定です。

矢印 (入力文字に矢印を付けて印刷) P.82~84

● **(シフト) + (矢印 枠囲み)** を押す。

● **[矢印位置]**

左 (縦書き時: 上)
 右 (縦書き時: 下)
 両方

カーソルキーで矢印を付ける位置を選び、**(実行)** を押す。

● **[矢印長さ]**

200mm
 10~2000mm

矢印部分の長さを入力し、**(実行)** を押す。

待合室

矢印長さ

●入力文字部分の高さ (縦書き時は幅) に合わせた大きさの矢印を付けて印刷します。

位置合わせ P.78.79

前寄
 上配置にしてみる

中央
 中配置にしてみる

後寄
 下配置にしてみる

● **(位置合)** を押す。

● **[位置合わせ]**

複数行の揃え方
 前寄 中央 後寄

左右カーソルキーで揃え方を選び、**(実行)** を押す。

● **シート幅出力位置**

上配置
 中配置
 下配置

上下カーソルキーで、シート幅のどの位置に出力するかを選び、**(実行)** を押す。

●1行入力時は複数行の揃え方設定は無効となります。

縦書き (横書き) にする P.76

● **(縦・横)** を押す。

● **[横書・縦書]**

横書 縦書

カーソルキーで「縦書」を選び、**(実行)** を押す。

横 ABC

縦 ◀mU

●横書きにする場合は、同様に横書きを選びます。

【その他の機能】

以下の機能については、取扱説明書を参照ください。

機能	参照ページ
◆作画方向	P.80
◆桁合せ	P.77
◆逆順	P.90
◆シート種類選択	P.103
◆連続印刷	P.86、87
◆連番印刷	P.88、89
◆ミラー (鏡像) 印刷	P.92

必ずお読み下さい

1. はじめに

この度はビーポップ LC-100KPをご購入いただき、誠にありがとうございます。本機はラベルやサインなどの表示物作成作業の効率と品質の向上を目指して開発された、スタンドアロンタイプのデスクトップ・サイン・クリエイターです。本機では、文字作成専用のダイレクトファンクションキーを設け、どなたにでも最初から簡単なキー操作で品質の高い文字がスピーディーに作画できます。表示物作成作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書にしたがってお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

2. ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■表示について

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

 **お願い** 機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

 **メモ** 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

 **参照** 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

 は「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。

 は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。

 は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

LC100KP のご使用上の注意(1)

⚠ 警 告

	本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。
	電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災や感電原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	リチウム電池（ボタン型電池）はお子様の手が届かないところに保管してください。メモリパック（LC-100M）は、リチウム電池が使われています。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまった時は、すぐに医師の指示を受けてください。
	ハサミ部には、絶対に手や物を差し入れないでください。機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じることがあります。

LC100KP のご使用上の注意 (2)

⚠ 注 意

	大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	コードの接続、オプションパック、メモリパック及び書体パックの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行ってください。電源ONのまま接続および装着脱すると、けがや故障の原因となります。
	電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	メモリパックに保存した内容や内部メモリに保存した文章は、永久的な保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
	プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印刷直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがプリンタヘッドの故障の原因になることがあります。
	本機内部に粘着シート、インクリボン、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミの動作が正常にはたらかない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したときけがの原因になります。
	ドアカバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください。
	本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体側面部を持って運んでください。けが、故障の原因となります。

ご使用上のお願い

お願い 機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

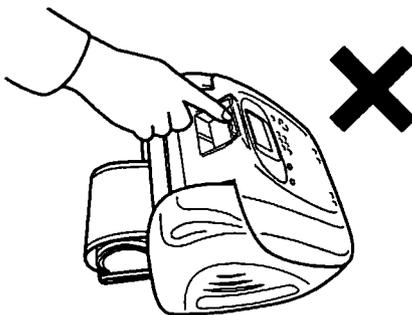
- ① 電源が入っているときに、シートをセットした状態で強く引っ張らないでください。



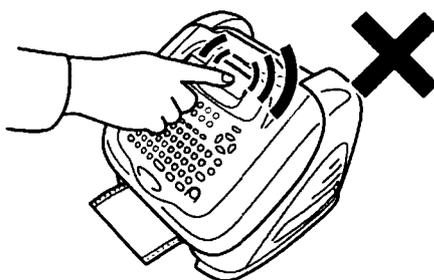
- ② 印刷中に電源を切らないでください。



- ③ 装着端子には手で直接触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。



- ④ ディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。

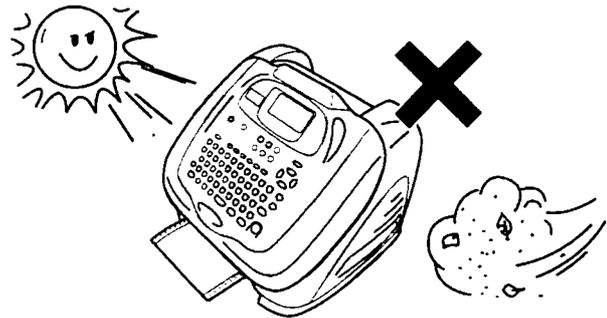


- ⑤ 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布でふいてください。有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。

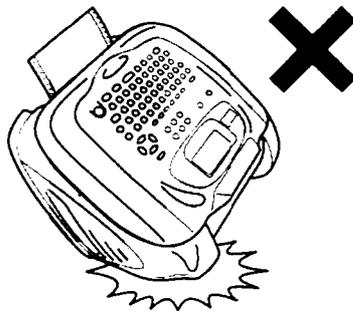


- ⑥ トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管しないでください。

1. 直射日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
2. ほこりや湿度の多い場所
3. 振動や衝撃の加わる場所
4. 温度が10℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
5. 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



- ⑦ 落としたり、ぶついたりして、強いショックを与えないでください。



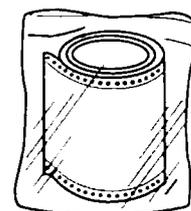
- ⑧ 消耗品（粘着シート、インクリボン）、及びオプション（オプションパック、書体パック、メモリパック）は専用のものをお使いください。その他のものは絶対に使わないでください。



消耗品、オプション品については「第1章 2. 消耗品／オプション品のご紹介」3ページを参照ください。

- ⑨ 粘着シートにホコリやゴミ等が付着すると、LC-100KPでの印刷時にインクが点状に抜けることがあります。粘着シートの保管は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミ等が付着しないようご注意ください。

なお、ホコリやゴミが付着した場合は布等で取り除いてからご使用ください。



目次

必ずお読み下さい	I
1. はじめに	I
2. ご使用上の注意	I
LC100KPのご使用上の注意(1)	II
LC100KPのご使用上の注意(2)	III
ご使用上のお願い	IV
第1章 お使いになる前に	1
1. 同梱品をご確認下さい	2
2. 消耗品／オプション品のご紹介	3
2.1 消耗品について	3
2.2 オプション品(別売)について	4
3. お使いになる前に	5
3.1 本体各部の名前とはたらき	5
3.2 詰替インクリボンのセットのしかた	7
3.3 インクリボンカセットのセットのしかた	10
LC-100KPにインクリボンカセットをセットする	10
LC-100KPからインクリボンカセットを取り外す	11
3.4 ビーポップシートのセットのしかた	12
LC-100KPにビーポップシートをセットする	12
3.5 起動	14
4. 主なキーの役割とディスプレイの見かた	15
4.1 キーの役割	15
4.2 ディスプレイの見かた	19
4.3 カーソルの移動と画面のスクロール	20
2章 文字や記号、絵文字の入力	21
1. 文字の入力	22
1.1 ローマ字入力のしかた	22
1.2 かなでの入力のしかた	23
1.3 英数字での入力のしかた	24
1.4 漢字変換のしかた	25
熟語変換のしかた	25
単漢字変換のしかた	26
1.5 ひらがな／カタカナ変換のしかた	27
ひらがなと漢字が混ざった文章を変換する	27
2. 記号の入力	29
2.1 記号を入力する	29
3. 絵文字の入力	30
3.1 絵文字を入力する	30

4.	JISコードによる入力	32
4.1	JISコードで文字を入力する	32
5.	2桁数字の入力	33
5.1	2桁数字を入力する	33
6.	熟語を登録／削除する	34
6.1	熟語を登録する	34
6.2	熟語を削除する	36
第3章 文字を削除する／データをクリアする		37
1.	カーソルキーのはたらき	38
2.	文字を削除する	39
3.	入力文章をクリアする	40
4.	設定した書式をクリアする	41
第4章 簡単なサインを作ってみる（基本操作）		43
1.	電源を入れる	44
2.	文字を入力する	45
3.	文字に装飾を付ける	45
4.	イメージ表示して確認する	46
5.	プリントする	47
6.	はさみで切る	48
第5章 基本パラメータ		49
1.	P に設定される項目	50
1.1	基本パラメータ（ P ）とは	50
1.2	文字サイズの設定（標準作画）	51
1.3	文字サイズの設定（分割作画）	52
1.4	文字幅の設定	53
1.5	書体の設定	54
1.6	文字間隔の設定	55
1.7	行間隔の設定	56
1.8	斜体の設定	57
1.9	均等配列の設定	58
1.10	色の選択	60
1.11	パラメータを一覧表示で確認する	63
第6章 改行や改ブロックで編集する		65
1.	改行	66
2.	改ブロック	67
第7章 枠囲み（文字を枠で囲む、反転させてプリントする）		69
1.	枠囲みの種類	70
2.	枠囲みのしかた	71
3.	矢印枠線囲みのしかた	73
4.	反転印字のしかた（黒板用途などに適します）	74

第8章 ラベル全体にかかわる設定	75
1. 縦書・横書の設定	76
2. 桁合わせをする（文字ピッチを固定する）	77
3. 位置合わせをする（複数行の中央揃え、シートの真中に印刷するなど）	78
4. シートに対する作画方向を変える	80
第9章 矢印の印刷	81
1. 矢印の種類	82
1.1 矢印を付ける位置	82
1.2 矢印の長さ	82
2. 矢印をつけてプリントする	83
第10章 その他の便利な機能	85
1. 連続で出力する	86
2. 連番で出力する	88
3. 文字の配列を逆にする（逆順）	90
4. 下線を引く	91
5. ミラー（鏡像）で出力する	92
第11章 メモリの使い方	93
1. 内部メモリの使いかた	94
1.1 メモリを登録する	94
1.2 登録したメモリを呼び出す	96
1.3 不要になったメモリを削除する	97
1.4 メモリをすべて削除する（全削除）	98
2. メモリパックの使いかた	99
2.1 メモリパックを装着脱する	99
2.2 メモリパックへの登録／呼出／削除／全削除	100
第12章 システムの基本設定	101
1. 輝度調整のしかた	102
2. シート種類の選択	103
3. 印字の濃さの調整	104
4. シート後端に余白をつける	105
第13章 書体パックの使い方(オプション)	107
1. 書体パックの種類	108
2. 書体パックのセットのしかた	110
3. オプション書体の設定	111

第14章	オプションパックの使い方	113
1.	オプションパックとは	114
2.	オプションパックのセットのしかた	115
第15章	図形の読み取り (オプション)	117
1.	必要なオプション	118
2.	読み込んだ図形の呼出しかた	120
第16章	こんなときは	123
1.	エラーメッセージと対処方法	124
2.	故障かなと思う前に	127
3.	SL-Rカセット トラブルシューティング	129
付録		
1.	搭載文字一覧表 (JISコード一覧表)	付1
2.	絵文字一覧表	付16
3.	初期値一覧表	付20
4.	ローマ字入力規則表	付21
5.	商品仕様	付22
6.	保証書/保守サービス	付23

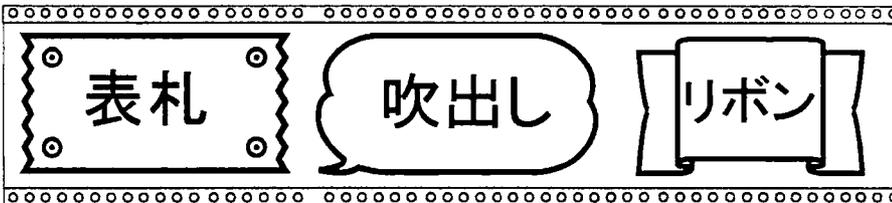
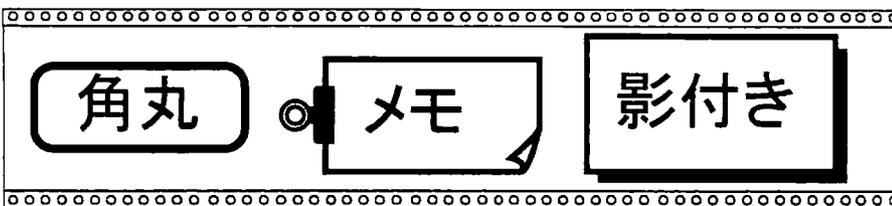
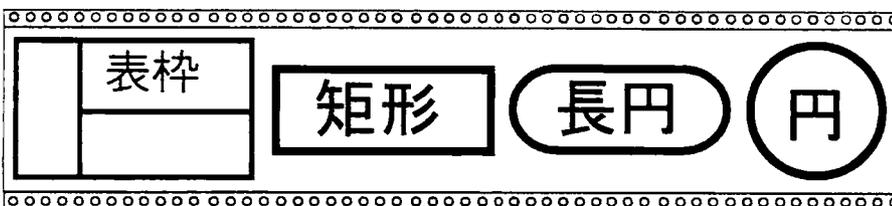
こんなことができます

1. 特殊な印刷も

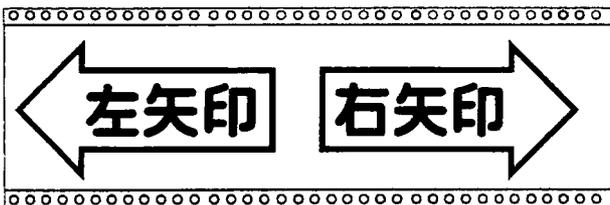
- 反転してプリント  74 ページ



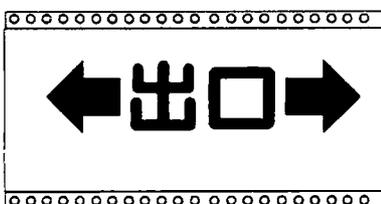
- 枠囲みする (矩形やイラストなど)  70 ページ



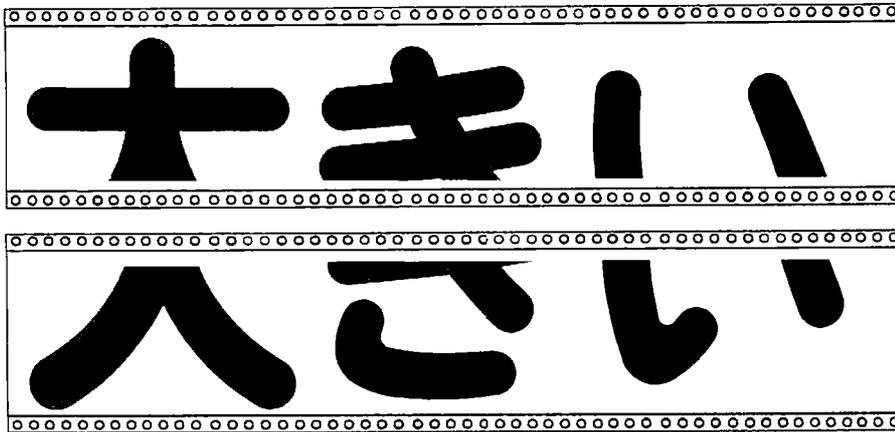
- 矢印の枠線で囲む  73 ページ



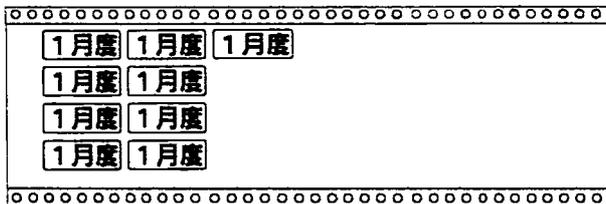
- 矢印を文字の横につけてプリント  82 ページ



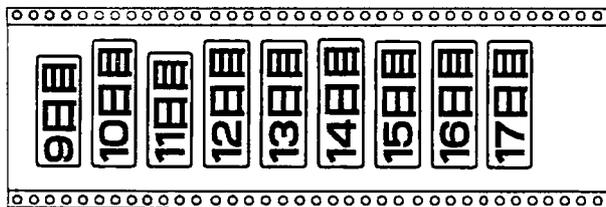
● 180mmの大きな文字  52 ページ



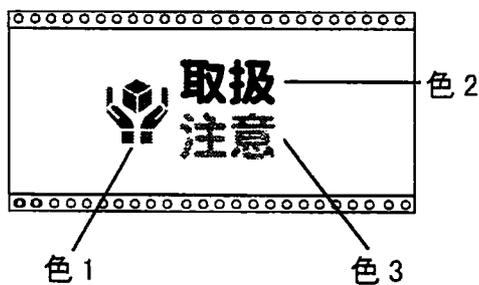
● 同じ物を何枚もプリント  86 ページ



● 連番でプリント  88 ページ



● カラフル印刷  60 ページ

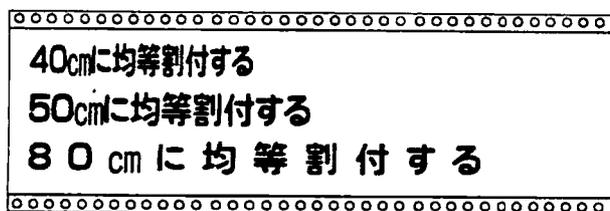


● ミラー（鏡文字）でプリント  92 ページ

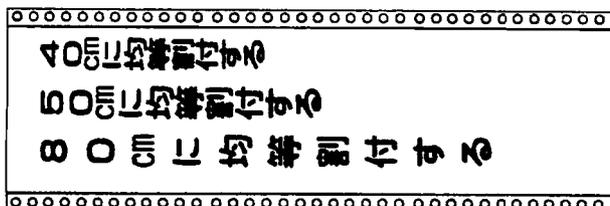


2. レイアウトにこだわって作る

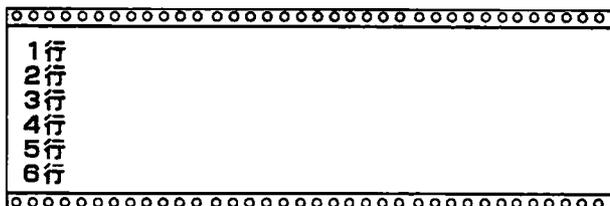
- 横書きの均等配列 (均等割付)  58 ページ



- 縦書きの均等配列 (均等割付)  58、76 ページ



- 改行する  66 ページ



- 改ブロックすれば絵文字も効果的  67 ページ



- 下線をひいて強調する  91 ページ



- 文字の配列を逆にする  90 ページ



3. こんな記号や絵文字がはいります

●記号の代表例  29 ページ

平成 昭和 大正 昭和
mm kg m³ cal
① ② ③ ④
(株) (有) (代) (財)

●絵文字の代表例  30、付16 ページ



4. 次の基本的な作画項目は、表紙裏のクイックリファレンスをご覧ください。

- 文字のサイズを変える
- 文字の幅を変える
- 書体を変える
- 文字と文字の間隔を変える
- 行と行の間隔を変える
- 斜体にする
- 2桁数字(組み文字)の入力
- 縦書き・横書き
- シートの真ん中に印字する(位置合わせ)

第1章

お使いになる前に

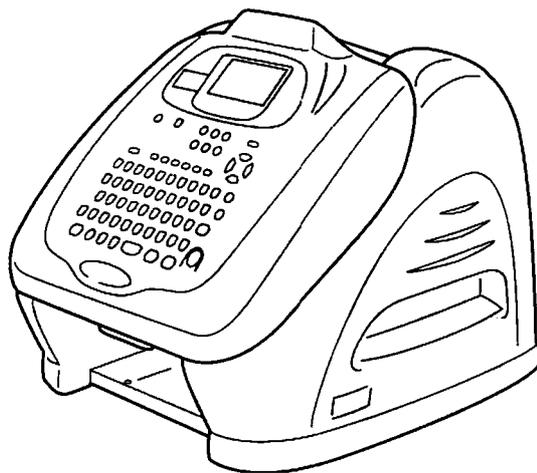
この章では、LC-100KPをご使用になる上で知っておくべきことについて説明します。

1. 同梱品をご確認下さい	2
2. 消耗品／オプション品のご紹介	3
2.1 消耗品について	3
2.2 オプション品（別売）について	4
3. お使いになる前に	5
3.1 本体各部の名前とはたらき	5
3.2 詰替インクリボンのセットのしかた	7
3.3 インクリボンカセットのセットのしかた	10
LC-100KP にインクリボンカセットをセットする	10
LC-100KP からインクリボンカセットを取り外す	11
3.4 ビーポップシートのセットのしかた	12
LC-100KP にビーポップシートをセットする	12
3.5 起動	14
4. 主なキーの役割とディスプレイの見かた	15
4.1 キーの役割	15
4.2 ディスプレイの見かた	19
4.3 カーソルの移動と画面のスクロール	20

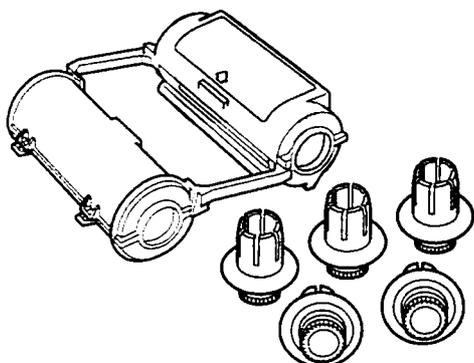
1. 同梱品をご確認下さい

箱を開けて、次のものが揃っていることを確認して下さい。

① LC-100KP 本体



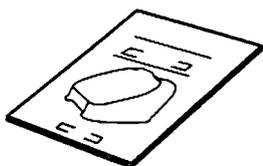
② リボン詰替えカセット



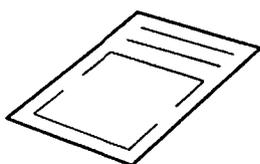
- 1) カセット本体..... 1個
- 2) リボンギヤ(青)..... 2個
- 3) リボンギヤ(黄色)..... 2個
- 4) リボンギヤ(黒)..... 1個

※リボン詰替えカセットに装着するインクリボン は別途購入してください。

② 取扱説明書 (本書)



③ お客様登録カード



④ シートカタログ



2. 消耗品／オプション品のご紹介

2.1 消耗品について

LCシリーズでは、豊富なカラーバリエーションの粘着シートを揃えています。

本機種では、下記の消耗品がお使いいただけます。

【 LC-100シリーズ専用シート 】

品番	商品名	1箱入数
IL99215	SL-S111クロ	10m x 2巻
IL99220	SL-S112シロ	
IL99225	SL-S113アカ	
IL99230	SL-S114アオ	
IL99235	SL-S115キイロ	
IL99240	SL-S116ミドリ	
IL99245	SL-S117ピンク	
IL99250	SL-S118オレンジ	
IL99255	SL-S119 スカイブルー	
IL99260	SL-S120グレー	
IL99251	SL-S121 レタスグリーン	
IL99253	SL-S123 コバルトブルー	
IL99254	SL-S124 ネービーブルー	
IL99256	SL-S125 アメジスト	
IL99257	SL-S126 マホガニー	
IL99210	SL-S110C透明	8m x 2巻
IL99258	SL-S141反射シロ	
IL99290	SL-S150T サーマル	
IL99363	SL-S151 PETシロ	10m x 2巻

【 インクリボンカセット 】

品番	商品名	1箱入数
IL99310	SL-R101クロ	50mX 1巻
IL99315	SL-R102シロ	
IL99320	SL-R103アカ	
IL99325	SL-R104アオ	
IL99335	SL-R105コン	
IL99345	SL-R106フカドリ	

【 詰替え用インクリボンカセット 】

品番	商品名	1箱入数
IL99350	SL-Rカセット	1個

☆ SL-Rカセットには、インクリボンが入っていません。別途、下記詰替え用インクリボンが必要です。

【 詰替え用インクリボン 】

品番	商品名	1箱入数
IL99370	SL-TRクロ	50m X 2巻
IL99371	SL-TRアカ	
IL99372	SL-TRアオ	

☆ 詰替え用インクリボンだけでは使用できません。上記 SL-Rカセットに装着してご使用下さい。
☆ 詰替え用インクリボンのプリント時の色合いは、上記のインクリボンカセットと若干異なります。

【 保護シート 】

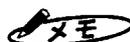
品番	商品名	1箱入数
IL99366	SL-L100UV	15mX 1巻
IL99367	SL-L100フロア	

お願い

☆ シートは、すべて屋内用です。

☆ SL-S141 反射シロに使用できるインクリボンカセットはクロ・アカ・コンの3色です。

☆ SL-S150T サーマル（サーマル紙）の使用時は、インクリボンは不要です。



☆ SL-Rカセットに装着したインクリボンを、使用途中で他の色に替えることはできません。使用する色数分の SL-Rカセットをご用意下さい。（黒には黒用として、赤には赤用として SL-Rカセットをご用意下さい。）

2.2 オプション品（別売）について

オプション品は、下記を用意しています。

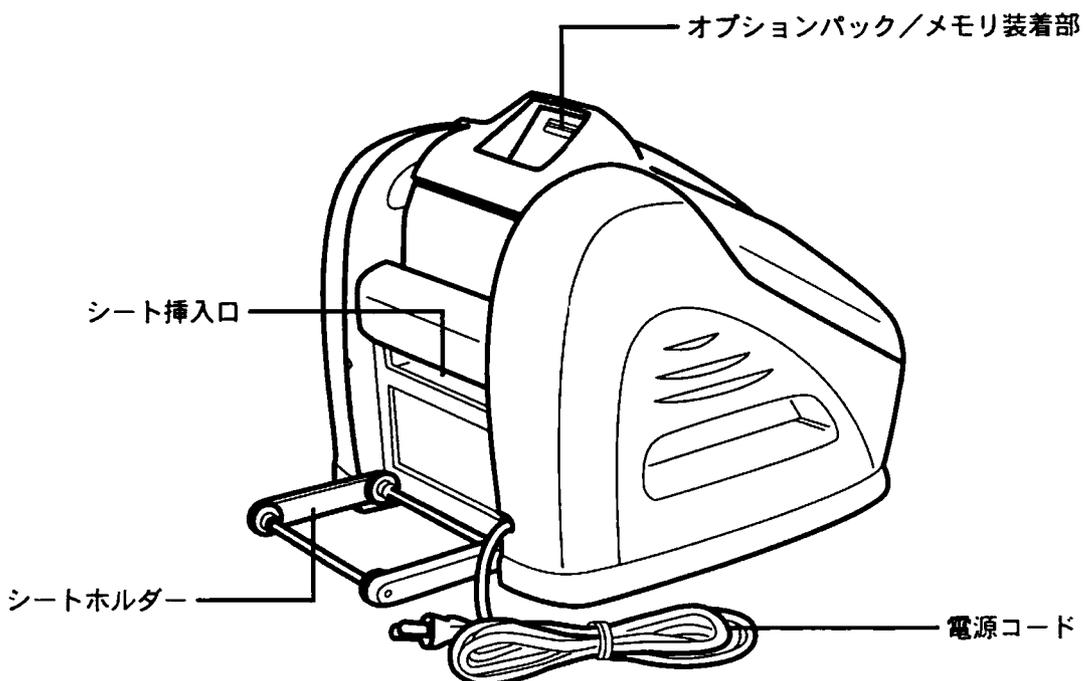
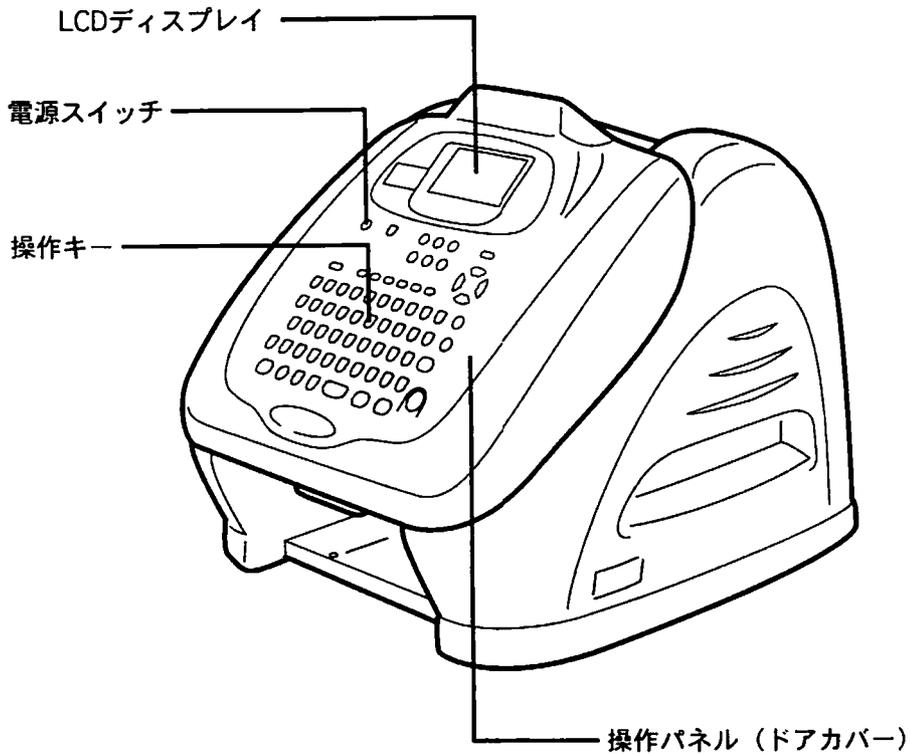
内容	品番	商品名	1パック入数
メモリパック	IL99510	LC-100M	1個
書体パック	—	和文7書体、英数字30書体があります。詳しくはカタログもしくは当社営業所にお問い合わせ下さい。	1個
オプションパック [土木建築用]	IL99520	LF-110D	1個
オプションパック [工場用]	IL99521	LF-120K	1個
[スキャナシステム] データ変換機	IL94251	DF-35RVC	1個
ブランクROMパック	IL99403	LF-BRP1	1個
スキャナ	—	市販スキャナ(当社指定機種)	—

- メモ** ☆消耗品、オプション品は、予告無く追加されたり販売中止とさせていただく場合があります。ご注文の際には、ご購入の販売店もしくは最寄りの当社営業所にて、最新のラインナップをご確認下さいますようお願い申し上げます。
- ☆消耗品、オプション品のご注文は、トラブルを防ぐ為、上記の商品名または品番にてお願いいたします。
- ☆スキャナシステムに使用できるスキャナは、市販の当社指定機種です。モデルの改廃頻度が多いので、ご購入時点で指定機種をご確認下さい。なお、当社にても、市販スキャナのうち1機種を扱っております。

3. お使いになる前に

3.1 本体各部の名前とはたらき

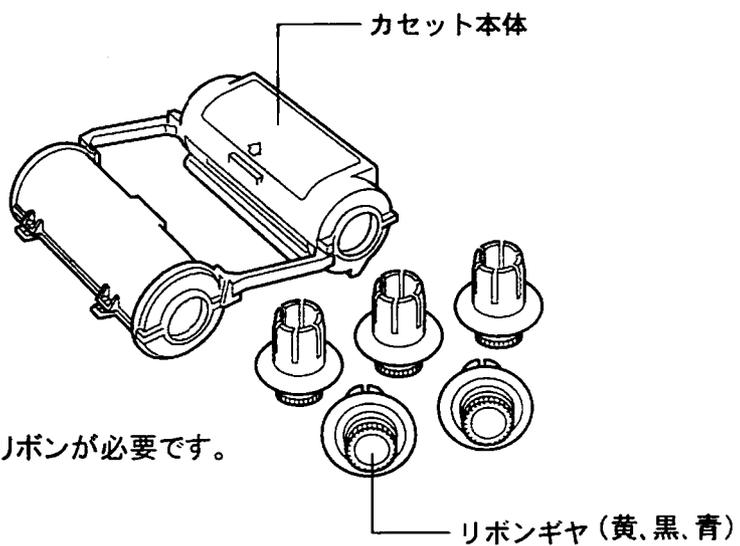
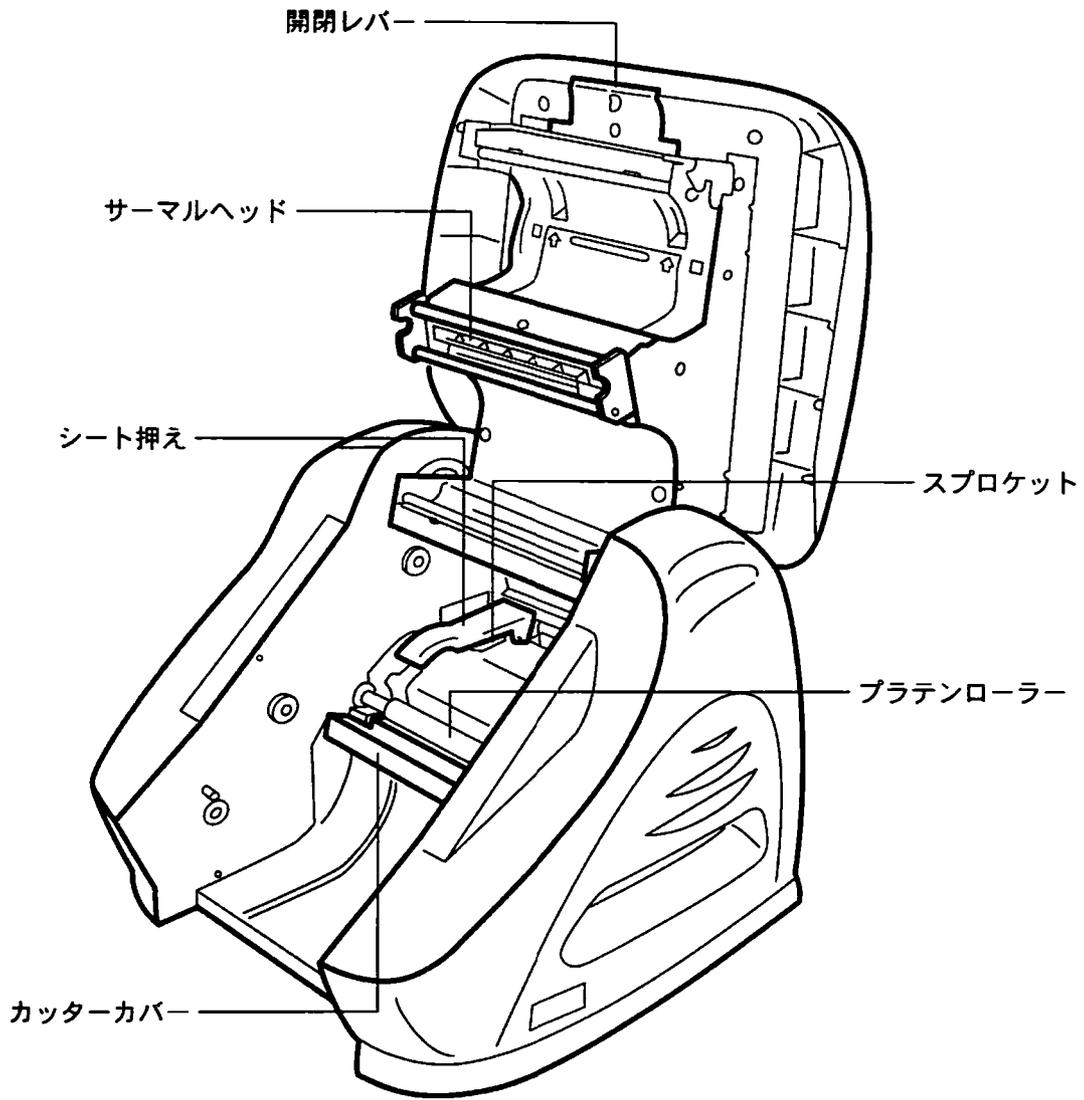
LC-100KP キーボードユニット



主なキーの役割、画面の見かたについては、「第1章 4. 主なキーの役割とディスプレイの見かた」15ページを参照ください。

第1章

お使いになる前に



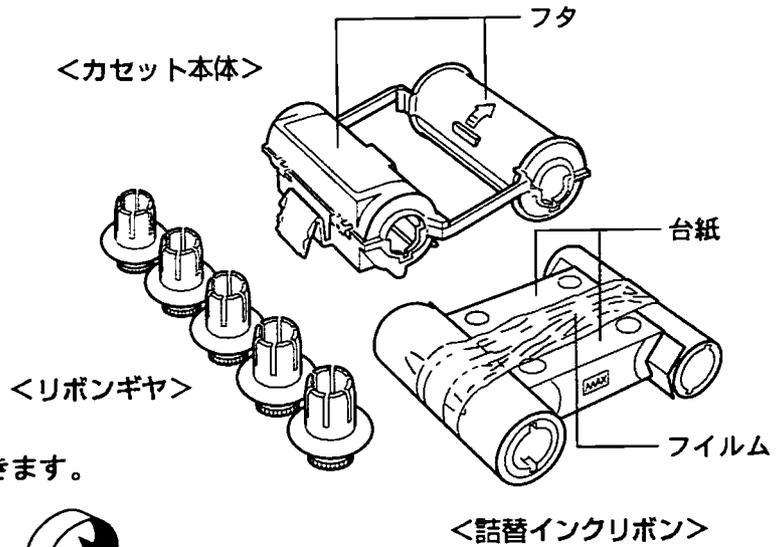
<リボン詰替カセット>

※別途、詰替用インクリボンが必要です。

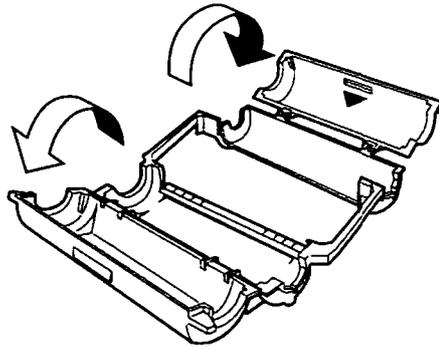
3.2 詰替インクリボンのセットのしかた

リボン詰替カセットに詰替インクリボンをセットする

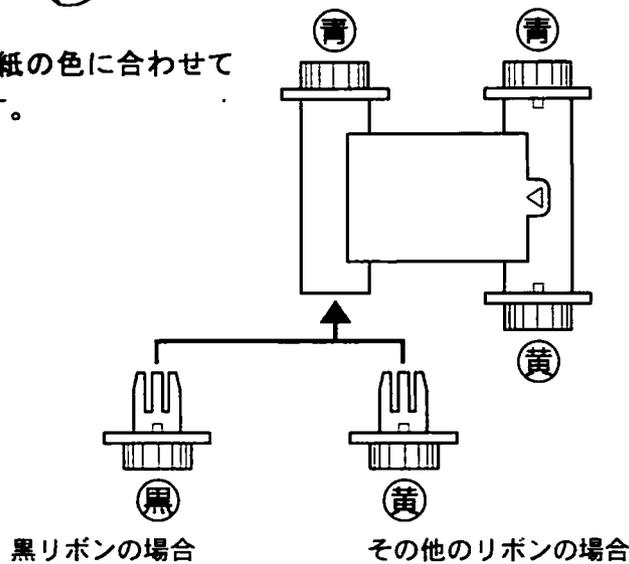
リボン詰替カセットを使用する前に、ご使用になる色の詰替インクリボンをセットします。



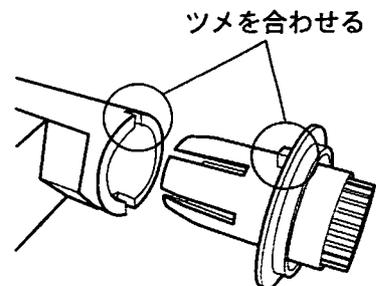
- 1 カセット本体のフタを開きます。



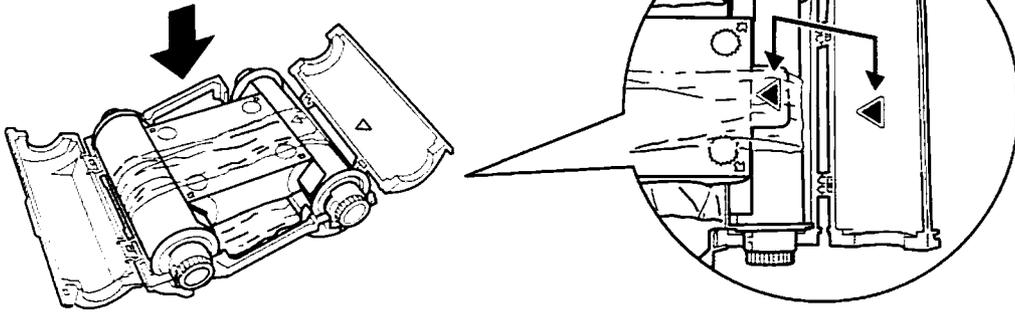
- 2 色別のリボンギヤを台紙の色に合わせてインクリボンにはめます。



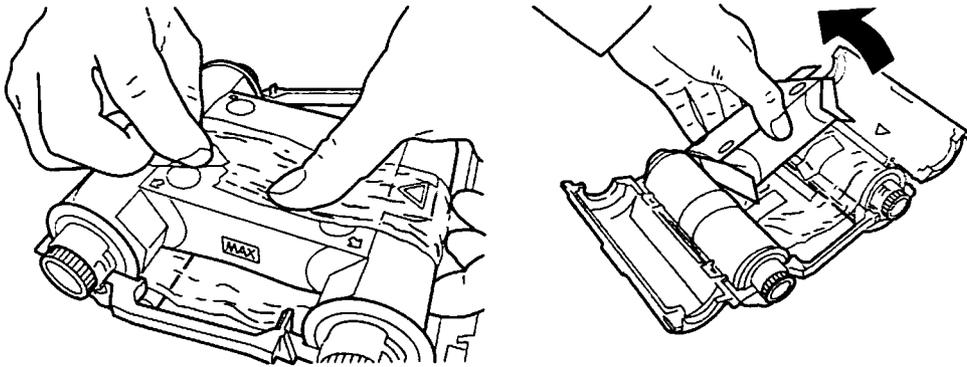
※リボンギヤをはめる際にはリボン側の凹溝とリボンギヤ凸ツメを合わせてください。



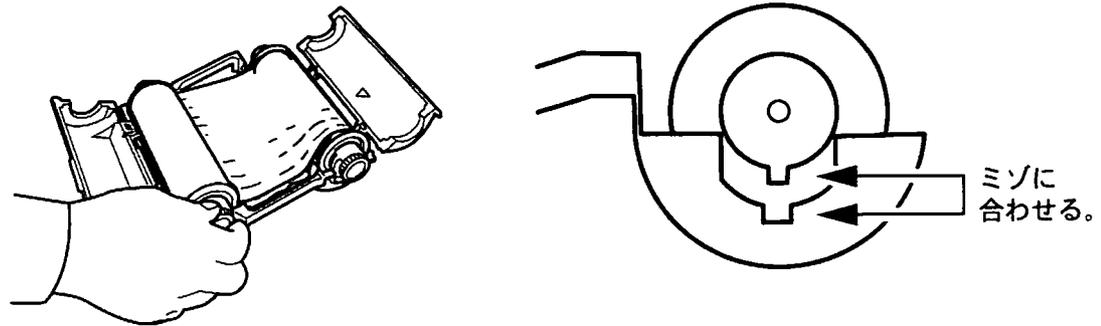
3 ▼マークの向きを合わせてカセットにのせます。



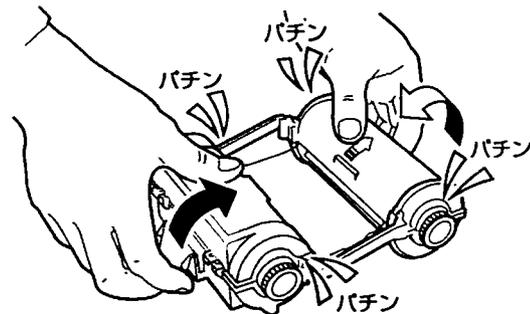
4 包装フィルムを切り離し、フィルムと台紙を取り除きます。



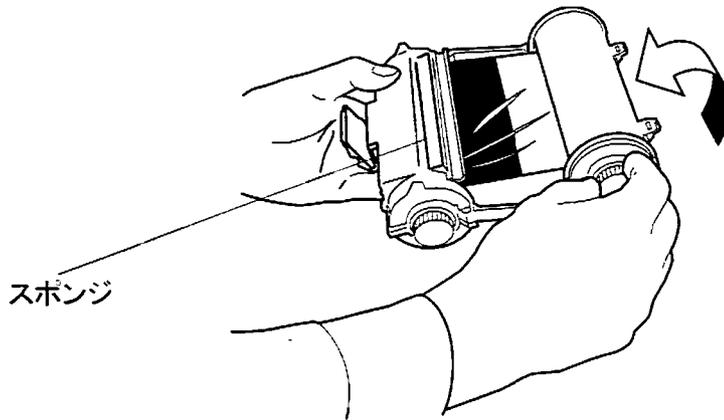
5 黄リボンギヤの凸部をカセットの溝にはめ込みます。



6 カセットのフタを四隅が「パチン！」と音がするまでしっかりと閉めます。



- 7 リボン色が全面に出るまで矢印方向にギヤを回します。



リボン詰替カセットのお取り扱い

- お願い** ☆カセットの開閉は慎重に行なってください。過度の力が加わると変形、破損し、印字性能を損ないます。
- ☆使用後は必ずプリンタ本体から外して保管してください。カセットをプリンタ本体にセットしたまま長時間保存すると、カセットが変形するおそれがあります。
- ☆リボンギヤは必ず指定されている色に合わせてセットしてください。間違えてセットすると印字不良の原因になります。
- ☆インクリボンの詰め替えは、使用中のインクリボンを使い終わってから行なってください。途中で取り外すとシワ、キズなどにより、きれいに印字できなくなります。
(一度取り外したインクリボンを再びセットしないでください。)
- ☆交換終了の際は、カセットのフタはしっかりと閉めてください。
- ☆プリンタ本体への取り付けは、プリンタ本体の取扱説明書に従い行ってください。
- ☆高温多湿、直射日光、ホコリの多い場所を避けて保管してください。
- ☆使用済みインクリボンはPETフィルム及び紙管で構成されています。自治体条例に従って廃棄してください。
- ☆カセット本体、リボンギヤは繰り返し利用できます。捨てないでください。

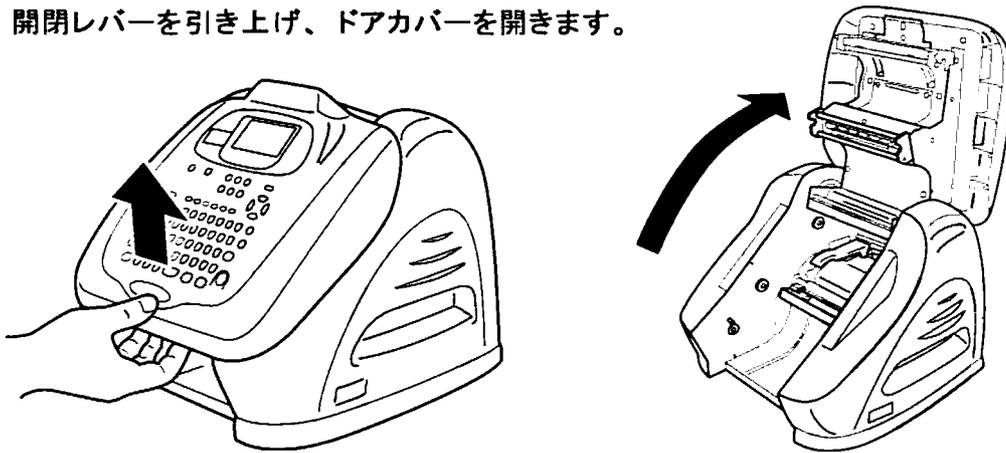
詰替インクリボンのお取り扱い

- お願い** ☆詰替インクリボンでは反射シート(SL-S141)への印字はできません。
- ☆インクリボンの詰め替えは、使用中のインクリボンを使い終わってから行なってください。途中で取り外すとシワ、キズなどにより、きれいに印字できなくなります。
(一度取り外したインクリボンを再びセットしないでください。)
- ☆交換作業中にインクリボンにホコリ、キズ等がつかないようにしてください。キズがついた場合はその部分を巻きとって使用してください。
- ☆リボンギヤは必ず指定されている色に合わせてセットしてください。間違えてセットすると印字不良の原因になります。
- ☆交換終了の際は、カセットのフタはしっかりと閉めてください。
- ☆プリンタ本体への取り付けは、プリンタ本体の取扱説明書に従い行ってください。

3.3 インクリボンカセットのセットのしかた

LC-100KP にインクリボンカセットをセットする

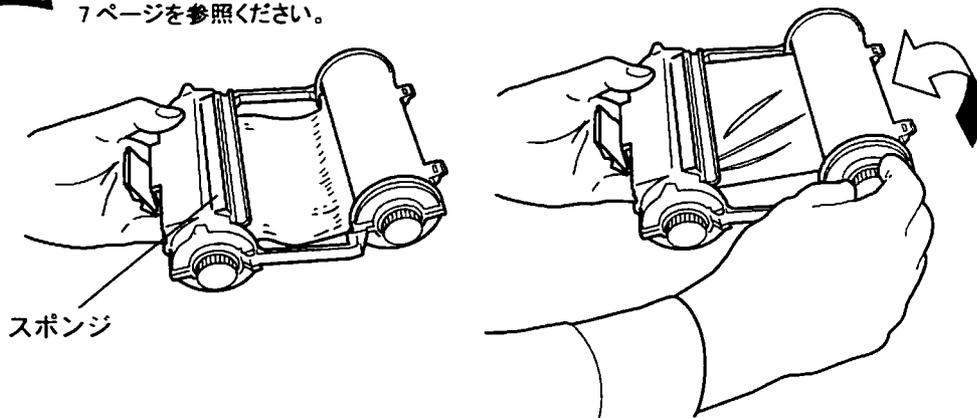
- 1 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開きます。



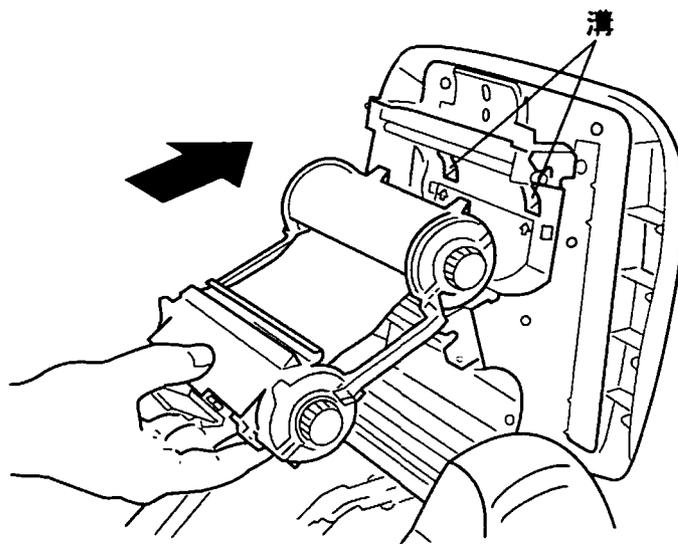
- 2 インクリボンカセットをスポンジが上面になるように持ち、リボンギヤを図のように回しインクリボンのたるみを取ります。



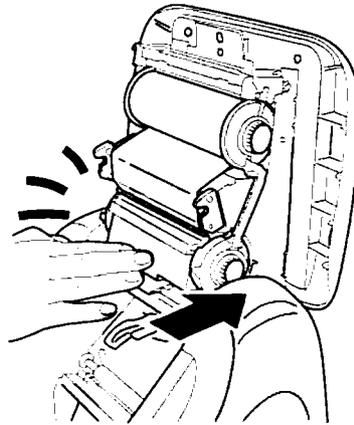
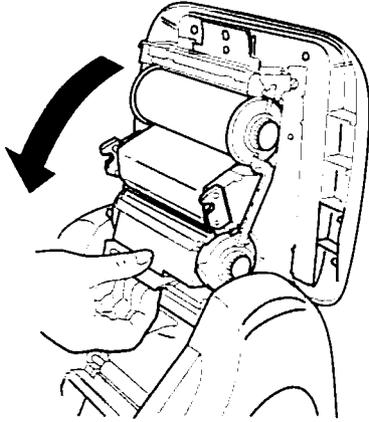
リボン詰替カセットの取り扱いについては「第1章 3.2 詰替インクリボンのセットのしかた」7ページを参照ください。



- 3 インクリボンカセットのツメをドアカバー裏の溝に合わせ、差し込みます。

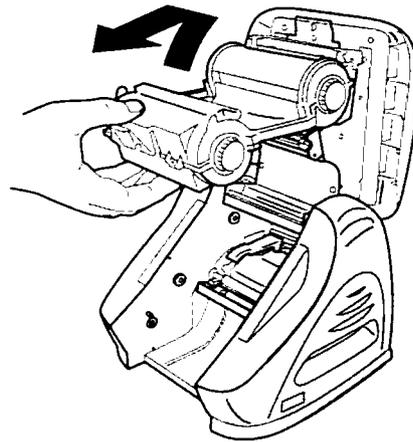
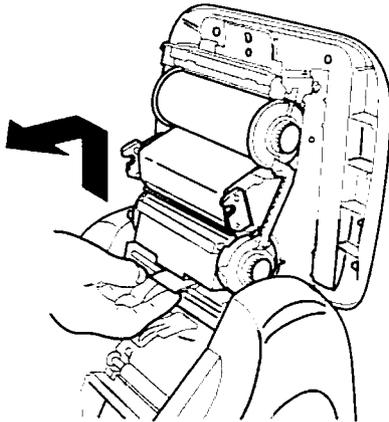


- 4 ツメを支点として下方に回し入れます。スナップでインクリボンが固定されるまで『カッチン』と音がするまでしっかりと押し込みます。



LC-100KP からインクリボンカセットを取り外す

- 1 ドアカバーを開け、インクリボンカセットのスナップを押しながら、手前に引き出します。
- 2 カセットを上方に回した後、引き抜きます。



お願い

☆インクリボンカセットは、必ずリボンのたるみを取ってからセットしてください。たるみを巻き取らずに使用すると印字不良やインクリボンのシートへの貼り付きなどが生じる場合があります。

☆インクリボンの巻き取り不良が発生した場合は、次のように対処してください。

- ①ドアカバーを開け、インクリボンを切らないように取り外す。
- ②10ページの手順②と同様にしたるみを取る。
- ③再度セットしなおす。

メモ

☆インクリボンが切れてしまった場合は、そのカセットは使用できません。

☆使用しない時は、必ずインクリボンカセットを取り外しておいてください。

☆インクリボンカセットを本体にセットしたままにしておくと、シートに筋状にインクが転写される場合があります。その場合はシートの転写部分をカットしてお使いください。

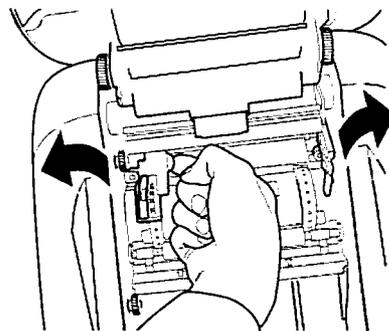
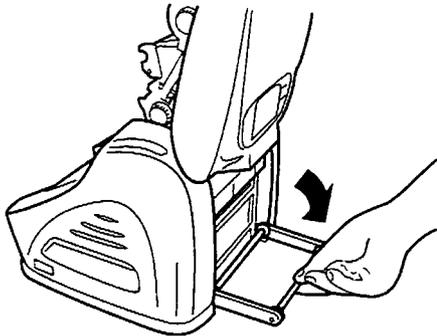
3.4 ビーポップシートのセットのしかた

LC-100KP にビーポップシートをセットする

① 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。

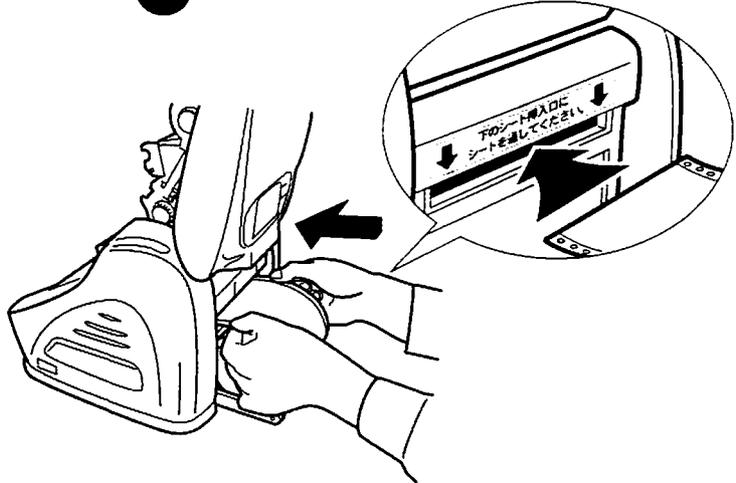
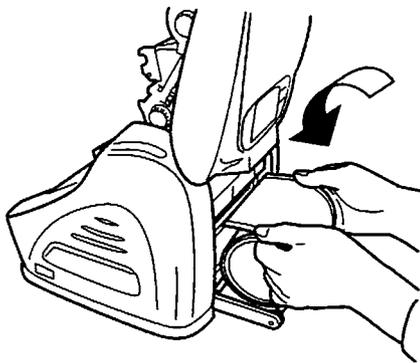
② シートホルダーを水平になる様にたおします。

③ 青色のシート押さえを左右に開きます。



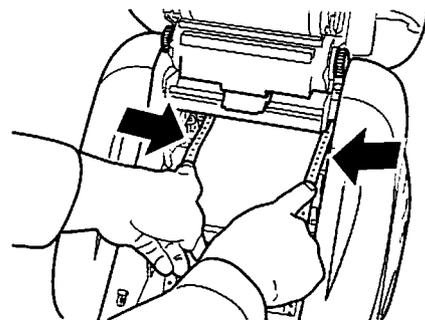
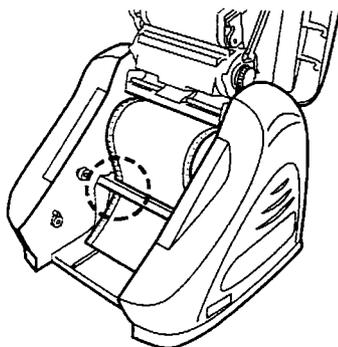
④ ビーポップシートをシートホルダーの送りローラーにのせます。

⑤ シート挿入口にシートを通します。

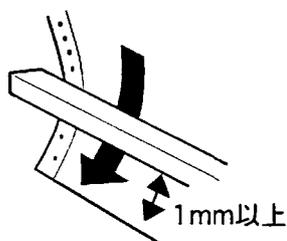


⑥ 図の様にシートを引き出し、青色のカッタカバーの下に差し入れます。

⑦ シートの穴にピンを通して

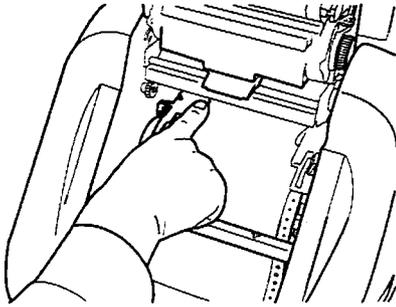


※シート先端部が出ていることを確認してください。

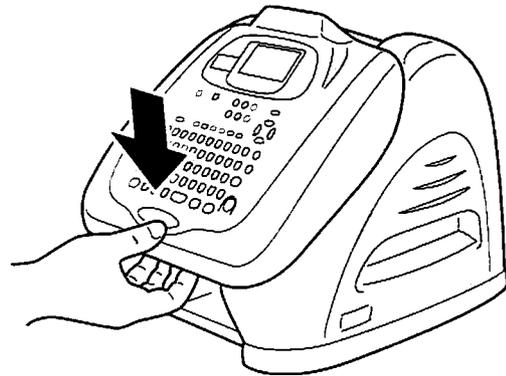


1mm以上

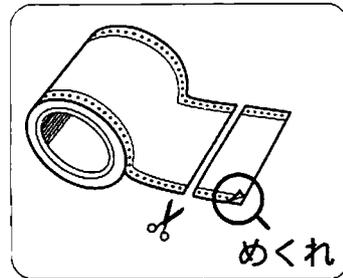
8 青色のシート押さえを倒します。



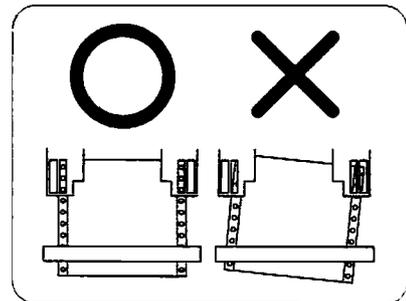
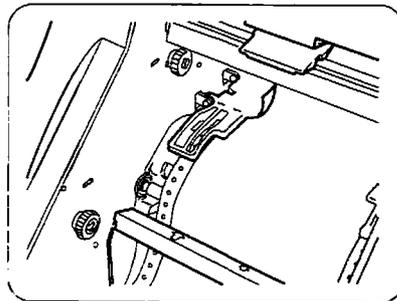
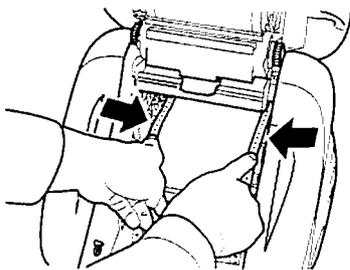
9 「カッチン」とロックがかかるまでドアカバーを閉め、セット完了です。



- お願い**
- ☆ シート先端は、右図のようにまっすぐに切ってからセットしてください。斜めに切れていたりすると、シート送り不良の原因となります。
 - ☆ シート先端がめくれたり、はがれ易い場合は、その部分をまっすぐに切り取ってからご使用ください。機械内部ではがれると故障の原因となります。
 - ☆ ビーポップシートにホコリやゴミが付着すると、印字時にインクが点状に抜けることがあります。シートの保管は梱包箱に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないよう注意してください。付着してしまった場合は布等で取り除いてからご使用ください。
(薬品等は使用しないでください。)



メモ ☆ピンは確実にビーポップシートの穴に入れてください。また、シートの穴が左右でずれて斜めに装着しないよう注意してください。シートの穴にピンが入っていなかったり、ずれていたりすると、シートが正しく送られません。

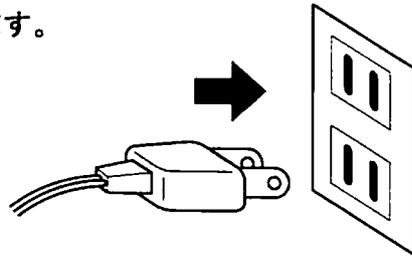


⚠ 注意

⊘ カッターカバーの中に指などをいれしないでください。不意に機械が動作したときケガの原因になります。

3.5 起動

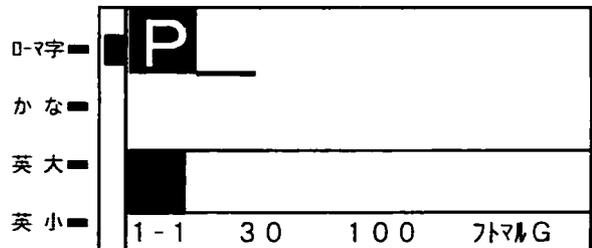
- ① 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
- ② 電源をONにします。



ON/OFF キーを押します。
電源をONにすると、左図のようなオープニング画面が表示されます。



- ③ 初期化動作を行ないますので数秒間経過後、入力画面が表示されます。

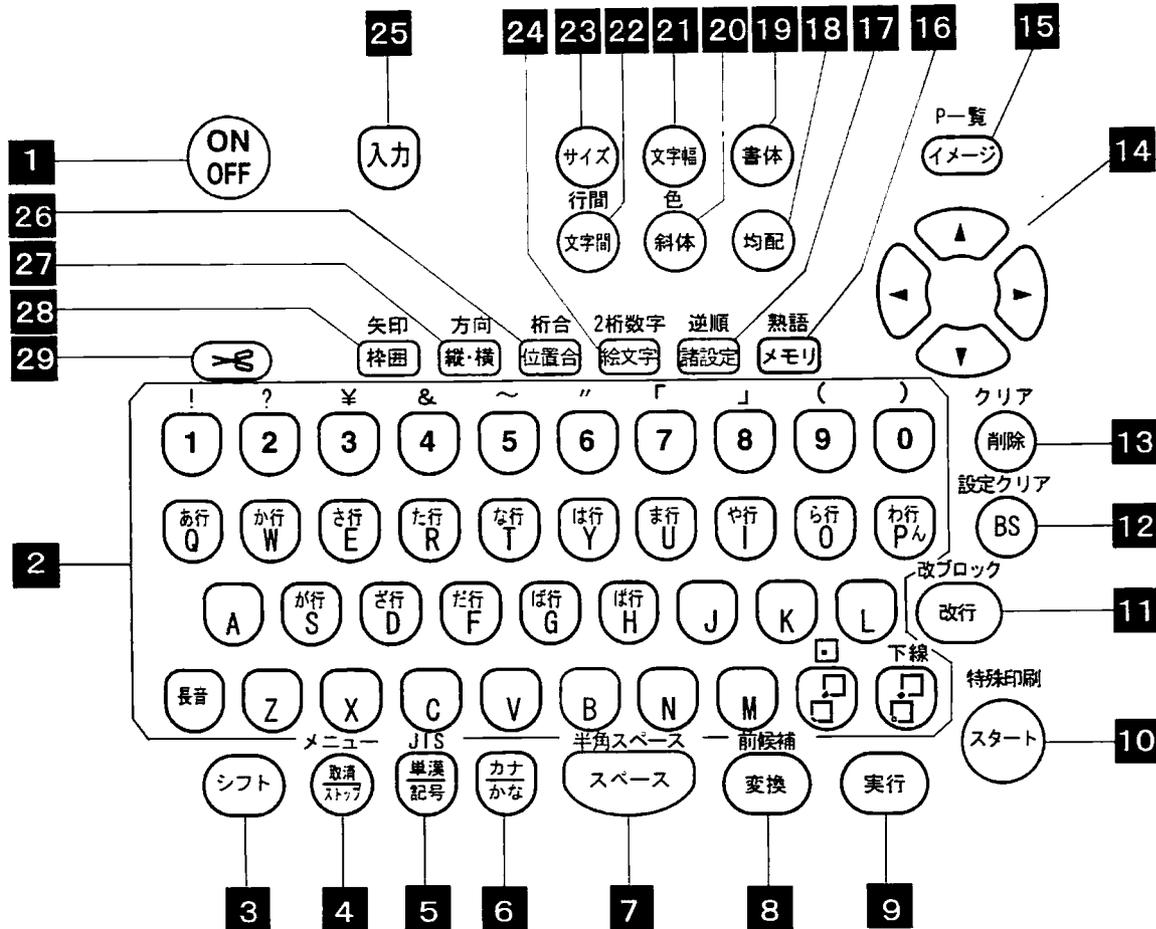


お願い オプションパックを装着している時は、立上りの画面は異なります。

参照 オプションパックの使い方については第14章を参照ください。

4. 主なキーの役割とディスプレイの見かた

4.1 キーの役割



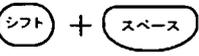
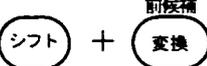
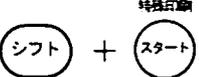
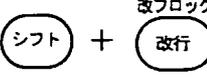
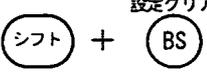
第1章

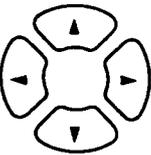
主なキーの役割とディスプレイの見かた

NO	キー	主な働き	参照ページ
1	ON/OFF	電源の入切をするキーです。	14
2	1 ~ []	文字を入力するためのキーで、キャラクタキーと呼ばれます。	22
3	シフト	① キーの上に青色で表示されている文字を入力する時にそのキャラクタキーと同時に押します。 ② アルファベットのキャラクタキーと同時に押すと英大モードの時は小文字、英小モードの時は英大文字が入力されます。 ③ 機能キーと同時に押すと、機能キーの上に表示されている機能呼び出します。	22

第1章

主なキーの役割とディスプレイの見かた

NO	キー	主な働き	参照ページ
4		①途中まで進めた設定を取り消すときに使います。 ②開始した出力を途中で止めたい場合に押します。 ③イメージ表示を途中で止めたい場合に押します。	—
5		①「よみ」が入力されている場合、「よみ」の単漢字変換候補を表示します。 ②「よみ」が入力されていない場合、記号のグループ一覧を表示します。	26 29
6		入力されている「よみ」をカタカナに変換します。	27
7		スペースキーと呼びます。空白の入力に使います。	24
		 を押しながら  を押すと半角空白(半角スペース)を入力します。	24
8		①「よみ」を漢字に変換するときに使います。このキーを押すと「よみ」を熟語変換します。 ②JISコード入力時にコードを途中まで入力して押すと該当するコードのグループの先頭から候補が表示されます。	25 32
		 を押しながら  を押すと1つ前の変換候補が呼びだされます。	25
9		①「よみ」や変換候補を確定するときに使います。 ②さまざまな機能の設定画面で設定項目を確定するときに使います。	第2章 第5章
10		①出力を開始するときに押します。	47
		②  を押しながら  を押すと特殊印刷(連続、連番ミラー(鏡像))で出力します。	85
11		①改行するときに押します。	66
		②  を押しながら  を押すと改ブロックが設定されます。	67
12		カーソルの前の文字を削除するときに押します。	39
		入力されている設定されている全ての  の設定値と枠囲み、作画方向、縦・横、桁合せ、位置合せの設定を初期化するときに使います。	41

NO	キー	主な働き	参照ページ
	削除	カーソルの上の文字を削除するときに押します。	39
13	シフト + クリア 削除	シフト を押しながら 削除 を押します。 ① 「よみ」が入力されている場合は「よみ」入力を取り消します。 ② 「よみ」が入力されていない場合は、入力されている文字を全て消去します。(先頭の□マーク設定値は除く) ③ 機能の設定画面でこのキーを押すと該当項目が初期値になります。	40
14		カーソルキーと呼びます。 ① カーソルを移動するときに使います。 ② 機能の設定画面で項目を選択するときに使います。 ③ ドアが開いている時に   を押すとシートが移動します。 ④ 数値を設定する画面で   を押すと入力数値を増減することができます。	38
	イメージ	イメージ表示を見るときに押します。	46
15	シフト + P- 一覧 イメージ	シフト を押しながら イメージ を押します。 カーソルが□マーク位置にあるときに、その□マークに設定されている内容(パラメータ)の一覧を表示します。	63
	メモリ	入力した内容を本体またはメモリパック(別売)に登録したり、呼び出したりするときに使います。	93
16	シフト + 熟語 メモリ	シフト を押しながら 熟語メモリ を押します。 入力した語句を熟語登録/削除するときに使います。	34
	設定	輝度の調整、シート選択、印字濃度、うしろの余白を設定します	101
17	シフト + 逆順 設定	シフト を押しながら 逆順設定 を押します。 入力した文章を逆に並び替えるときに使います。	90
18	均配	入力した文章を指定の長さに均等配列するときに使います。	58
19	書体	書体を設定するときに使います。	54
	斜体	文字を斜体にするときに使います。	57
20	シフト + 色 斜体	シフト を押しながら 斜体 を押します。 文字の色を設定するときに使います。	60
21	文字幅	文字の幅を設定するときに使います。	53

第1章

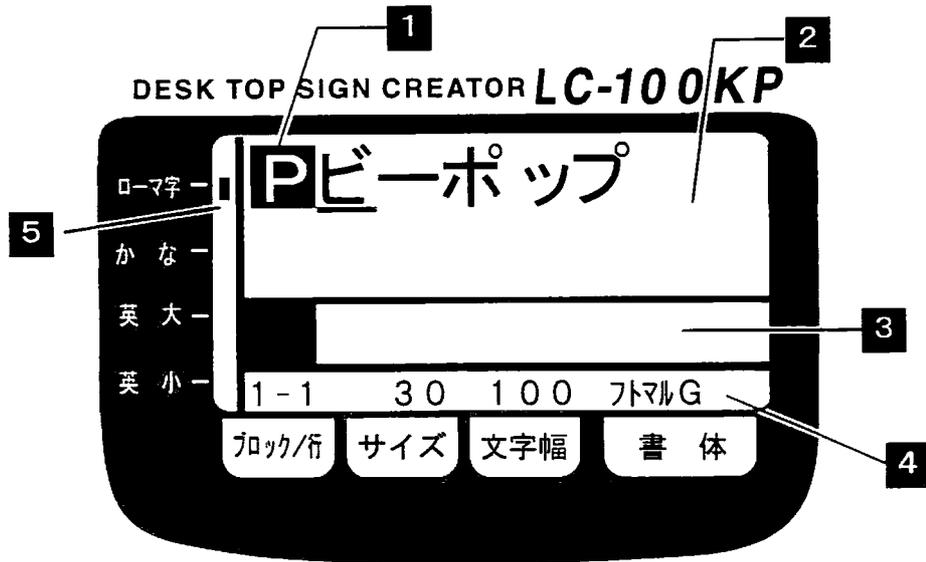
主なキーの役割とディスプレイの見かた

第1章

主なキーの役割とディスプレイの見かた

NO	キー	主な働き	参照ページ
	文字間	文字と文字の間隔を設定するときに使います。	55
22	シフト + 行間文字間	シフト を押しながら 文字間 を押します。カーソルのある行とその次以降の行との間隔を設定するときに使います。	56
23	サイズ	文字サイズを変更するときに使います。	51
	絵文字	絵文字（ピクトサイン）を入力するときに押します。	30
24	シフト + 2桁数字 絵文字	シフト を押しながら ^{2桁数字} 絵文字 を押します。2桁の数字を1文字として入力するときに押します。	33
25	入力	入力モードを「ローマ字」→「かな」→「英大文字」→「英小文字」の順に切り替えます。	22
	位置合	複数行の場合の揃えかたとシートの幅に対して出力配置を指定するときに押します。	78
26	シフト + 桁合 位置合	シフト を押しながら ^{桁合} 位置合 を押します。入力した文章を桁合わせて配置するときに使います。	77
	縦・横	文字の作画方向を設定するときに使います。	76
27	シフト + 方向 縦・横	シフト を押しながら ^{方向} 縦・横 を押します。印字をシートの長さ方向か幅方向のどちらにするかを設定するときに使います。	80
	枠囲	入力中の文章に枠囲みを設定します。	70
28	シフト + 矢印 枠囲	シフト を押しながら ^{矢印} 枠囲 を押すと入力した文章に矢印を付けて出力するときに使います。	73
29	>E	シートを切断するときに押します。	48

4.2 ディスプレイの見かた

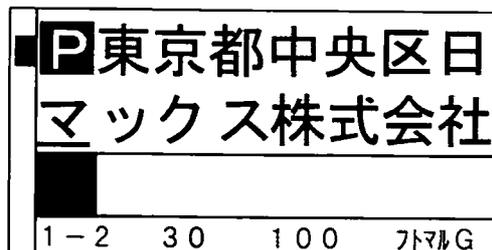


NO	名称	主な働き
1	□(パラメータ)マーク	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 基本パラメータを設定すると自動的に発生します。 ◇ 次の□マーク（または文末）までにある文字、文章を制御します。 ◇ 最大10個まで入れることができます。
2	確定入力表示画面	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 入力中のエリアの文字が表示されます。 ◇ 「よみ」として入力した語句を確定するとこの画面に表示します。この部分に表示されている内容をもとに出力されます。 ◇ 長い文章を入力した場合は、この部分だけが全体にスクロールします。
3	「よみ」／変換候補表示画面	<ul style="list-style-type: none"> ◇ かな入力するとまずこの部分に入力した文字が表示されます。 ◇ 漢字変換すると変換候補が表示されます。
4	状態表示	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 文字の主な基本パラメータの設定状況が表示されます。
5	入力状態表示	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 入力状態を示します。(入力) を押すと、ローマ字入力、かな(50音)入力、英大、英小 に切り替わります。

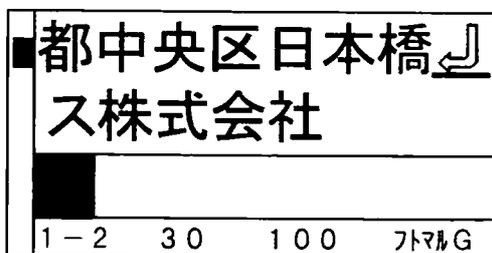
4.3 カーソルの移動と画面のスクロール

キーボード上の右側にある矢印キーは、カーソルの移動や画面をスクロールするときなどに使います。以下に通常入力画面で文字入力をしている場合を示します。

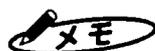
- ① 右のように文字が入力されている場合
カーソルは2行目の先頭にあります。



- ②  を押します。前の行の末尾に移動します先頭の  マークがスクロールして見えなくなり、1行目の行末が表示されます。



- ③ 同様に     を押すと、その方向へカーソルが移動します。



- ◇ カーソルが1行目にあるときに  を押すとそのエリアの文頭の  にカーソルが移動します。
- ◇ カーソルが入力されている文章の最終行にあるときは、 を押すとそのエリアの文末にカーソルが移動します。
- ◇ 矢印キーは、その他にもいろいろな機能の選択に使います。

第2章

文字や記号、絵文字の入力

文字や絵文字の入力方法には、次の方法があります。

- ① ローマ字かな配列のキーで、かなや漢字を入力する
- ② かなめくり配列のキーで、かなや漢字を入力する
- ③ ひらがなやカタカナを入力する
- ④ 英数字を直接入力する
- ⑤ キーボード上に記載されている記号を入力する
- ⑥ 記号を入力する
- ⑦ 絵文字（ピクトサイン）を入力する
- ⑧ 漢字をJISコード一覧表から探して入力する

それぞれの説明は、次ページ以降をご覧ください。

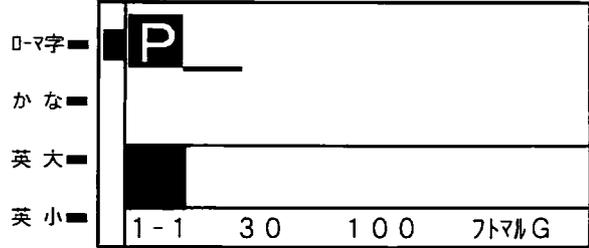
1. 文字の入力	22
1.1 ローマ字入力のしかた	22
1.2 かなでの入力のしかた	23
1.3 英数字での入力のしかた	24
1.4 漢字変換のしかた	25
熟語変換のしかた	25
単漢字変換のしかた	26
1.5 ひらがな／カタカナ変換のしかた	27
ひらがなと漢字が混ざった文章を変換する	27
2. 記号の入力	29
2.1 記号を入力する	29
3. 絵文字の入力	30
3.1 絵文字を入力する	30
4. JISコードによる入力	32
4.1 JISコードで文字を入力する	32
5. 2桁数字の入力	33
5.1 2桁数字を入力する	33
6. 熟語を登録／削除する	34
6.1 熟語を登録する	34
6.2 熟語を削除する	36

1. 文字の入力

1.1 ローマ字入力のしかた

キー上のアルファベットを使って文字をローマ字で入力します。

入力 を押し、ディスプレイ左端の **■** マークを「ローマ字」に合わせてください。



キー上の文字の入力方法

そのまま押すと
ひらがなになります



そのまま押し
て入力します



シフトを押しなが
ら押し入力します

代表的な入力例

入力内容	キー操作	入力の規則
あんぜん	ANZENN	「ん」はNNと2回入力する
とうきょう	TOUKYOU	
とって	TOTTE	「っ」はあの子音「T」を2つ入力
を	WO	
ちく	TIKU またはCHIKU	日本式、ヘボン式どちらでも可
けーぶる	KE(長音) BURU	伸ばす音は長音を押します

「はじめまして」と入力してみます。

1 [H][A][J][I][M][E][M][A][S][H][I][T][E] と押します。



2 **実行** を押しと確定し、画面上側に
入力した文字が移ります。



☆「確定」とは入力中の文字を確定
画面に移し、出力できる状態にする
ことです。

☆[クリア]を押すと、「よみ」の文字(手順①で画面の下方に表示している「はじめ
まして」)を一括して削除することができます。



☆50音かな入力との切替は、「1.2 かな入力のしかた」23ページを参照ください。

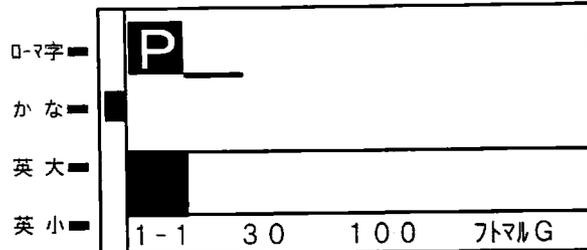
☆代表的な例以外のローマ字の入力規則については、巻末の「ローマ字入力規則表」
付21ページを参照ください。

☆確定した文字を訂正する場合は、「第3章」37ページを参照ください。

1.2 かなでの入力のしかた

かなめくりキーを使って文字を入力します。

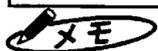
入力 を数回押し、ディスプレイ左端の **■** マークを「かな」に合わせてください。



かなの入力は、かなめくり方式になっています。各キーに入っている文字は次の通りです。

かなめくり一覧

	入力キー	文字
あ行	あ行 Q	あ い う え お あ い う え お
か行	か行 W	か き く け こ カケ
さ行	さ行 E	さ し す せ そ
た行	た行 R	た ち つ て と っ
な行	な行 T	な に ぬ ね の
は行	は行 Y	は ひ ふ へ ほ
ま行	ま行 U	ま み む め も
や行	や行 I	や ゆ よ や ゆ よ
ら行	ら行 O	ら り る れ ろ
わ行	わ行 Pん	わ を ん ゐ ゑ っ わ
が行	が行 S	が ぎ ぐ げ ご
ざ行	ざ行 D	ざ じ ず ぜ ぞ
だ行	だ行 F	だ ぢ づ で ど
ば行	ば行 G	ば び ぶ べ ぼ
ぱ行	ぱ行 H	ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ



・拗促音はシフトキーを押しながらかなめくりキーを押す方法でも入力できます。



・上記表にない「かな文字「ヰ」「ヱ」は、巻末付録のJISコード表を参照のうえJISコード入力してください。(JISコード入力については32ページを参照してください)

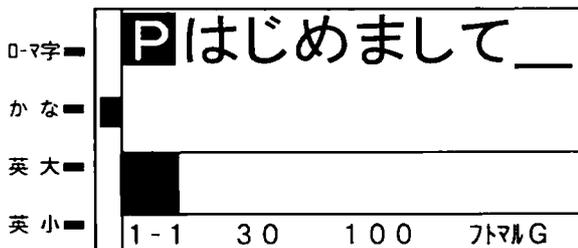
例 「はじめまして」と入力してみます。

- 1 (は行 Y) を1回 (ざ行 D) を2回
 (ま行 U) を4回 (ん) を1回
 (せ行 S) を1回 (え行 E) を2回
 (た行 R) を4回押します。



メモ ☆かな文字の選択は、「かな」を表示した後に (ん) を押すとその「かな」が入力され、次の「かな」文字の入力になります。また違う行のキーを押しても押す前に表示されている「かな」が入力されます。

- 2 (実行) を押すと確定し、画面上側に入力した文字が移ります。

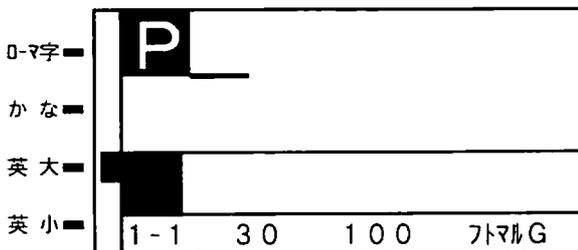


第2章
文字の入力

1.3 英数字での入力のしかた

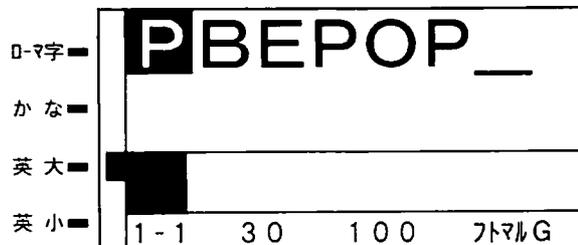
アルファベット・数字を入力します。

(入力) を数回押し、ディスプレイ左端の ■ マークを英大文字を入力するときは「英大」に、英小文字を入力するときは「英小」に合わせてください。



例 「BEPOP」と入力してみます。

- 1 [B][E][P][O][P]と押します。
 確定画面に直接文字が入力されます。



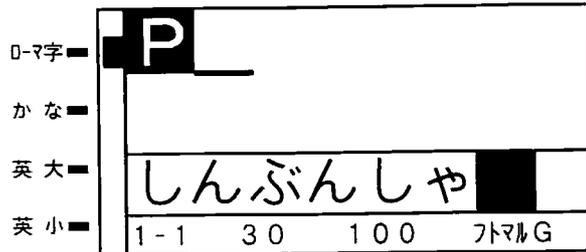
メモ ◇空白（スペース）を入力するときは、(スペース) を押してください。半角スペースを入力するときは、(シフト) を押しながら (半角スペース) を押します。

1.4 漢字変換のしかた

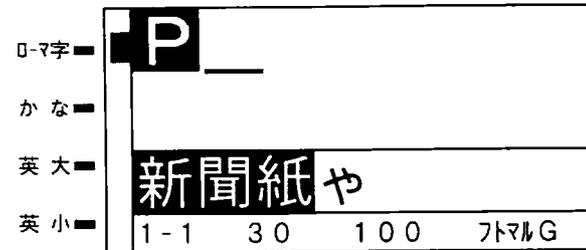
「よみ」表示エリアに入力した文字を漢字に変換します。漢字変換は最長一致法に基づいて熟語変換されますので、よみが自動的に短く反転されている場合は、それ以上長いよみの熟語が本機の辞書に無いことを示しています。

熟語変換のしかた

1 「しんぶんしゃ」とよみを入力します。



2 **変換** を押します。



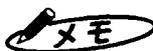
3 **←** を押すとよみが1文字ずつ短縮されます。



4 **実行** を押すと、変換候補の「新聞」が確定され、「しゃ」の変換を行ないます。



5 変換した熟語でよければ **実行** を押して確定します。



☆ **実行** を続けて押すと、他の変換候補が表示されます。

☆ **変換** を押しすぎて、変換候補が行き過ぎてしまった場合は、**シフト** を押しながら **実行** を押す、または **↑** を押すと前の変換候補が表示されます。

☆ 本機の熟語変換辞書には、学習機能がついています。そのため、前に変換した熟語が優先して表示されます。

☆ 変換できないけれど良く使う、といった語句は熟語登録すると便利です。



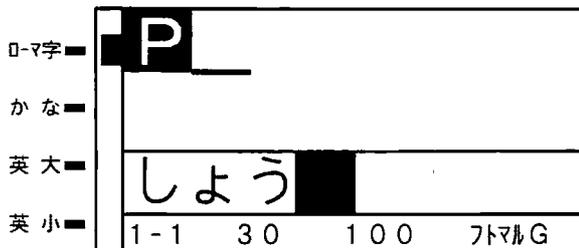
熟語登録については34ページを参照ください。

単漢字変換のしかた

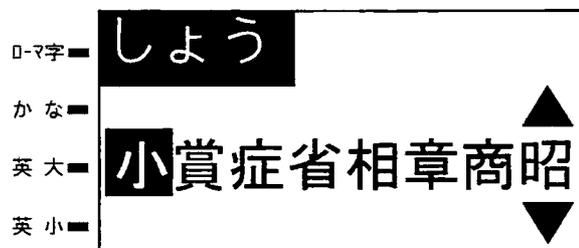
熟語変換で入力したい漢字に変換できない場合は、よみを入力し  を押すと漢字の候補を一覧表示します。

例「生」と単漢字変換で入力してみます。

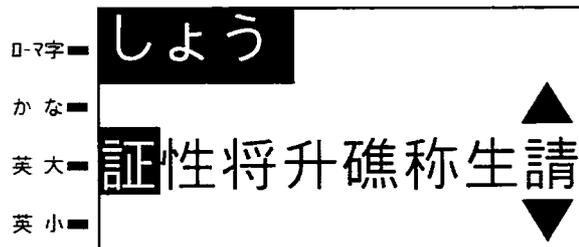
- 1 「しょう」とよみを入力します。
よみの入力には音読みを使います。



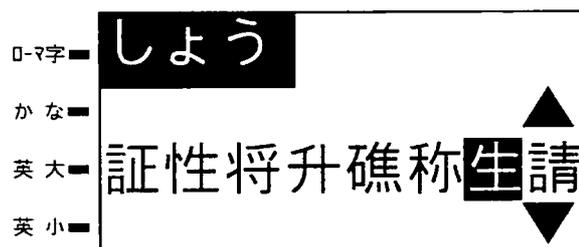
- 2  を押します。



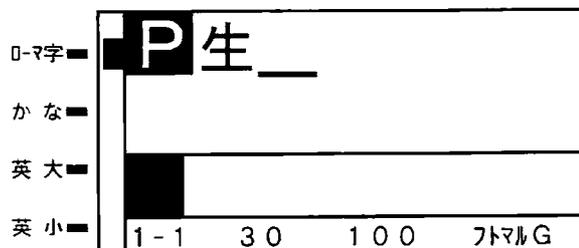
- 3  を押します。次々に候補が表示されます。



- 4  を押して、変換候補の「生」の位置にカーソルを移動させます。



- 5  を押して「生」を確定します。



- ☆単漢字変換では、よみに該当する漢字が無い場合はよみのみを表示します。
- ☆単漢字変換を途中で止めたいときは  を押します。 を押す前のよみ入力の状態に戻ります。
- ☆[変換]を押しすぎて、変換候補が行き過ぎてしまった場合は、 を押しながら  または  を押すと前の変換候補一覧が表示されます。



- ☆よみがわからない場合は、本書巻末のJISコード一覧表を参照してJISコード入力で漢字や記号を入力することができます。くわしくは「JISコードによる入力」32ページを参照ください。

1.5 ひらがな／カタカナ変換のしかた

カタカナを入力するときは、よみを入力してカタカナに変換します。

例. 「ビーポップ」と入力してみます。

- ① 「びーぽっぷ」と入力します。

ローマ字	P			
かな				
英大	びーぽっぷ			
英小	1-1	30	100	フトラG

- ② カナ
かな を押します。カタカナに変換されます。

ローマ字	P			
かな				
英大	ビーポップ			
英小	1-1	30	100	フトラG

- ③ 実行 を押します。
「ビーポップ」が確定されます。

ローマ字	P	ビーポップ		
かな				
英大				
英小	1-1	30	100	フトラG

ひらがなと漢字が混ざった文章を変換する

ひらがなやカタカナと漢字が混ざった文章を変換するときは次のように行なうと便利です。

例. 「ビデオ撮影」と入力してみます。

- ① 「びでおさつえい」と入力します。

ローマ字	P			
かな				
英大	びでおさつえい			
英小	1-1	30	100	フトラG

- ② カナ
かな を押します。

ローマ字	P			
かな				
英大	ビデオサツエイ			
英小	1-1	30	100	フトラG

- 3  を4回押します。
カタカナ変換の範囲が短くなります。

ローマ字	P			
かな				
英大	ビデオさつえい			
英小	1-1	30	100	⌘ G

- 4  を押すと「ビデオ」が確定され
「さつえい」の変換を行ないます。

ローマ字	P	ビデオ		
かな				
英大	撮影			
英小	1-1	30	100	⌘ G

- 5  を押して、変換候補を確定します。

ローマ字	P	ビデオ撮影		
かな				
英大				
英小	1-1	30	100	⌘ G



☆ ひらがなと漢字が混在している場合も同様の操作です。

☆  を押す毎にひらがなとカタカナに変換されます。

2. 記号の入力

2.1 記号を入力する

巻末のJISコード一覧表の非漢字のページにある記号は、JISコードでも入力できますが次の操作で入力するほうが、さらに簡単に入力できます。

例「株」と入力してみます。

- 1 よみを入力していない状態で  を押します。

ローマ字	記号	省略
かな	年号	ロシア
英大	単位	ギリシヤ
英小	数字	

- 2  を押して省略を選びます。

ローマ字	記号	省略
かな	年号	ロシア
英大	単位	ギリシヤ
英小	数字	

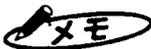
- 3  を押します。次々に候補が表示されます。

ローマ字	【省略】
かな	
英大	No. K. K. TEL FAX 株 (有)(代)(協)
英小	

- 4  を押して、「株」の位置にカーソルを移動させます。

ローマ字	【省略】
かな	
英大	No. K. K. TEL FAX 株 (有)(代)(協)
英小	

- 5  を押して「株」を確定します。

  +  を押すと 4 の状態で入力を続けて行なえます。

ローマ字	P (株)___
かな	
英大	
英小	1 - 1 3 0 1 0 0 7 1 0 0 G



☆ JISコード入力については、「JISコードによる入力」32ページを参照ください。

3. 絵文字の入力

3.1 絵文字を入力する

本機には、巻末の絵文字一覧表にある合計 92 種類の絵文字が搭載されています。絵文字は7つのグループに分かれており、それぞれ次の種類がはっています。各グループの絵文字を選ぶと、それぞれのグループ毎に下表にある記号を画面上に表示します。

グループ名	種類数	内容	表示される記号
矢印	15種類	右左上下などの矢印	
立入禁止	4種類	立入禁止を警告する絵文字	
場所	13種類	エレベータ、レストランなどの場所を表す絵文字	
キャッチ	14種類	店舗用ポップに適したアイキャッチがあります。	
注意	12種類	注意表示などに適した絵文字があります。	
イラスト	11種類	季節を表す動物のイラスト。ポップ作成などに適しています。	
その他	5種類	禁煙マーク、安全十字マークなどがあります。	

例。「注意」グループのピクトサイン  を入力してみます。

1  を押します。

0-マ字 ■ **矢印** 立入禁止
 かな ■ **場所** キャッチ
 英大 ■ **注意** イラスト
 英小 ■ **その他**

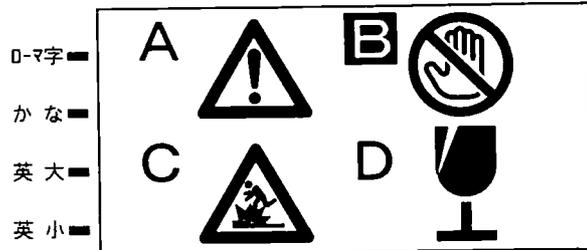
2  を2回押して「注意」を選びます。

0-マ字 ■ **矢印** 立入禁止
 かな ■ **場所** キャッチ
 英大 ■ **注意** イラスト
 英小 ■ **その他**

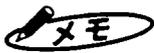
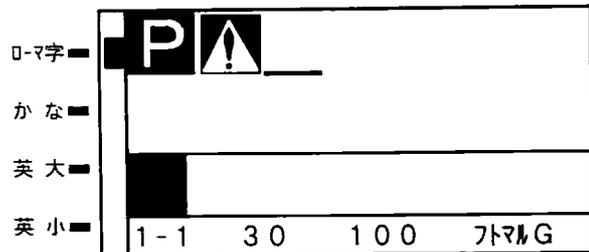
3  を押します。次々に候補が表示されます。

0-マ字 ■ **A**  **B** 
 かな ■ **C**  **D** 

4  を1回押します。カーソルが B の位置にいきます。



5  を押します。
絵文字が確定入力されます。



☆絵文字の選択ではA～Dまでに含まれていない場合は  でページを切替えてください。
☆あらかじめ入力番号がわかっている場合は、手順④で直接そのアルファベットを入力すると選択できます。



☆絵文字の一覧表は付録の2を参照してください。
☆スキャナで読み取った図形を使うときは、「第15章 図形の読み取り (オプション)」
117 ページを参照ください。

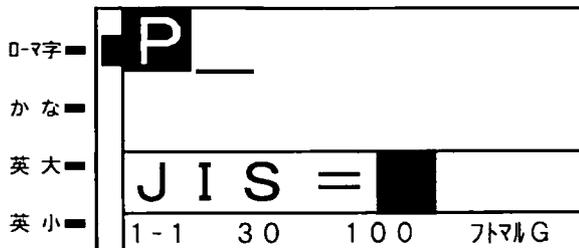
4. JISコードによる入力

4.1 JISコードで文字を入力する

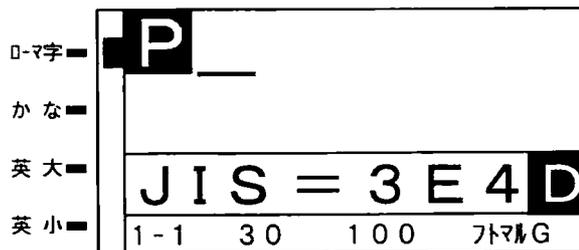
よみがわからない漢字などは本書巻末のJISコード一覧表を参照してJISコードによる入力ができます。

例. 「祥」をJISコードで入力してみます。

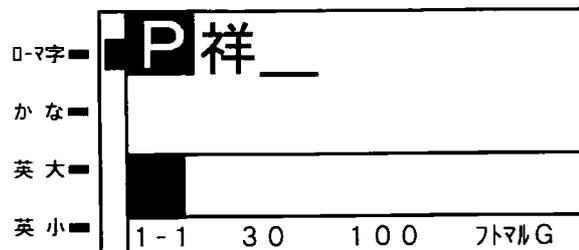
- ① **シフト** を押しながら **JIS 単漢 記号** を押します。
よみ表示エリアにJISコード入力の表示が現れます。



- ② JISコード一覧表に従って[3][E][4][D]と入力します。

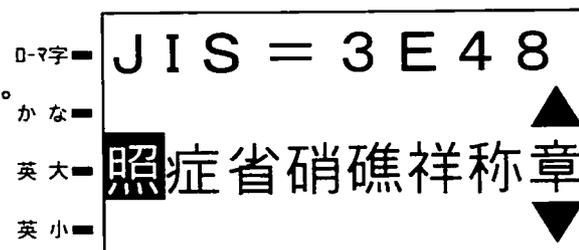


- ③ **実行** を押します。
「祥」が確定入力されます。



取消 を押すとJISコード入力を中止し、通常入力画面に戻ります。

- ④ ② の状態で **変換** を押すとそのコードの近辺の漢字を表示させることができます。



- ☆ JISコード一覧表の非漢字（単位記号やギリシャ文字など）も入力できます。
- ☆ 手順 ② で「3E4」まで入力し **変換** を押すと、「3E40」を先頭に8文字の候補をJISコード順に表示します。コードを正確に覚えていない時に使うと、JISコード一覧表を見る必要がありません。
- ☆ 候補漢字が歯抜け状態が表示される場合がありますが、これはその部分のコードに該当する文字が無いことを示しています。

5. 2桁数字の入力

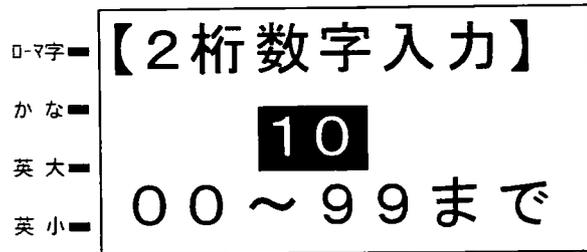
5.1 2桁数字を入力する

2桁の数字を漢字1文字の大きさに印字したい場合には2桁数字の機能を使います。「第50回」を縦書きにした場合に下記の様な印字イメージになります。

第50回

例. 50の数字を2桁数字として入力します。

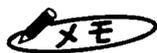
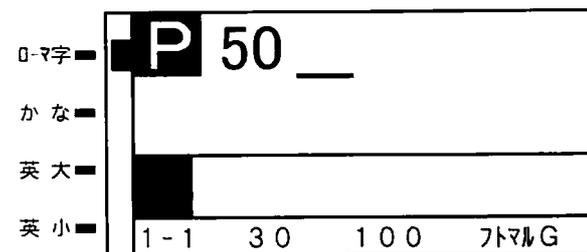
- 1 **シフト** を押しながらか **絵文字** を押します。数値の入力になります。入力できる数値は00から99までの2桁の数値に限ります。



- 2 [5] [0] と入力します。



- 3 **実行** を押します。2桁数字の「50」が確定入力されます。
 ・ **取消** を押すと2桁数字入力を中止し、通常入力画面に戻ります。



☆2桁数字として組まれた文字は、横書きでも縦書きでも1文字として印字します。

6. 熟語を登録／削除する

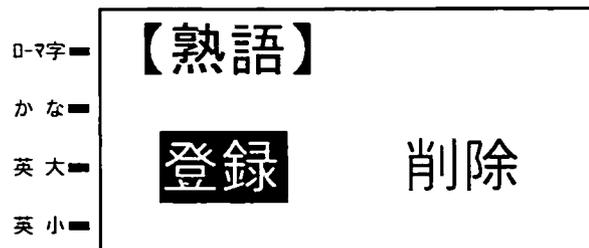
漢字変換してもなかなか変換されない熟語や良く使う社名などの語句は熟語登録しておく便利です。熟語は、本機内部の専用メモリに登録されるため、メモリパックは不要です。

6.1 熟語を登録する

- 登録したい文字(熟語)をあらかじめ入力しておきます。



- シフト** を押しながらか **熟語メモリ** を押します。



- 「登録」の位置にカーソルを置いて **実行** を押します。



- 登録したい文字(熟語)の始点または終点にカーソルを合わせます。

← を1回押して「郎」の位置にカーソルを移動させます



- 実行** を押すと終点の指定になります。下線カーソルが反転カーソルに変わります。



- 6  を3回押し「松楠太郎」をすべて反転表示させ  を押します。

ローマ字	P 松楠太郎			
かな				
英大	終点の指定			
英小	1-1	30	100	7777G

- 7 「まっくた」とよみを入力します。

ローマ字	P 松楠太郎			
かな				
英大	まっくた			
英小	1-1	30	100	7777G

- 8  を押します。
登録が終了すると左記のような表示が
できます。

ローマ字	【登録】			
かな	[まっくた]			
英大	松楠太郎			
英小	を登録しました			

- 9 熟語を登録し通常入力画面に
戻ります。

以後、熟語の削除を行なわない限りは
「まっくた」とよみを入力して変換すると
「松楠太郎」と熟語変換されます。

ローマ字	P 松楠太郎			
かな				
英大				
英小	1-1	30	100	7777G

お願い

☆ ⑧ の登録終了の表示が出るまで決して電源を切らないでください。以前に登録されている熟語やメモリのデータが破壊したり、故障の原因となる場合があります。

メモ

☆登録できる熟語は、10文字以内です。

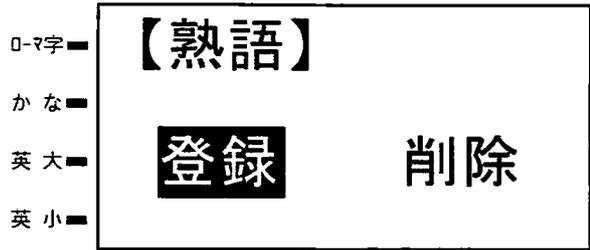
☆登録できる熟語のよみは、ひらがなで6文字以内です。ただし、ローマ字入力の場
6文字目は母音以外は入力できません。

☆登録する熟語の範囲には、改行マークや編集マークなどを含むことはできません。

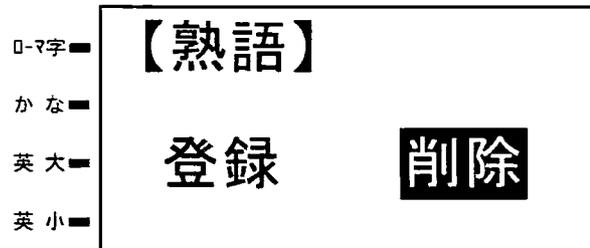
6.2 熟語を削除する

不要になった熟語を削除します。

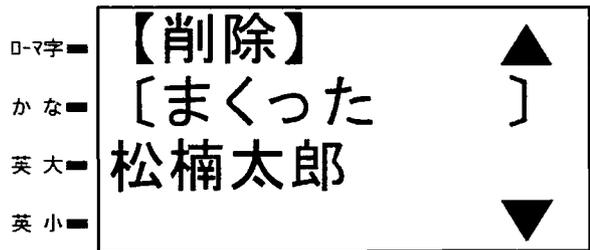
- ①  を押しながらか  を押します。



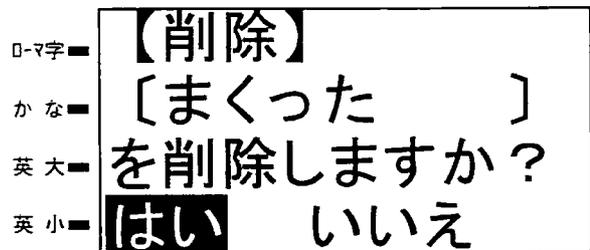
- ②  を押して「削除」を選び、
 を押します。



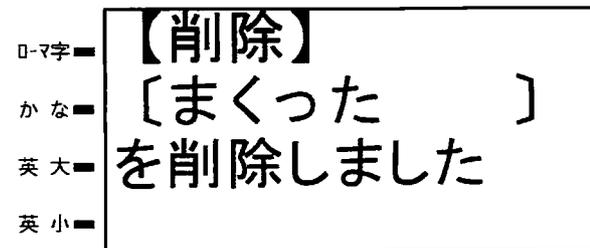
- ③   で削除する熟語を選び、
 を押します。



- ④ 削除するか確認をします。削除してよければ「はい」を選び、
 を押します。



- ⑤ 削除が終了すると左記のように表示した後、通常入力画面に戻ります。



お願い ☆ ⑤ の削除終了の表示ができるまで決して電源を切らないでください。以前に登録されている熟語やメモリのデータが破壊したり、故障の原因となる場合があります。

第3章

文字を削除する／ データをクリアする

この章では、文章を編集する際のキー操作方法について説明します。

- 1. カーソルキーのはたらき 38
- 2. 文字を削除する 39
- 3. 入力文章をクリアする 40
- 4. 設定した書式をクリアする 41

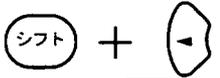
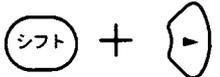
1. カーソルキーのはたらき

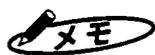
カーソルキーは「読み」入力の状態によってはたらきが変わります。

1)「読み」入力中

キー	はたらき
	「読み」入力画面のカーソルが1つ左に移ります。
	「読み」入力画面のカーソルが1つ右に移ります。

2)「読み」入力中でないとき

キー	はたらき
	確定入力表示画面のカーソルが1つ左に移ります。
	確定入力表示画面のカーソルが1つ右に移ります。
	複数行が入力されているとき、確定入力表示画面のカーソルが1つ上に移ります。
	複数行が入力されているとき、確定入力表示画面のカーソルが1つ下に移ります。
	ブロックの先頭にカーソルが移ります。
	ブロックの末尾にカーソルが移ります。
	文章の先頭にカーソルが移ります。
	文章の末尾にカーソルが移ります。



☆ブロックについては67ページを参照してください。

2. 文字を削除する

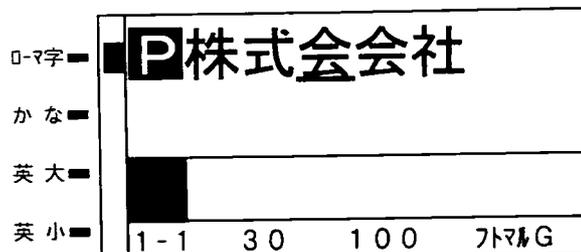
1文字ずつ削除していくやり方としては **削除** キーと **BS** キーを使うやり方があります。

削除 はカーソルの位置にある文字を削除します。

BS はカーソルの位置より1つ前の文字を削除します。

例 **削除** キーを使って削除する場合

1 削除したい文字にカーソルをあわせま
す。



2 **削除** を押します。



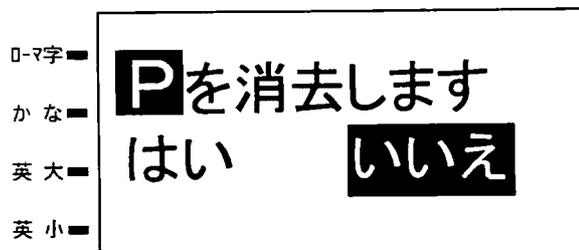
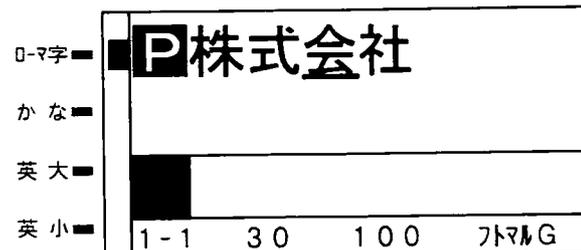
☆改行マーク(↓)、下線マークや絵文字マークを削除する場合も、文字の場合と同様に、削除するマークにカーソルを合わせ、**削除** を押します。

□マークを削除する場合は、右のように確認画面が表示されます。

①削除する**□**にカーソルを合わせ、**削除**を押します。

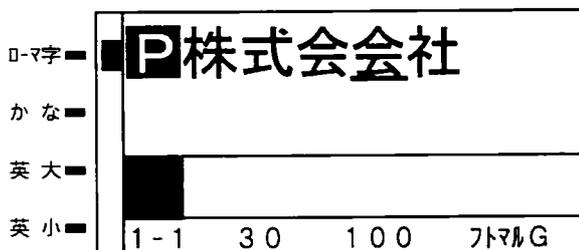
②「はい」を選んで **実行** を押します。

③削除した**□**の後ろにある文字は、直前の**□**に従って出力されます。



例 **BS** キーを使って削除する場合

1 削除したい文字の後にカーソルをあわせま
す。



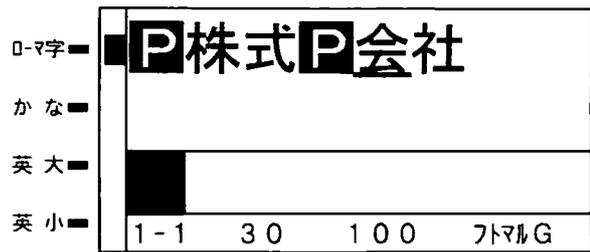
2 **BS** を押します。



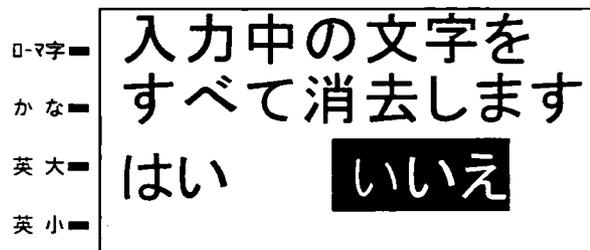
3. 入力文章をクリアする

表示している文字と□マークすべてを一括して消去します。

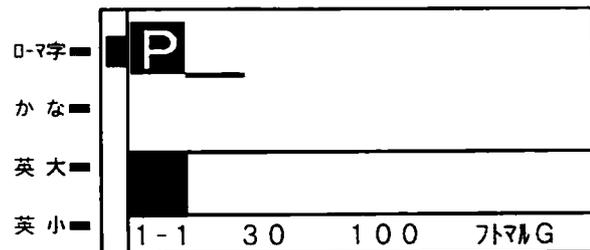
- 1 カーソルはどここの位置にあってもかまいません。



- 2 **シフト** を押しながら **クリア** を押し、**削除** を押します。



- 3 **←** を押して「はい」を選択後 **実行** を押します。



メモ 一番先頭の□マークとその設定内容は消去されません。

4. 設定した書式をクリアする

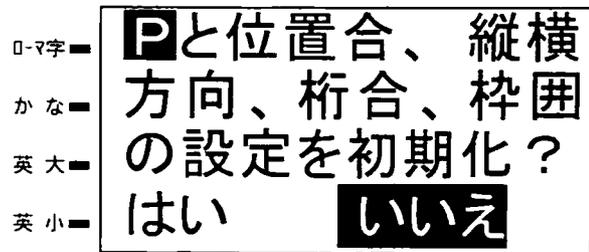
表示している全てのPマークに設定されている書式や枠囲みなどの設定を工場出荷時の値に戻します。

① カーソルは任意の位置にあります。

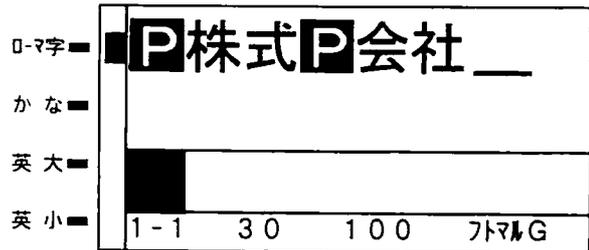


② **シフト** を押しながらか **BS** を押します。

設定クリア



③ **←** を押して「はい」を選択後 **実行** を押します。



☆ Pマークの工場出荷時の値は付録3の初期値一覧表を参照してください。



☆ 一度初期化した動作は、取消すことはできません。

第4章

簡単なサインを作ってみる （基本操作）

この章では、例題にそって簡単なサインを作る一連の操作について説明します。

1. 電源を入れる	44
2. 文字を入力する	45
4. イメージ表示して確認する	46
5. プリントする	47
6. はさみで切る	48

この章では下図のような「禁煙」の文字に矩形枠を付けた、簡単なサインの作り方を説明します。



サインを作るには、

- ①電源を入れる。
- ②文字を入力する。
- ③装飾を設定する。
- ④イメージ表示で確認する。
- ⑤ハサミでシートをカットする。

の一連の操作を行なうことで作成できます。各操作について詳しく説明します。

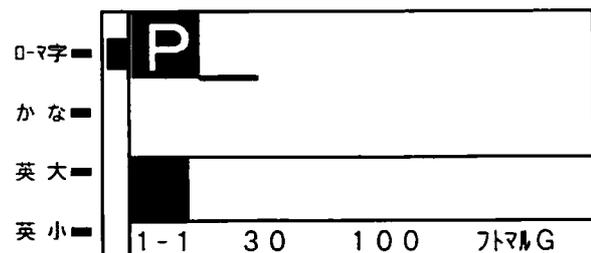
1. 電源を入れる

- 1 電源コードをコンセントに差し込みます。

- 2  キーを押します。
電源をONにすると、左図のようなオープニング画面が表示されます。



- 3 初期化動作を行ないますので数秒間経過後、入力画面が表示されます。

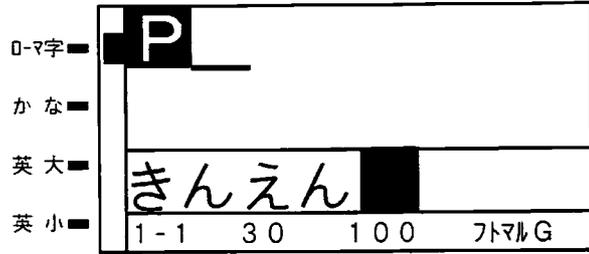


お願い 電源コードの抜き差しは、必ず電源 OFF の状態で行なって下さい。電源 ON の状態で電源コードの抜き差しをすると、故障の原因ともなります。

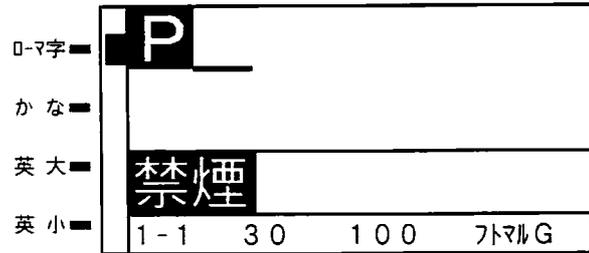
2. 文字を入力する

「禁煙」の文字を入力します。初期設定の書式(電源投入時の書式)で文字を入力してみます。

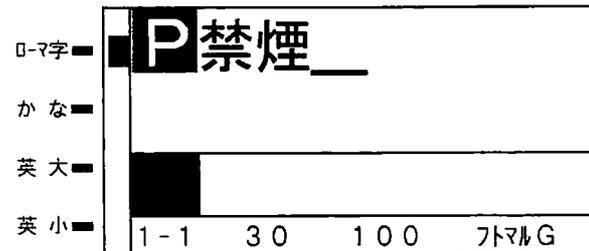
- 1 「きんえん」とよみを入力します。



- 2 **変換** を押します。



- 3 **実行** を押します。
「禁煙」の文字が入力できました。



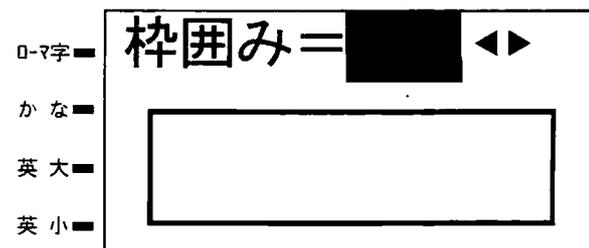
3. 文字に装飾を付ける

「禁煙」の文字を矩形枠で囲みます。ここでは矩形枠の設定を行ないませんが、詳細な枠囲みの設定のやり方は「第7章 枠囲み」69ページを参照してください。

- 1 **枠囲み** を押します。



- 2 **右矢印** を2回押し「矩形」を表示させます。



- 3 **実行** を押します。
 枠線情報の入力になりますが詳細は、第7章 枠囲みで説明します。

ローマ字	【枠線情報】	
かな	枠の太さ	2mm
英大	枠と文字の間	3mm
英小	反転	しない

- 4 **実行** を押します。
 これで「矩形枠囲み」が設定されました。通常の入力画面に戻ります。

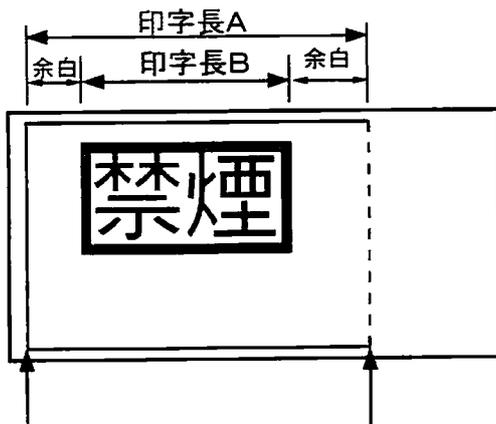
ローマ字	P 禁煙			
かな				
英大				
英小	1-1	30	100	72x72

4. イメージ表示して確認する

出力イメージを実際に出力する前に、画面で確認できます。入力文章の誤りや書式の設定誤りを出力前に確認でき無駄な出力を省くことができます。また、イメージ表示を行なう前には実際に出力される長さが mm 単位で表示されますので、出力前に出力される長さを知ることができます。

イメージ表示画面の見かたは、次のようになっています。

イメージ表示は、画面のたて幅が 100mm 幅シート全体となるよう表示されます。



四角枠はシートを示します

点線表示は印刷後ハサミを動作した時のカット位置

メモ

☆印字長の表示は、うしろの余白を「あり」にした場合と「なし」にした場合とで長さを示す場所が異なります。（初期値は「あり」です。）

うしろの余白が「あり」のとき：

左図の印字長Aが示すように印字内容の前後に余白がついた長さを示します。

うしろの余白が「なし」のとき：

左図の印字長Bが示すように印字内容そのものの長さを示します。

図の各余白の長さは 30mm になります。

参照

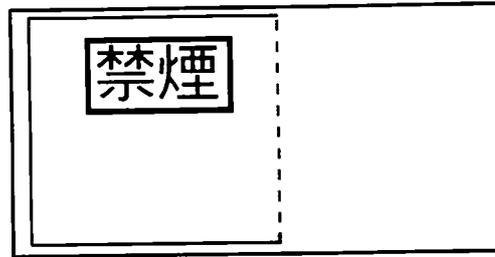
☆うしろの余白については第 12 章を参照してください。

イメージ表示を行ないます。

- 1 **イメージ** を押します。
 最初に印字長を表示します。

ローマ字	印字長	
かな	131mm	
英大		
英小		

2 印字イメージが動いて表示されます。



☆イメージを表示する前に処理に時間がかかる場合があります。
 ☆矢印印刷、連続印刷、連番印刷、ミラー印刷はイメージ表示はできません。

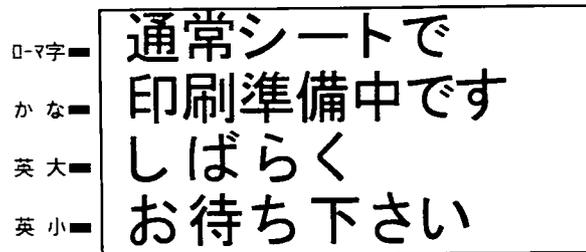
5. プリントする

プリントを行なう前に本体にビーポップシートとインクリボンカセットがセットされているか確認をしてください。セットの仕方は、「第1章 3. お使いになる前に」を参照してください。

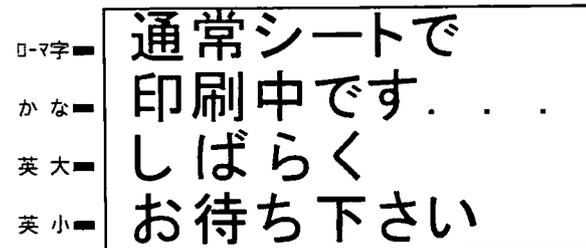
プリントを行ないます。

1 (スタート) を押します。

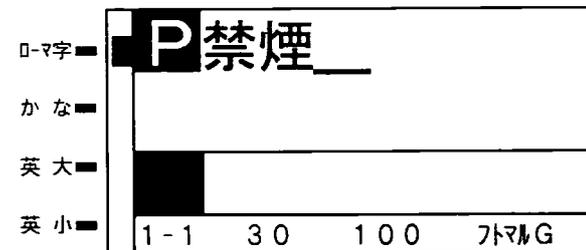
印刷を行なう為の準備を行なっています。



2 印刷準備が終了すると左図の表示に切り替わり、印刷を開始します。



3 印刷が終了すると印刷前の入力状態に戻ります。

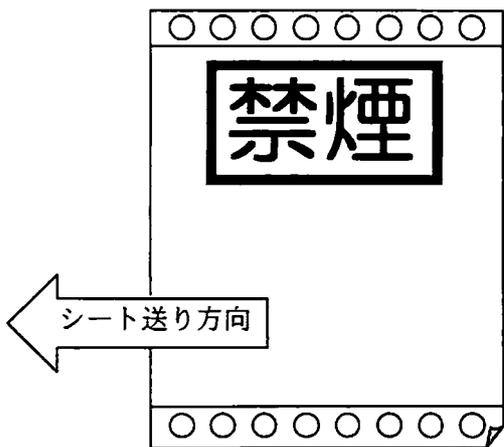


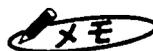
☆通常シート以外 (サーマル紙など) をお使いの場合はシート種類の設定が必要です。

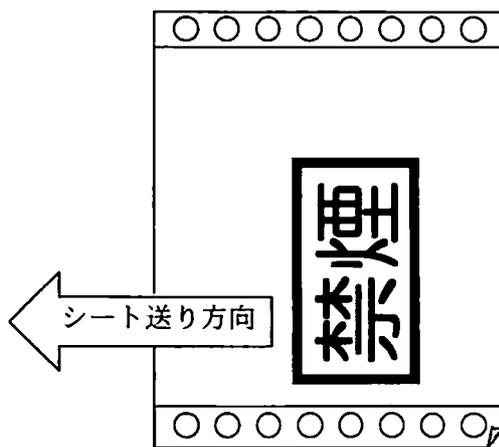


☆シート種類の選択については第12章を参照してください。

- 4 下のよう出力します。
出力結果



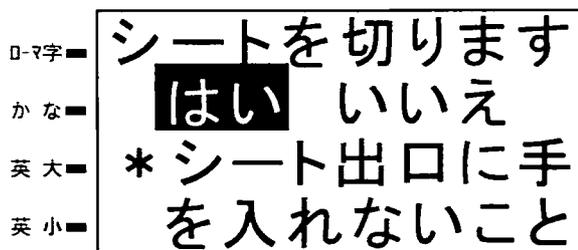
 ☆作画方向を「たて」に設定すると下図のよう出力します。



6. はさみで切る

印刷したシートを切り取ります。

- 1  を押します。



- 2  を押します。
シートが引き出され、はさみが動きます。

 ☆はさみの動作を行ないたくない場合は  で「いいえ」を選択して  を押してください

注意



はさみには絶対に触れないで下さい。不意に機械が動作したときケガの原因になります。

第5章

基本パラメータ

この章では、文字の大きさを変えたり、レイアウトを変えたりする方法について説明します。

1. P に設定される項目	50
1.1 基本パラメータ (P) とは	50
1.2 文字サイズの設定 (標準作画)	51
1.3 文字サイズの設定 (分割作画)	52
1.4 文字幅の設定	53
1.5 書体の設定	54
1.6 文字間隔の設定	55
1.7 行間隔の設定	56
1.8 斜体の設定	57
1.9 均等配列の設定	58
1.10 色の選択	60
1.11 パラメータを一覧表示で確認する	63

1. □に設定される項目

1.1 基本パラメータ (□) とは

基本パラメータとは、画面に表示される□マーク単位で設定できる項目を言います。

□では、次の□ (または文末) までの間に入力されている文字のサイズや書体などを設定します。文章の途中で、基本パラメータを変更すると新たに□が表示され、それ以降の入力した文字に設定内容が反映されます。

基本パラメータ	初期値 (工場出荷時)	設定範囲
①文字サイズ	30 mm	10 ~ 100 (180) mm
②文字幅	100 % (文字サイズに対して)	50 ~ 200 %
③文字間隔	3 % (文字サイズに対して)	1 ~ 100 %
④行間隔	10 % (文字サイズに対して)	1 ~ 100 %
⑤色	色1	色1、色2、色3
⑥書体	太丸ゴシック	標準搭載では 太丸ゴシック、太角ゴシック
⑦斜体	しない	する / しない
⑧均等配列	しない	20 ~ 2000 mm

[1 基本パラメータの表示]

- ・ ①②⑥のパラメータは、入力画面の下段に設定されている値が表示されます。

[2 基本パラメータの設定 ~ 文字入力前に設定する場合]

- ・ 表示先頭の□にカーソルをあわせ、基本パラメータキーを押すとその□の設定値が変更できます。

[3 基本パラメータの設定 ~ 入力途中で変更する場合]

- ・ 変更したい□にカーソルをあわせ、基本パラメータキーを押すとその□の設定値が変更できます。
- ・ 入力された文章途中で基本パラメータキーを押すと、新しく□が表示され、その□以降の文章の設定値が変更できます。
- ・ 新しく挿入された□の設定していない項目の値は、挿入時に直前にあった□と同じになります。



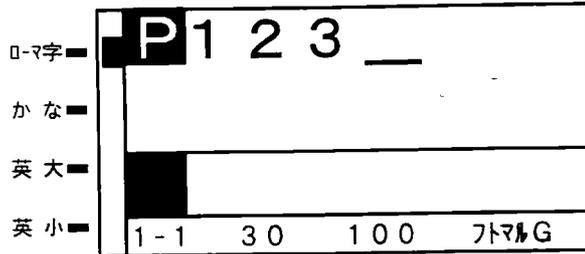
- ☆先頭の□は削除できません。
- ☆1ラベルで□が入力できる数は最大10個までです。
- ☆一度に作画できる範囲は、余白を含めて2mまでです。

1.2 文字サイズの設定 (標準作画)

[例1]

文字サイズ30mm (工場出荷時) を「123」と入力した後、文字サイズ80mmで「45」と入力してみます。

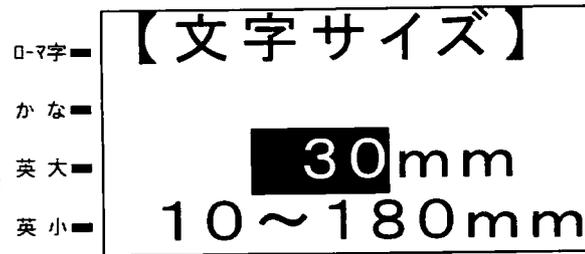
- 1 起動時の状態で「123」を入力します。



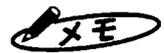
- 2 **サイズ** を押します。



☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず**0**マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の30mmが設定されています。



- 3 「8」「0」と押して変更したいサイズ80mmを入力します。

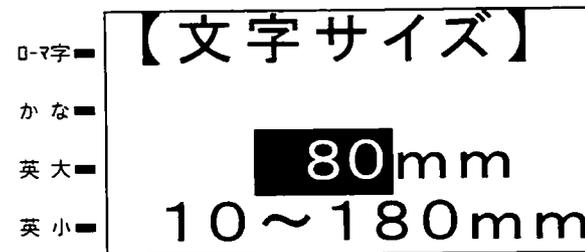


☆カーソルキーでも入力できます。



→ : 1mmずつ増加します。

← : 1mmずつ減少します。

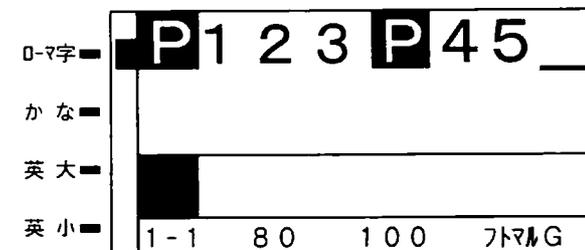


- 4 **実行** を押すと設定されます。状態表示のサイズの値が80mmに変更されています。

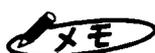
・ **実行** の代わりに **戻る** を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



- 5 「45」と続けて入力します。



- 6 イメージ表示で出力イメージを確認してみてください。



☆既に設定してあるサイズ値を変更するにはカーソルを**0**マークの下に移動させ **サイズ** を押します。そこでサイズ入力を行なうとサイズが変更されます。

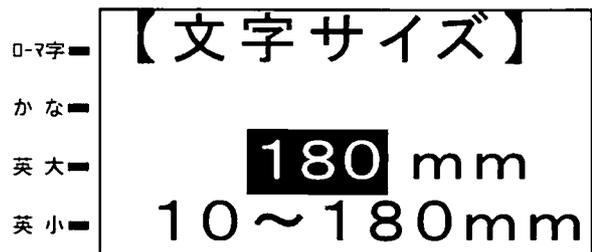
1.3 文字サイズの設定（分割作画）

シートの幅に入りきらない大きな文字を印字する場合は、2分割して印字を行ないます。

〔例2〕文字サイズ30mm（工場出荷時）で「123」と入力した後、文字サイズ180mmで「45」と入力してみます。

- ① 全ページの〔例1〕の手順②で180と設定し、**実行**を押します。

後の操作は「例1」と同じです。
続けて**スタート**を押します。



- ② シートの幅を超える印刷になる場合には分割印刷を行なうかの選択表示がでます。



- ③ **▼**を押して「上下」を選択して**実行**を押します。



- ④ 出力を開始します。
出力が終わると通常入力画面に戻ります。



☆1行入力の時のみ分割作画できます。（改行マーク、改ブロックマークがあると印刷できません。）

☆次の機能が設定されている時は分割作画動作はできません。

- ①作画方向が縦 ②連続または連番での印刷 ③枠囲み
- ④矢印 ⑤カラフル印刷

☆手順2の項目に関しては次のような場合にお使い下さい。

- 無し : 分割作画を行なわないで作画動作を中止する。
- 上下 : 分割の上下を印字する。
- 上のみ : 分割の上のみを印字する。上のみ貼り損じた場合にお使い下さい。
- 下のみ : 分割の下のみを印字する。下のみ貼り損じた場合にお使い下さい。

☆出力は文字の中央で2分割されます。

☆イメージ表示では、最初に「上」を表示し、その後つづけて「下」の部分を表示します。

1.4 文字幅の設定

文字を長体にしたり平体にしたりします。

株 株 株

文字幅 50% 100% 200%

[例3] 文字幅を200%に変える。

- 1 変えたい文字の先頭にある \blacksquare もしくは変えたい文字にカーソルをあわせませす。



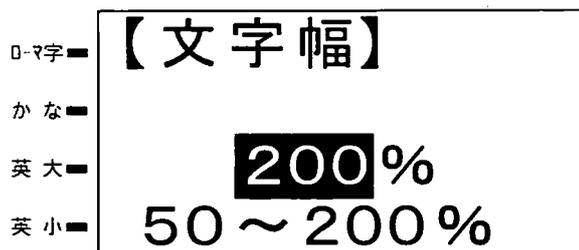
- 2 文字幅 を押します。
現在、設定されている文字幅の値を表示します。



メモ ☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず \blacksquare マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の100%が設定されています。

- 3 「2」「0」「0」と入力します。

メモ ☆カーソルキーでも入力できます。
 2 : 1%ずつ増加します。
 0 : 1%ずつ減少します。



- 4 実行 を押すと設定されます。
状態表示の文字幅の値が200%に変更されています。

・ 実行 の代わりに 取消 を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



メモ ☆文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置に \blacksquare が新しく挿入されそれ以降の文字に文字幅が設定されます。

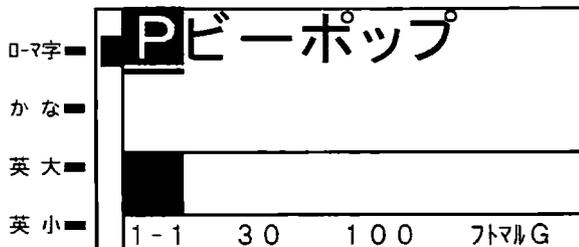
1.5 書体の設定

内蔵の2書体から書体を選んで設定します。オプションの書体パックを装着すると、装着した書体も選択できるようになります。オプション書体については、カタログをご覧になるか、最寄りの当社営業所へお問い合わせください。

内蔵書体の設定

太丸ゴシックから太角ゴシックに変更します。

- 1 変えたい文字の先頭にある□もしくは変えたい文字にカーソルをあわせませす。



- 2 **書体** を押します。
現在、設定されている書体が反転表示されます。



☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず□マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の太丸ゴシックが設定されています。



- 3 **▶** を押して「太角G」を選択します。



- 4 **実行** を押すと設定されます。
状態表示の書体名が「フトカクG」に変更されています。

- ・ **実行** の代わりに **取消** を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



☆文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置に□が新しく挿入されそれ以降の文字が設定した書体になります。



☆オプション書体については「第13章書体パックの使いかた」を参照してください。

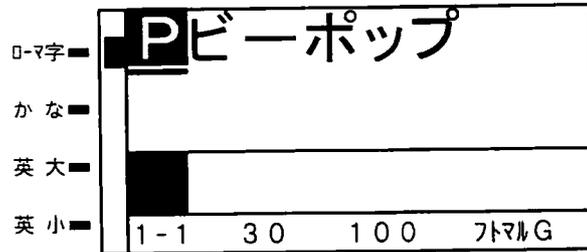
1.6 文字間隔の設定

文字と文字の間隔を設定します。比率は文字サイズに対してのものです。したがって、サイズ30mmで文字間隔を10%にすると30mm×10%=3mmが文字と文字の間隔となります。



例 文字間隔を10%に設定します

- 1 変えたい文字の先頭にある□もしくは変えたい文字にカーソルをあわせます。



- 2 **文字間** を押します。
現在、設定されている文字間隔の値を表示します。

メモ ☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず□マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の3%が設定されています。



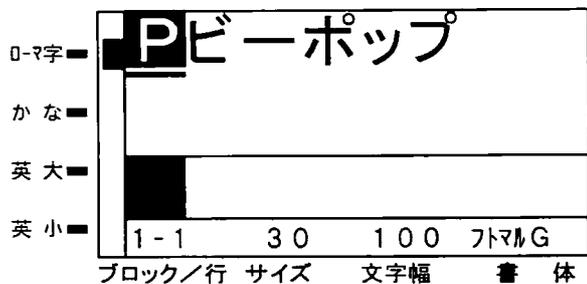
- 3 「1」「0」と入力します。

メモ ☆カーソルキーでも入力できます。
 (→) : 1%ずつ増加します。
 (←) : 1%ずつ減少します。



- 4 **実行** を押すと設定されます。

・ **実行** の代わりに **ESC** を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



メモ ☆文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置に□が新しく挿入されそれ以降の文字に文字間隔が設定されます。

1.7 行間隔の設定

行と行の間隔を設定します。比率は文字サイズに対してのものです。したがって、サイズ30mmで文字間隔を10%にすると30mm×10%=3mmが行と行の間隔となります。

東京
大阪

例 行間隔を50%に設定します

- 1 行間隔を変えたい上の行の最後にある□にカーソルをあわせませす。



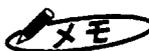
- 2 **シフト** 押しながら **行間文字間** を押します。現在、設定されている行間隔の値を表示します。



☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず□マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の10%が設定されています。



- 3 「5」「0」と入力します。



☆カーソルキーでも入力できます。



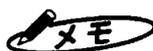
: 1%ずつ増加します。

: 1%ずつ減少します。



- 4 **実行** を押すと設定されます。

・ **実行** の代わりに **取消戻り** を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



☆文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置に□が新しく挿入されそれ以降の文字列に行間隔が設定されます。

1.8 斜体の設定

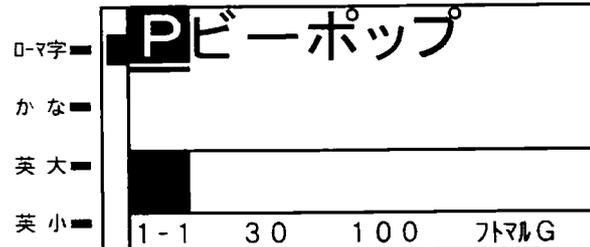
文字の正体／斜体を設定します。

東京

斜体設定時

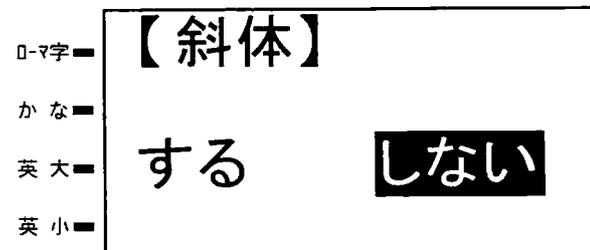
例 斜体を設定します

- ① 変えたい文字の先頭にある \square もしくは変えたい文字にカーソルをあわせませす。

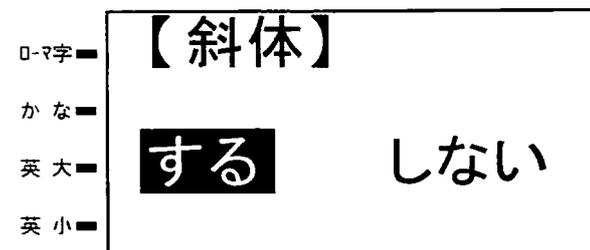


- ② $\text{\textcircled{斜体}}$ を押します。
現在、設定されている斜体の状態を表示します。

$\text{\textcircled{メモ}}$ ☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず \square マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の「しない」が設定されています。

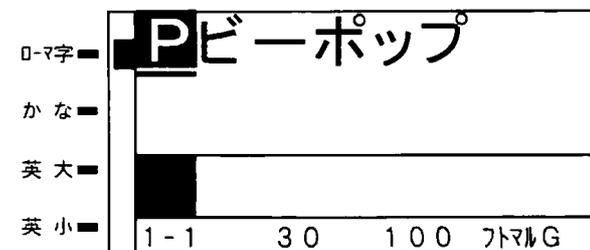


- ③ $\text{\textcircled{←}}$ を押して「する」を選択します。



- ④ $\text{\textcircled{実行}}$ を押すと設定されます。

・ $\text{\textcircled{実行}}$ の代わりに $\text{\textcircled{取消}}$ を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



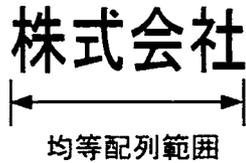
$\text{\textcircled{メモ}}$ ☆文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置に \square が新しく挿入されそれ以降の文字に斜体が設定されます。

1.9 均等配列の設定

文字列を均等配列範囲の中に均等に配列します。



①均等配列範囲が文章よりも長く設定した場合は文字間隔を広げて文字を配置します。

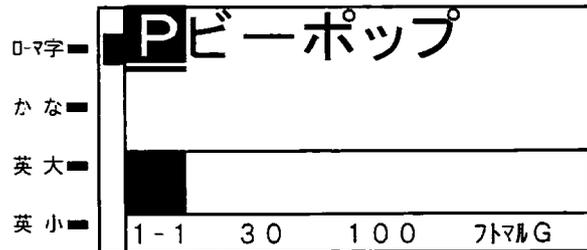


②均等配列範囲が文章よりも短く設定した場合は文字幅を自動的に縮めて文字を配置します。

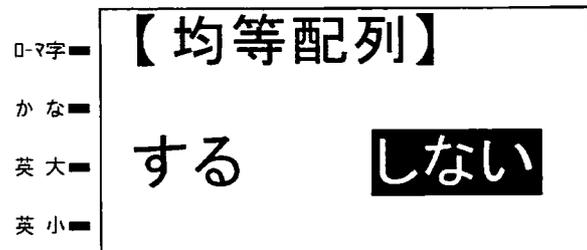
(但し、文字幅が50%以下にしなければ範囲内に納まらない場合は配置できません。)

例 均等配列を250mmで設定します。

- 1 均等配列をかけたい文字の先頭にある もしくは、均等配列をかけたい文字にカーソルをあわせませす。



- 2 を押します。現在、設定されている均等配列の状態を表示します。



☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ず マークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の「しない」が設定されています。

- 3 を押して「する」を選択します。



- 4 を押すと均等配列の範囲入力になります。



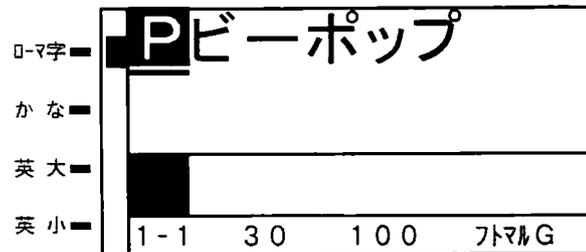
5 「2」「5」「0」のように均等配列したい範囲（長さ）を入力します。

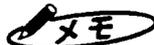
 ☆カーソルキーでも入力できます。
 : 1 mm ずつ増加します。
 : 1 mm ずつ減少します。



6  を押します。
 均等配列が設定され通常入力画面に戻ります。

 の代わりに  を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



 ☆均等配列の設定は、次のまで有効です。

1.10 色の選択とカラフル印刷のしかた

印刷する色は文章の中に最大3色まで設定することができます。色の指定は1～3の番号を使用しその番号順にインクリボンカセットを交換することで、指定箇所に指定色で印刷します。

(1) 色の設定のしかた

例 1行目に「工事中」を黒色で、2行目に「立入禁止」を赤色で印刷するように設定します。

1 カーソルをPの下に合わせます。

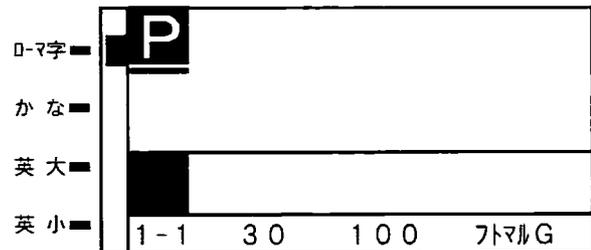


2 シフトを押しながら色斜体を押します。現在、設定されている色の状態を表示します。



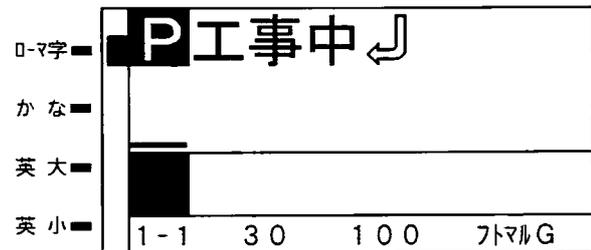
メモ ☆電源を入れると、表示画面の先頭には必ずPマークが自動的に作られます。このときのパラメータの値は工場出荷値の「色1」が設定されています。

3 ここで1色目の色を設定するため「色1」を選んで実行を押します。

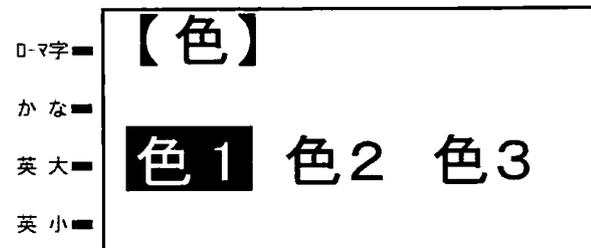


通常入力画面に戻ります。

4 「工事中」と入力し改行を押します。



5 ここで2色目の色設定をするため再度シフトを押しながら色斜体を押します。



- 6 2色目なので  を押して「色2」を選択します。



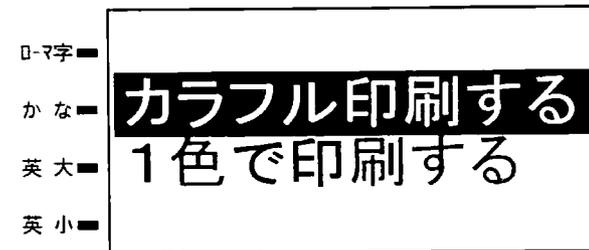
- 7 ここで  を押すと「色2」が設定された  が入力され、通常入力画面に戻りますので「立入禁止」と入力します。

これで、色設定は終了です。

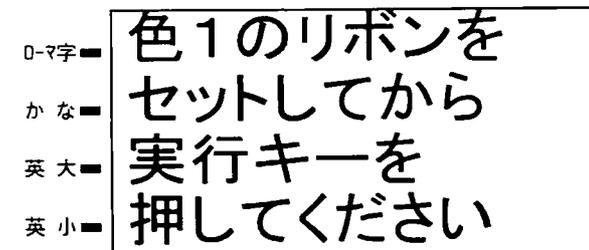


(2) カラフル印刷のしかた

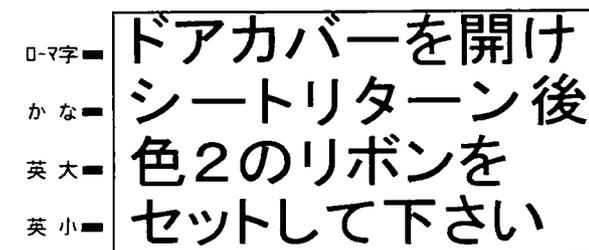
- 1 設定および入力終了したら  を押します。
カラフル印刷をするか、1色で印刷するかを選びます。
「カラフル印刷をする」を選んで  を押します。



- 2 1番目に使用する色のインクリボンカセットを装着し、ドアカバーを閉めてから  を押すと1番目の色指定した内容の印刷を開始します。



- 3 1番目に指定した色で印字を開始します。「工事中」の印刷が終了すると右の画面に変わります。
ドアを開けてください。
数秒後にシートが自動的に戻されます。シートが停止するまでドアは閉めないでください。



- 4 シートが戻され停止したら、2番目に使用する色のインクリボンカセットを装着します。
ドアカバーを閉めてから(実行)を押すと2番目の色指定した内容の印刷を開始します。

ローマ字 ■
かな ■
英大 ■
英小 ■

色2を印刷します
実行キーを
押して下さい

- 5 以上で2色印刷が終了します。
3色を設定した場合も同様で、表示メッセージに従って操作してください。

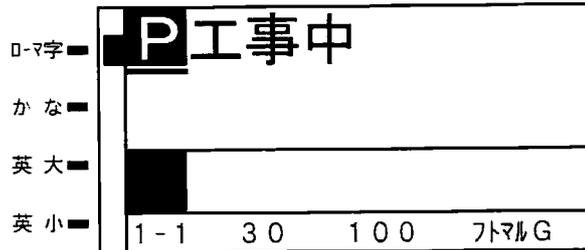


- ☆「枠囲み」を設定している場合、枠の色は色1で使うインクリボンの色になります。
また反転を指定した場合も反転色は色1になります。
☆矢印付きでの印刷を選択した場合(「矢印」を押して出力した場合)矢印の色は色1になります。

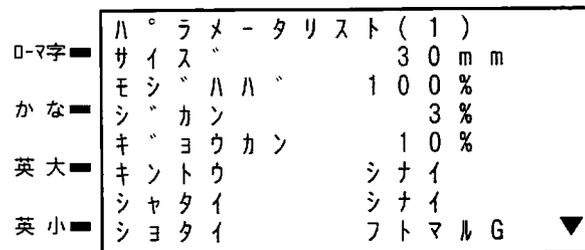
1.11 パラメータを一覧表示で確認する

基本パラメータ（Pで設定する項目）やその他の印刷に関する設定項目の、現在の設定状況を一覧表示して確認します。

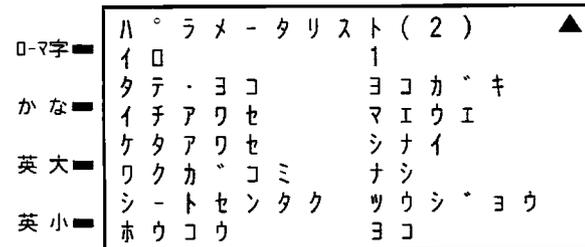
- ① 設定内容を確認したいPマークにカーソルを合わせます。



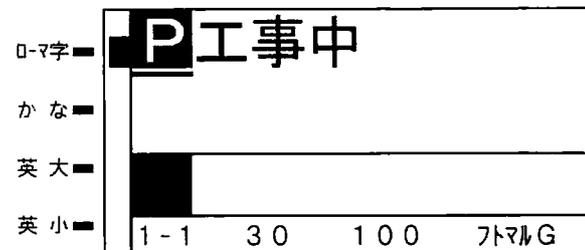
- ② **シフト**を押しながら **P-一覧**を押します。カーソル位置のPの設定内容が表示されます。最初にパラメータリスト(1)を表示します。



- ③ **下向き矢印**を押します。次にパラメータリスト(2)を表示します。



- ④ **実行**または**取消/ストップ**を押すと通常入力画面に戻ります。



☆P以外の位置にカーソルがある状態で、P一覧表示はできません。

☆表示される内容は設定されている状況によって変わりますので、上記と全く同じ画面が表示されるとは限りません。

☆それぞれの画面では、個々の設定内容を変更することができます。

例．・手順②のパラメータリスト(1)が表示されている一覧表示で、**サイズ**を押すとこのPマークのサイズを変更することができます。

第6章

改行や改ブロックで編集する

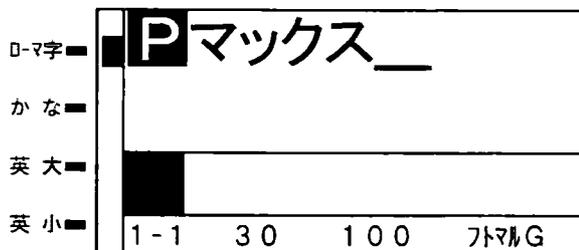
この章では、改行のやりかた、改ブロックのやりかたについて説明します。

1. 改行	66
2. 改ブロック	67

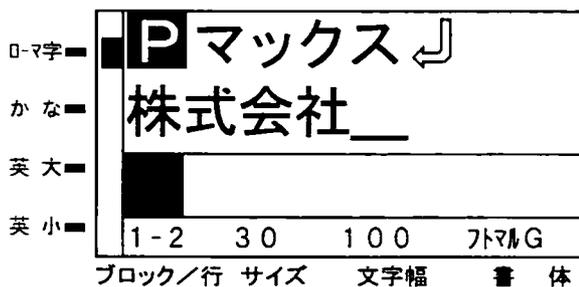
1. 改行

本機は最大6行までの改行ができます。**改行**を押すと改行マークが文書中に挿入され、改行されます。

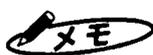
① 文字を入力します。



② **改行**を押すと改行マーク『』が挿入され、カーソルが次行先頭に移動します。状態表示の「行」の値が2に変わります。



③ 続けて文字を入力します。



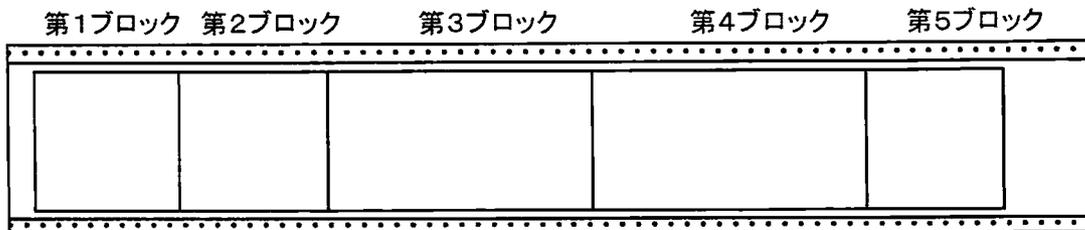
- ☆画面表示は、実際のレイアウトと異なりますので、イメージ表示で確認してください。
- ☆最大6行まで入力できます。
- ☆状態表示の「行」を示す数字は現在のカーソル位置が何行目であることを示します。

2. 改ブロック

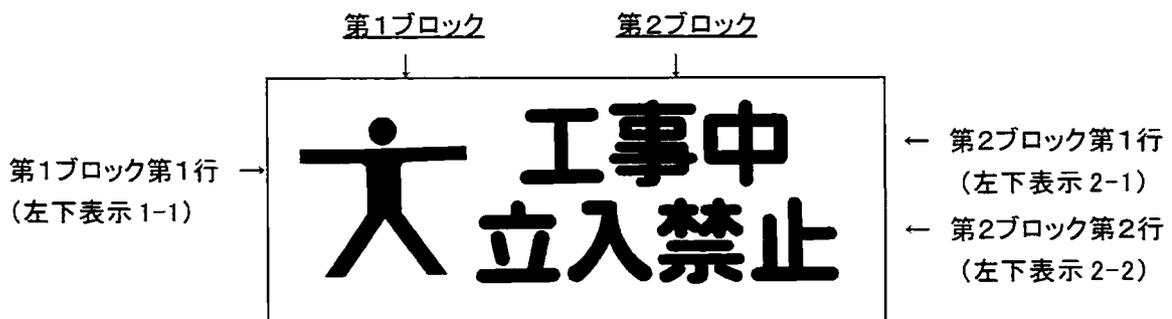
入力文章をブロック化することで、レイアウトの自由度が増します。特に絵文字と文章を組み合わせる場合などに、ブロック化することでバランスよくレイアウトできるようになります。

【ブロック化とは】

ブロック化とは、シートの送り方向に対しブロックで区切ることです。最大5ブロックまでつくることができます。（改ブロックマークは4個まで入力できます。）



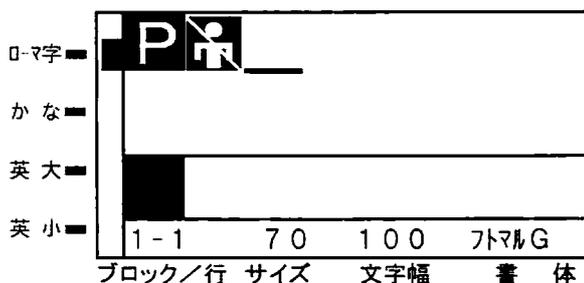
例. 下のような表示物をブロックを使って作成します。



例では「立入禁止マーク」が第1ブロック第1行、「工事中」が第2ブロック第1行、「立入禁止」が第2ブロック第2行になります。

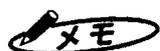
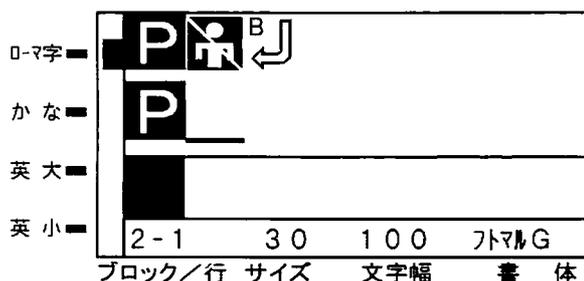
1 まず第1ブロックの入力を行ないます。

を押して「立入禁止」の項目の中の [D] を選択します。また先頭の マークのサイズを70mmで設定してください。



2 ここで を押しながら を押し

ます。第2ブロックの入力に移ります。

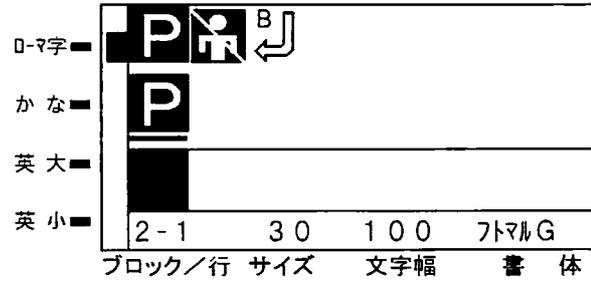


☆改ブロックを行なうと マークが自動的に出ます。この は工場出荷時の値になります。

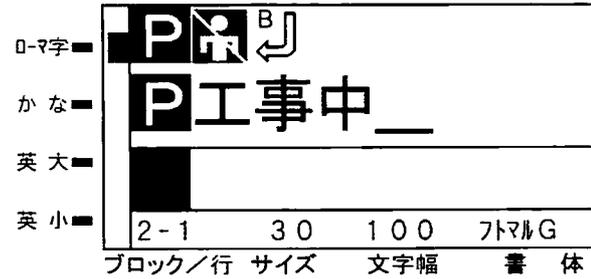
- 3 カーソルをPの位置に戻しサイズを30mmに設定します。



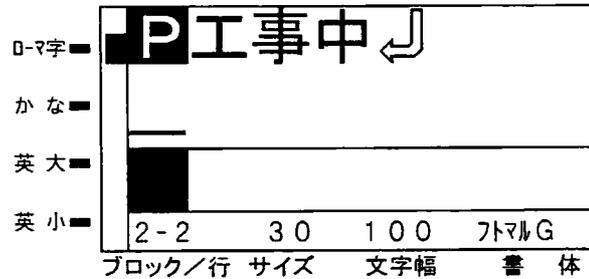
☆サイズの設定の仕方は「5章基本パラメータ」の「文字サイズの設定」を参照してください。



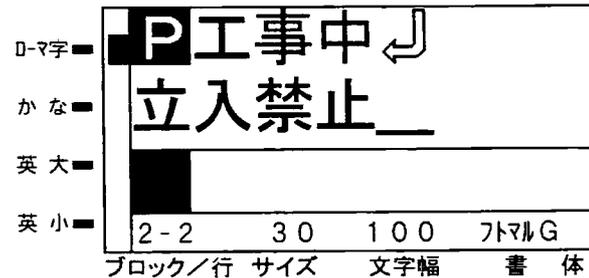
- 4 第2ブロックの1行目の「工事中」を入力します。



- 5 ここで、第2ブロックの中で改行をするので **改行** を押します。



- 6 第2ブロックの2行目を入力します。「立入禁止」と入力します。



- 7 「位置合せ」の設定を複数行の揃え方を「中央」シート幅出力位置を「中配置」に設定してください。



☆位置合せの設定については「第8章 ラベル全体にかかわる設定」の「位置合せ」を参照してください。

- 8 以上で入力終了です。印字イメージを確認するには **イメージ** を押してください。印字するには、**スタート** を押してください。

第7章

枠囲み

この章では、枠で文章を囲むしかたについて説明します。

1. 枠囲みの種類 70
2. 枠囲みのしかた 71
3. 矢印枠線囲みのしかた 73
4. 反転印字のしかた 74

1. 枠囲みの種類

枠囲み印字とは、入力されている文字列全体を囲み付き（額縁状）で作画することです。囲みの種類は以下の12種類あります。このうち「矩形線枠囲み」「長円枠線囲み」「円枠線囲み」「角丸枠線囲み」「左矢印枠線囲み」「右矢印枠線囲み」の6種類については、囲み枠の幅、および文字と囲み枠との間隔を数値で設定することもできます。なお囲み枠の大きさは、文字サイズ、文字と囲み枠との間隔、囲みの枠幅の値によって定義されます。

【枠囲みの種類】

表枠線囲み



矩形枠線囲み



長円枠線囲み



円枠線囲み



角丸枠線囲み



左矢印枠線囲み



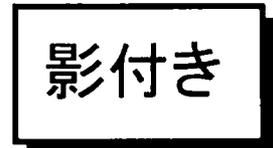
右矢印枠線囲み



メモ枠線囲み



影付き枠線囲み



表札枠線囲み



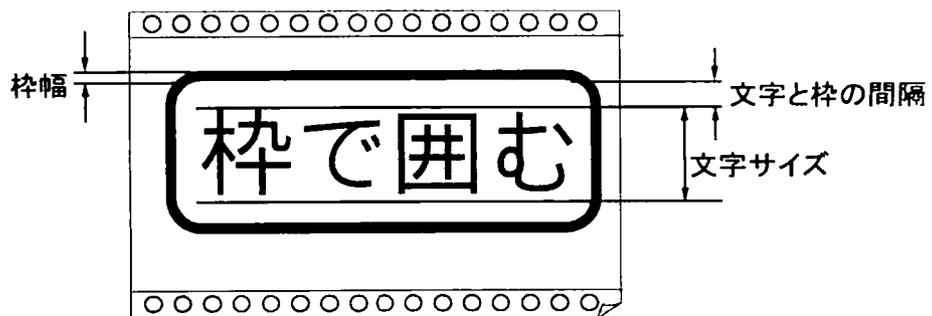
吹出し枠線囲み



リボン枠線囲み



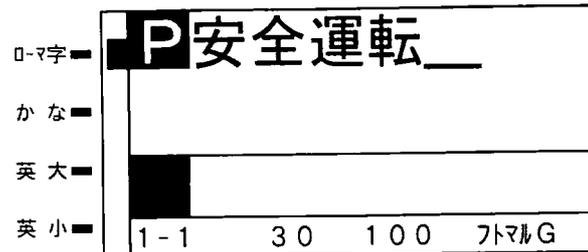
【囲み枠の幅、文字と囲み枠との関係】



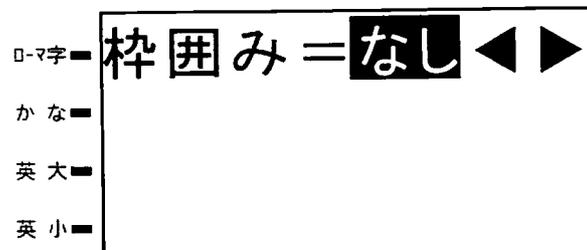
2. 枠囲みのしかた

例) 矩形枠線囲みで「安全運転」と印字してみます。(枠の太さ3mm、枠と文字の間隔7mm、他は起動時の初期値とします。)

1 「安全運転」と入力します。

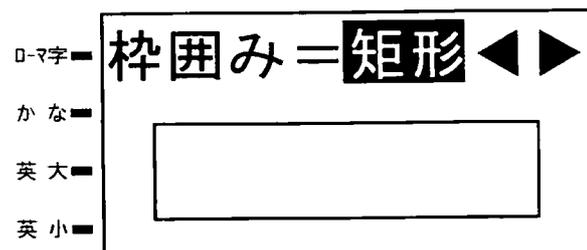


2 **枠** を押します。

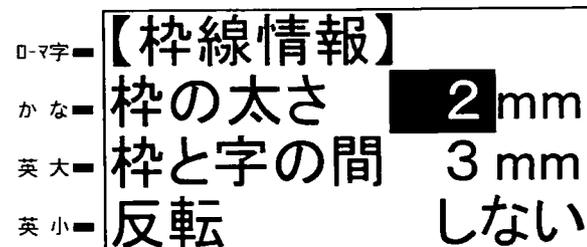


3 **▶** を2回押します。

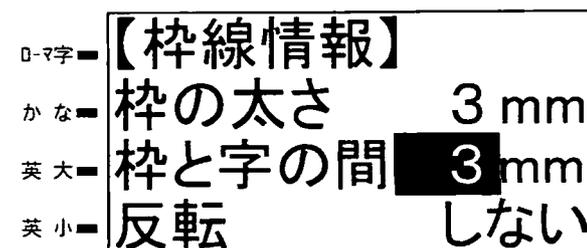
「矩形」が表示されたら **実行** を押してください。



4 【枠線情報】の入力になります。



5 枠の太さを入力します。
「3」を入力し **▼** を押します。



第7章
枠囲みのしかた

- 6 枠と文字の間隔を入力します。
「7」を入力し  を押します。

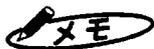
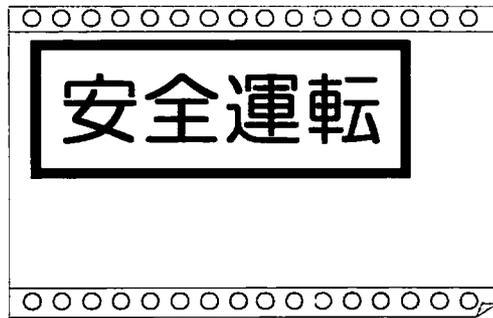
0-マ字	【枠線情報】	
かな	枠の太さ	3 mm
英大	枠と字の間	7 mm
英小	反転	しない

- 7 反転は「しない」のでそのまま
 を押します。

これで矩形枠線囲みの設定は終了です。通常の入力画面に戻ります。

0-マ字	P安全運転			
かな				
英大				
英小	1-1	30	100	7マ&L G

- 8  を押すと次のように印字します。

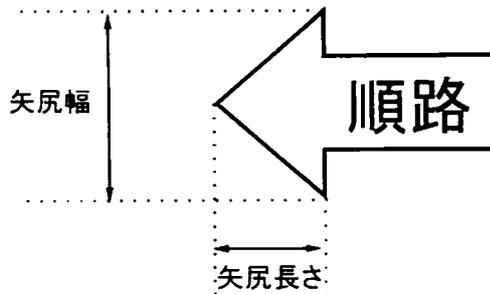


☆反転を指定した場合の反転状態は各枠囲みで下の様になります。

表枠線囲み 	矩形枠線 	長円枠線 
円枠線囲み 	角丸枠線 	左矢印枠線 
右矢印枠線 	メモ枠線囲み 	影付き枠線 
表札枠線囲み 	吹出し枠線 	リボン枠線 

3. 矢印枠線囲みのしかた

左矢印枠線囲みと右矢印枠線囲みでは、「枠線情報」の他に「矢印情報」の指定をして矢尻の幅と矢尻長さを調整できます。



矢尻の幅は16～100 mmの間で設定できます。(工場出荷時は50 mm)
矢尻の長さは「大」「中」「小」の中から選択できます。

例) 左矢印枠線囲みで「順路」と印字してみます。(枠の太さ2mm、枠と文字の間隔3mm、矢尻幅60 mm、矢尻長さを「中」、他は起動時の初期値とします。)

- ① 「順路」と文字入力し、**枠** を押し「左矢印」を選択してください。前ページの「2. 枠囲みのしかた」の枠線情報の設定までは同じ操作になります。右の枠線情報を入力したら **実行** を押します。

ローマ字	【枠線情報】
かな	枠の太さ 2 mm
英大	枠と字の間 3 mm
英小	反転 しない

- ② 「矢印情報」の表示に変わります。矢尻幅で「60」と入力して、**▼** を押してください。

ローマ字	【矢印情報】
かな	矢尻幅 60 mm
英大	矢尻長さ 大
英小	

- ③ 矢尻の長さに移りますので **▶** を押して「中」を選択します。

▶ を押す毎に大、中、小の表示に変わります。

ローマ字	【矢印情報】
かな	矢尻幅 60 mm
英大	矢尻長さ 中
英小	

- ④ **実行** を押してください。左矢印枠線囲みの設定が終了し、通常入力画面に戻ります。

4. 反転印字のしかた

文字を反転印字するには、枠囲みを利用して行ないます。反転される領域は枠の種類によって異なります。72ページの  を参照してください。

例) 下図の様に「広域農道工事」を矩形枠線囲みを使って反転印字してみます。

広域農道工事

- ① 「広域農道工事」と入力します。

ローマ字	P	広域農道工事
かな		
英大		
英小	1-1	30 100 7mm G

- ②  を押し、 を2回押します。

「矩形」が表示されたら  を押してください。

ローマ字	枠囲み = 矩形
かな	
英大	
英小	

- ③ 【枠線情報】の入力になります。「枠の太さ」、「枠と字の間」を入力してください。塗りつぶす部分を大きくする場合は「枠の太さ」、「枠と字の間」の値を大きくしてください。

ローマ字	【枠線情報】
かな	枠の太さ 2 mm
英大	枠と字の間 3 mm
英小	反転 しない

 ☆「枠の太さ」「枠と字の間」の値は1mmからになります。

- ④  を押し、 で「反転」するを選びます。

ローマ字	【枠線情報】
かな	枠の太さ 2 mm
英大	枠と字の間 3 mm
英小	反転 する

- ⑤  を押すと反転の設定が終了し、通常入力画面に戻ります。

ローマ字	P	広域農道工事
かな		
英大		
英小	1-1	30 100 7mm G

8章

ラベル全体にかかわる設定

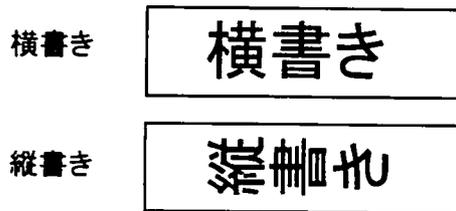
この章では、ラベル全体にかかわる設定について説明します。

1. 縦書・横書の設定 76
2. 桁合わせをする 77
3. 位置合わせをする 78
4. シートに対する作画方向を変える 80

1. 縦書・横書の設定

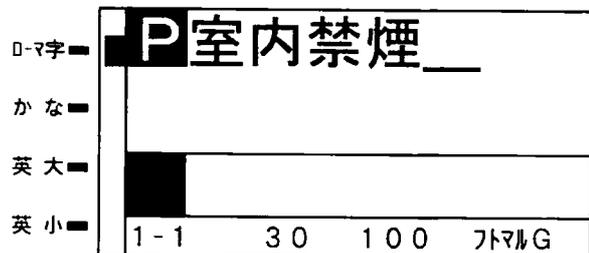
文字を横書きに印字するか、または縦書きに印字するかの設定ができます。

入力した全ての文字や記号が横書きまたは縦書きになります。(部分的な設定はできません。)

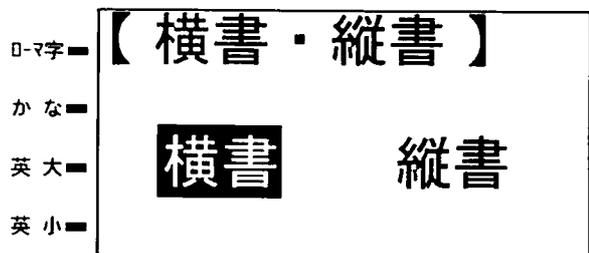


例「室内禁煙」を縦書きで印字します。(他の設定は起動時の初期値とします。)

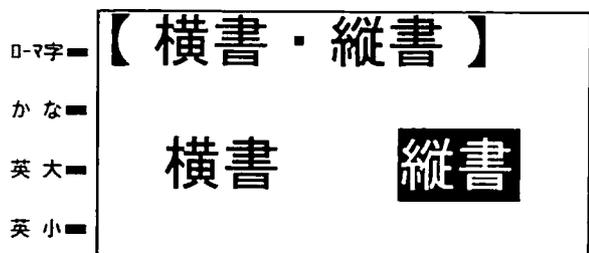
1 「室内禁煙」と入力します。



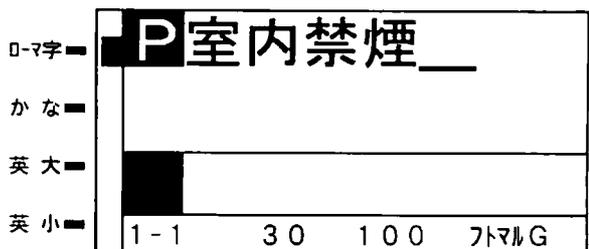
2 **縦・横** を押します。
縦・横は全ての文字に設定されるのでカーソルはどここの位置にあっても設定できます。
現在設定されている状態が反転表示されます。



3 **▶** を押し「縦書」を選びます。



4 **実行** を押すと「縦書き」が設定され、通常入力画面に戻ります。



メモ ☆縦書・横書の設定は、パラメータマーク **□** に含まれません。

2. 桁合わせをする

同じエリア内に2行以上文字を入力したときに、それぞれの行の文字の縦の位置を合わせたい場合、桁合わせを設定します。

(例)

桁合わせしない場合 (初期値)

TEL 03-123-1111
FAX 03-123-9876

桁合わせした場合

TEL 03-123-1111
FAX 03-123-9876

- 1 例の電話番号とFAX番号を入力します。

0-マ字	P	TEL	_	03	-
かな		FAX	_	03	-
英大					
英小	1-1	30	100	ガマ&G	

- 2 (シフト) を押しながらかな位置合を押します。現在の「桁合わせ」の状態が反転表示されます。

0-マ字	【桁合わせ】				
かな	する	しない			
英大					
英小					

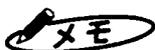
- 3 (←) を押します。

「する」を選択して実行を押してください。

0-マ字	【桁合わせ】				
かな	する	しない			
英大					
英小					

- 4 桁合わせが設定され、通常入力画面に戻ります。

0-マ字	P	TEL	_	03	-
かな		FAX	_	03	-
英大					
英小	1-1	30	100	ガマ&G	



☆桁合わせを設定すると、文章の出力長さは長くなります。
☆桁合わせの設定は、パラメータマーク [] に含まれません。

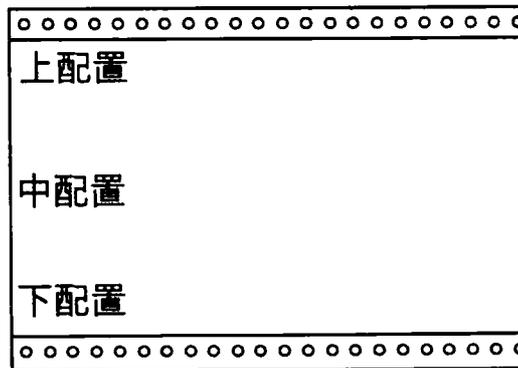
3. 位置合わせをする

各行の配置とシート幅に対しての出力位置設定を行います。位置合わせの機能の中で「複数行の揃え方」と「シート幅出力位置」の設定が行えます。

【複数行の揃え方】

- 1)前寄 東京都中央区
日本橋
- 2)中央 東京都中央区
日本橋
- 3)後寄 東京都中央区
日本橋

【シート幅出力位置】

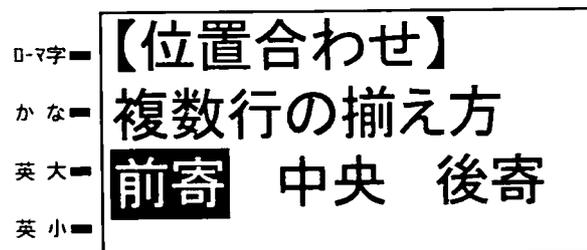


例 「複数行の揃え方」を中央で「シート幅出力位置」を中配置で設定します。

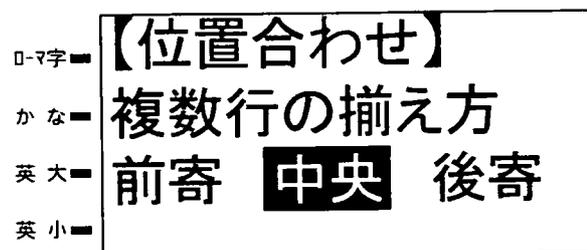
- 1 文字を入力します。



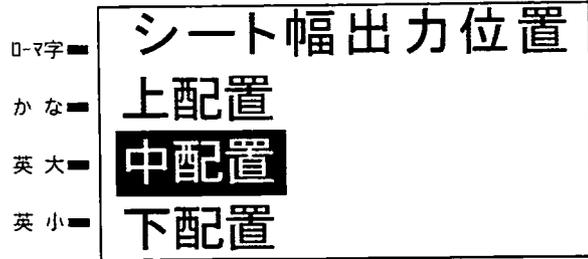
- 2  を押します。



- 3  で、「複数行の揃え方」で「中央」を選び、 を押します。



4 続けて  で、「シート幅出力位置」で「中配置」を選び、 を押しします。

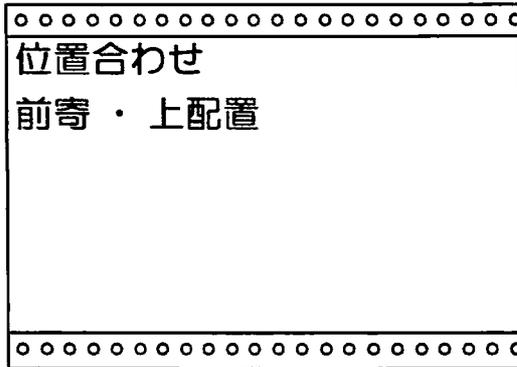


5 通常入力画面に戻ります。
 を押すと出力が開始されます。

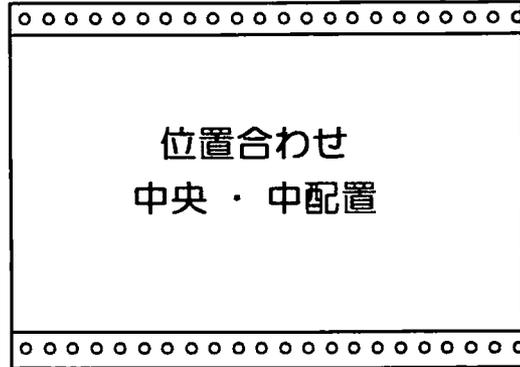


 ☆「位置合わせ」「シート幅出力位置」の出力結果は、下記の通りとなります。

前寄にすると、左（縦書きの場合は上）詰めに、上配置にするとシートに対し上（縦書きの場合は右）に配置されます。

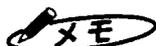


中央にすると、中心を軸にして各行を合わせ（縦書きの場合も同様）、中配置にするとシートに対し真中（縦書きの場合も同様）に配置されます。



後寄にすると、右（縦書きの場合は下）詰めに、下配置にするとシートに対し下（縦書きの場合は左）に文字が配置されます。

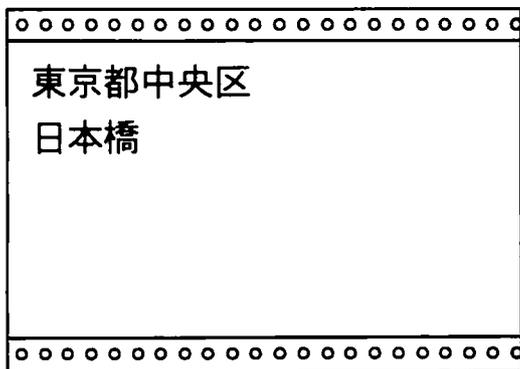


 ☆位置合わせの設定は、パラメータマーク  に含まれません。
☆1行しか入力されていなくても、複数行の揃え方は設定できますが、意味をなしません。
この場合は、シート幅出力配置のみ設定した機能を果たします。

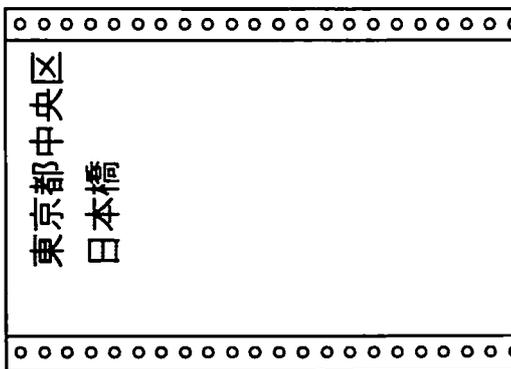
4. シートに対する作画方向を変える

ラベルの配置方法（作画方向）を、通常時のシートの長さ（に対する）方向の他に、シートの幅（に対する）方向を選んで出力できます。文字サイズが小さく、文字列の短いラベル（100mm以下）を出力するときなどにこの機能を使うと、シートを節約できます。

【作画方向 横】

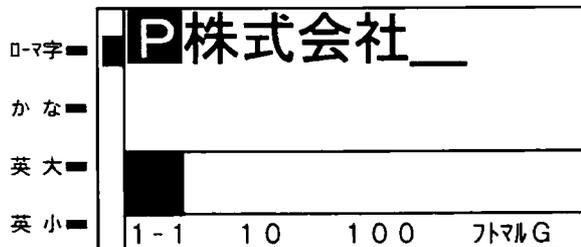


【作画方向 縦】

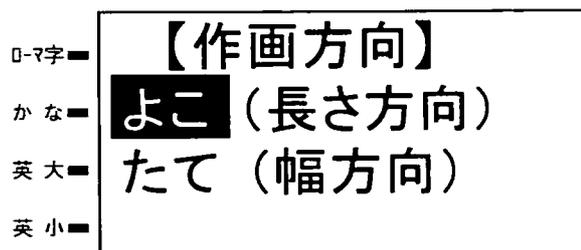


例 作画方向を縦に設定します。

1 ラベルを入力します。

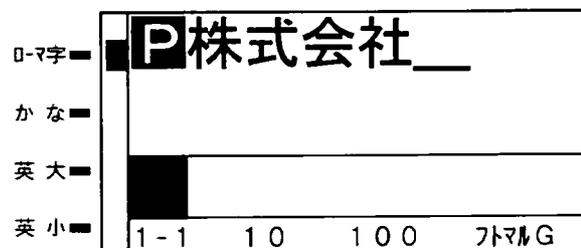


2 (シフト) を押しながらか (縦・横) を押します。



3 (V) を押して「たて」を選択し、

(実行) を押します。



☆出力サイズが100 mmを超える場合、「たて」では作画エラーとなり出力できません。

この場合は、作画方向を「よこ」にします。

☆作画方向はメモリ登録時に記憶されます。

☆作画方向の設定は、パラメータマーク  に含まれません。

第9章

矢印の印刷

この章では、入力した文字の左右（縦書きの場合は上下）に矢印をつけて印刷するしかたについて説明をします。

1. 矢印の種類	82
1.1 矢印を付ける位置	82
1.2 矢印の長さ	82
2. 矢印をつけてプリントする	83

1. 矢印の種類

入力した文章に矢印を付加して印刷を行います。矢印を付ける位置と、長さを指定することができます。設定終了後は、矢印を付けて印刷を行います。

1.1 矢印を付ける位置

横書を指定した場合

1) 矢印位置で左を指定した場合



2) 矢印位置で右を指定した場合



3) 矢印位置で両方を指定した場合



縦書を指定した場合

1) 矢印位置で上を指定した場合



2) 矢印位置で下を指定した場合

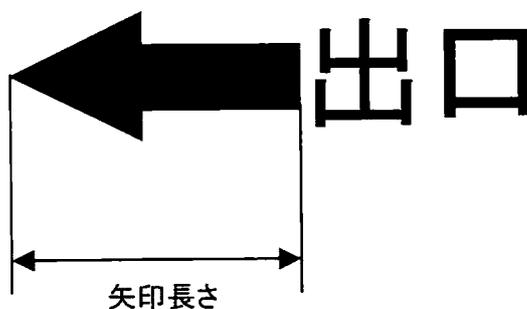


3) 矢印位置で両方を指定した場合



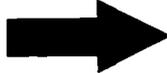
1.2 矢印の長さ

矢印の長さは下記図に示す長さを示します。



2. 矢印をつけてプリントする

例「入場口」の文字に150mmの右矢印を付けて印刷します。

入場口 

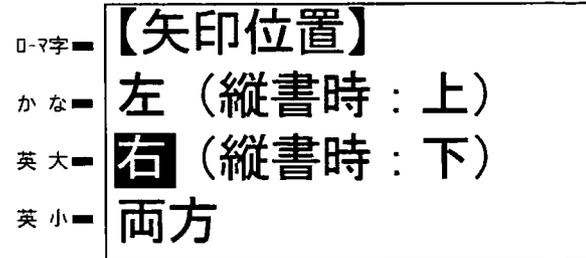
① 「入場口」と文字を入力します。



② **シフト** を押しながら、**矢印** を押します。

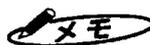


③ **▽** を押して矢印をつける位置の右を反転させて、**実行** を押します。



④ 矢印の長さの入力になります。150と入力して **実行** を押します。



 ☆矢印キーでも入力できます。

 : 1mmずつ増加

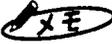
 : 1mmずつ減少

☆入力した数値を訂正する場合

は、**BS** を押して、消去した後、正しい数値を入力します。

- 5 右の画面が表示され、 を押すと、印刷が開始されます。印刷が終了すると、通常の入力画面に戻ります。

ローマ字	全体の長さ
かな	244mm
英大	スタートボタンを
英小	押して下さい

-  右の画面で  を押すと、手順 4 の画面に戻ります。

-  ☆手順 ① で、文字が入力されていないと、矢印をつけた印刷はできません。したがって、矢印のみの印刷をするときはスペースを入力してください。
- ☆矢印の幅や、軸の太さは、手順 ① で入力された文字サイズにより自動的に決まります。
- ☆手順 ① で、枠囲みの設定をしている場合は、文字の部分のみを囲み、矢印は囲みません。
- ☆矢印内は塗りつぶされます。
- ☆矢印の長さは、10mm～2000mmで1mm単位で設定できます。ただし、全体の長さが2000mmを超えると、エラーとなります。
- ☆矢印の色と、文字の色は色指定を行うことで（60 ページ参照）違う色で印刷できます。ただし、矢印の色は「色1」としてセットしたインクリボン色で印刷されます。

第10章

その他の便利な機能

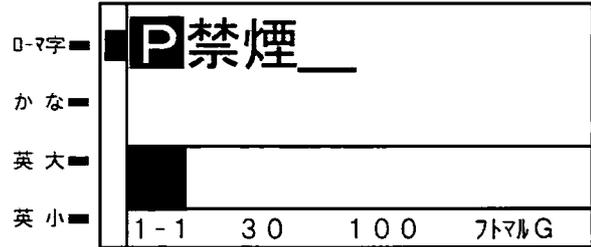
この章では、出力するのに便利な機能や、文字の逆順、下線を引く機能の操作方法を説明します。

1. 連続で出力する	86
2. 連番で出力する	88
3. 文字の配列を逆にする（逆順）	90
4. 下線を引く	91
5. ミラー（鏡像）で出力する	92

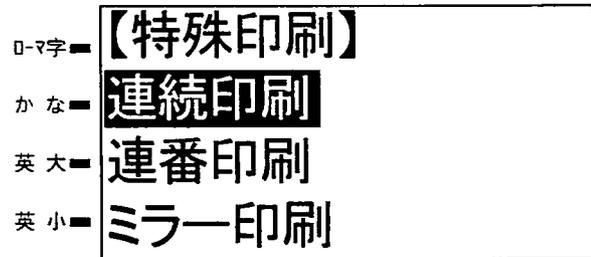
1. 連続で出力する

同じラベルを指定枚数だけ連続して出力します。同じ物が何枚もほしいとき便利です。
 例 「禁煙」の文字を5枚印刷します。

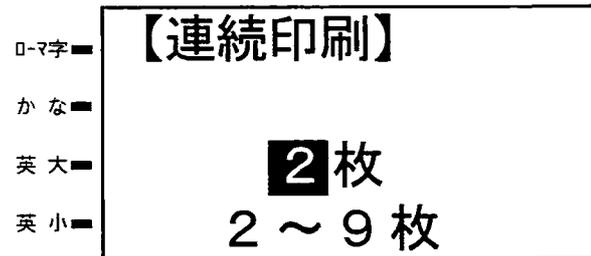
1 「禁煙」の文字を入力します。



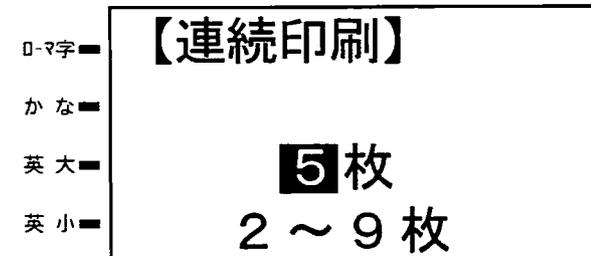
2 (シフト) を押しながらか(スタート)を押します。
 特殊印刷の項目が表示されます。



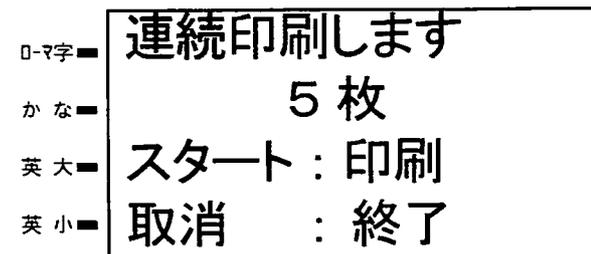
3 「連続印刷」が反転されていることを確認し、(実行)を押します。



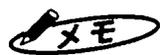
4 連続で印刷する枚数「5」を押して入力するか、または(←)(→)を押して5枚を設定します。



5 (実行)を押します。右の画面が表示されたら、(スタート)を押します。
 (終了)を押すと終了して通常入力画面に戻ります。



6 出力後、通常入力画面に戻ります。



☆連続印刷の場合、シートの無駄をなくす為上下の余白を詰めて印刷を行いますので、位置合わせのシート幅出力位置は常に上配置になります。

2. 連番で出力する

ラベルに入力した数字1ヶ所を指定して、その部分をナンバリングのように1ずつ増やして出力します。

例 書類-01 から 書類-05 までの連番で印刷します。

- 1 「書類-01」の文字を入力します。

ローマ字	P書類-01
かな	
英大	
英小	1-1 30 100 7トマルG

- 2 (シフト) を押しながら (スタート) を押します。特殊印刷の項目が表示されます。

ローマ字	【特殊印刷】
かな	連続印刷
英大	連番印刷
英小	ミラー印刷

- 3 (下向き矢印) を1回押して、「連番印刷」を反転させて、(実行) を押します。

ローマ字	【特殊印刷】
かな	連続印刷
英大	連番印刷
英小	ミラー印刷

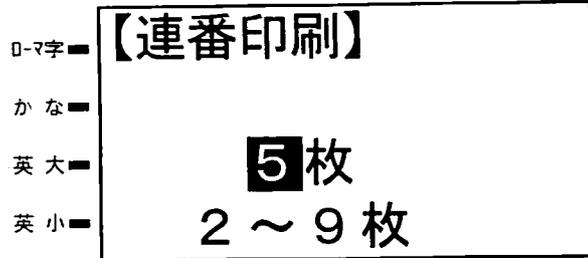
- 4 連番にする箇所の先頭に (左向き矢印) (右向き矢印) でカーソルをあわせ、(実行) を押します。(0にカーソルをあわせませす)

ローマ字	P書類-01
かな	
英大	始点指定
英小	1-1 30 100 7トマルG

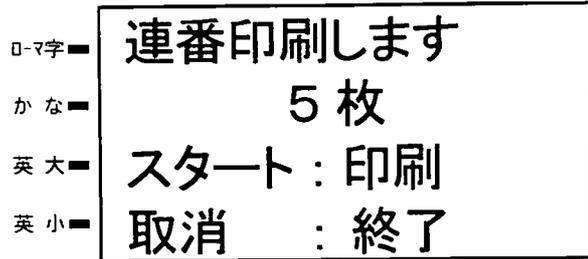
- 5 連番にする範囲を (左向き矢印) (右向き矢印) で選びます。選んだ範囲が反転表示になります。範囲を指定したら (実行) を押します。

ローマ字	P書類-01
かな	
英大	終点指定
英小	1-1 30 100 7トマルG

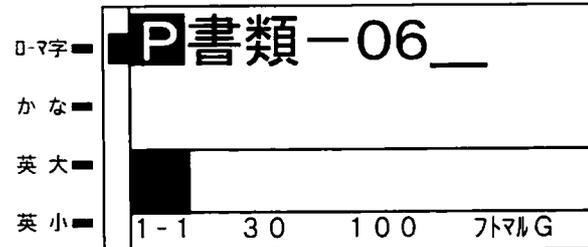
6 枚数を「5」を入力し、**実行**を押します。



7 右の画面が表示されたら、**スタート**を押します。出力を開始します。
(**終了**を押すと終了して通常入力画面に戻ります)



8 出力が終わると通常入力画面に戻ります。
このとき、連番を指定した箇所はカウントアップ後の値に入れ替わっています。



メモ

- ☆連番が指定できるのは、1ヶ所のみです。
- ☆連番が設定できる範囲は、連続した全角2桁のアラビア数字です。^{2桁数字}**半角文字**で入力した半角2桁数字は連番印刷できません。
- ☆桁上がりなどでラベルサイズに納まりきれなくなった場合は、その時点で出力を中止します。(画面にメッセージが表示されます)
- ☆連番のカウントアップは、次のようになっています。
 - ①数字のみの場合： 1 → 2 → … → 9 → 10 → 11 → … → 99 → 00 → 01 → …
 - ②数字の先頭に0がある場合： 01 → 02 → … → 09 → 10 → 11 → … → 99 → 00 → …
- ☆連番はメモリ登録できません。

第10章
連番で出力する

3. 文字の配列を逆にする（逆順）

カーソル位置から行末（または次の□のいずれか早いほう）までの文字の順序を入れ替えます。

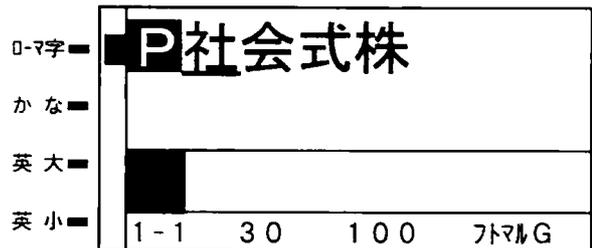
- 1 文字の配列を逆順にする箇所の先頭にカーソルを矢印キーを用いて合わせます。



- 2 (シフト) を押しながら ^{逆順} を押しします。



- 3 文字が逆順表示されます。

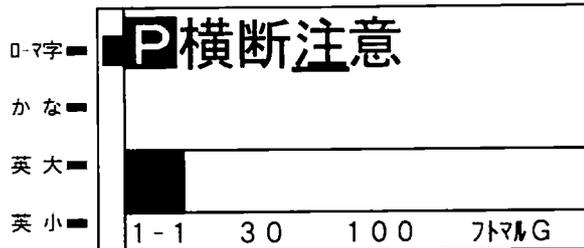


☆手順 2 で、再度逆順を設定すると、元の表示に戻ります。

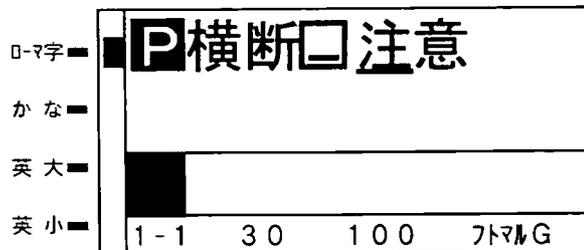
4. 下線を引く

下線編集マークに挟まれた文字に下線を引きます。下線編集マークは、必ず2個1対で使用します。

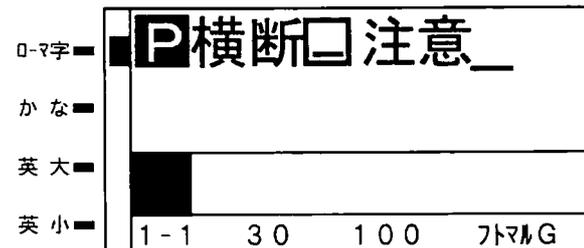
- 1 下線を引き始める文字にカーソルを合わせます。



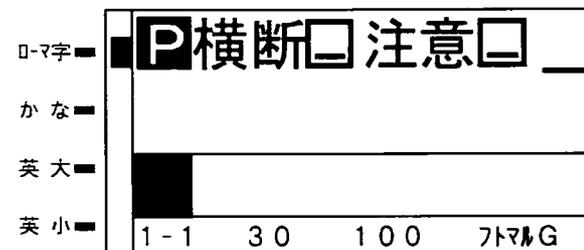
- 2 **シフト** を押しながら **下線** を押します。



- 3 下線を引く文字の最後の文字の次にカーソルを合わせます。



- 4 **シフト** を押しながら **下線** を押します。

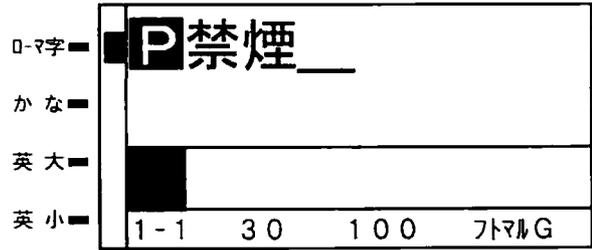


- ☆ **改行** や改行マーク、改ブロックをまたいで設定することはできません。
- ☆ 下線の線幅は、文字サイズと行間によって自動的に決まります。小さな文字サイズのときや、行間が小さな値のときは設定しても細すぎて作画されなかったり、かすれたりする場合があります。
- ☆ 下線編集マークは削除キー、BS キーで削除できます。

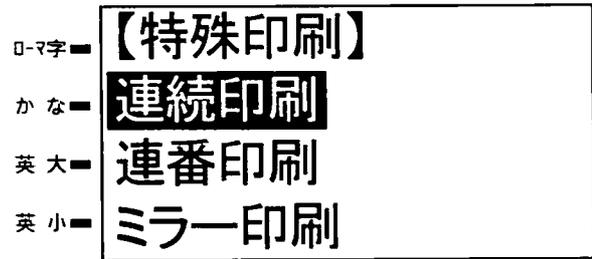
5. ミラー（鏡像）で出力する

透明シートに印刷して、ガラス面に内側から外に向けて貼る場合などに使用します。

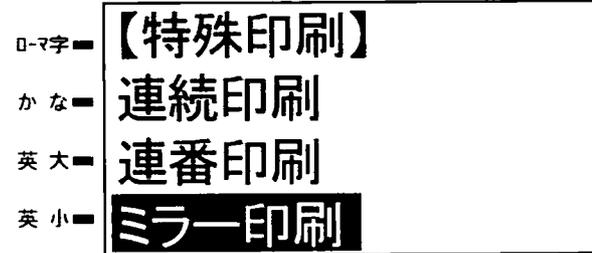
- ① 文字を入力します。



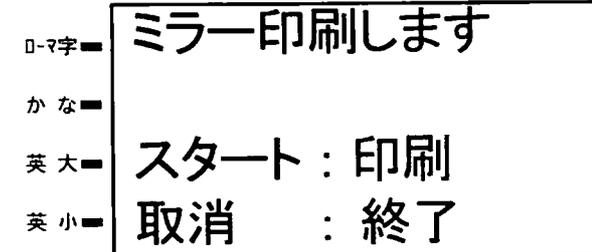
- ② (シフト) を押しながら (スタート) を押します。
特殊印刷の項目が表示されます。



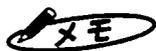
- ③ (V) を2回押して、「ミラー印刷」を反転させて、(実行) を押します。



- ④ 右の画面が表示されたら、(スタート) を押します。
(印刷) を押すと終了して通常入力画面に戻ります)



- ⑤ 出力後、通常入力画面に戻ります。



☆連続、連番出力との併用はできません。

第11章

メモリの使い方

本機では、入力したラベルを100個まで記録させることができます。オリジナルに作ったラベル、繰り返し使うラベルは登録しておけば、呼び出すだけで出力できますから、その都度入力する手間が省けます。

記録できる容量は次の通りです。

内部メモリ(標準)	最大100ファイル ／5,000文字
外部メモリ (別売: メモリパックLC-100M使用)	最大200ファイル ／10,000文字
合計 (メモリパック装着時)	最大300ファイル ／15,000文字

また、記録される内容はファイル名、入力した文字・記号・絵文字、基本パラメータ、ラベル単位での設定(枠囲みなど)です。特殊作画機能や連続・連番印刷機能の設定はできません。

1. 内部メモリの使いかた 94
 - 1.1 メモリを登録する 94
 - 1.2 登録したメモリを呼び出す 96
 - 1.3 不要になったメモリを削除する 97
 - 1.4 メモリをすべて削除する(全削除) 98
2. メモリパックの使いかた 99
 - 2.1 メモリパックを装着脱する 99
 - 2.2 メモリパックへの登録／呼出／削除／全削除 100

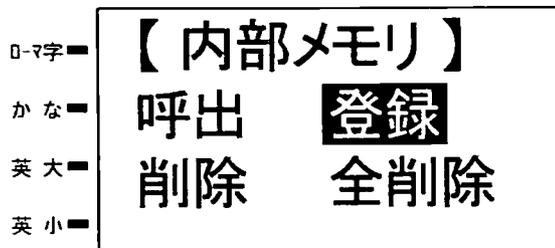
1. 内部メモリの使いかた

1.1 メモリを登録する

1 文章を入力します。



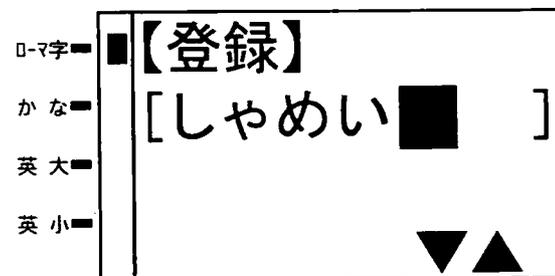
2 **メモリ** を押し、続けて **▶** を押して、「登録」を選びます。



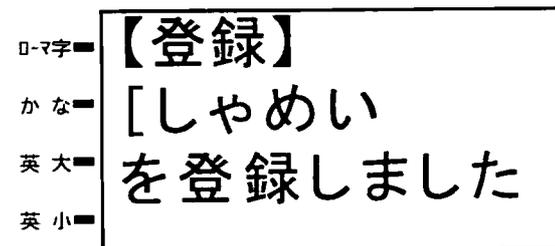
3 **実行** を押します。
 残りの登録ファイル数と文字数を表示します。



4 ファイル名を6文字以内で入力します。使える文字はひらがな、カタカナ、英数字のみです。



5 **実行** を押します。





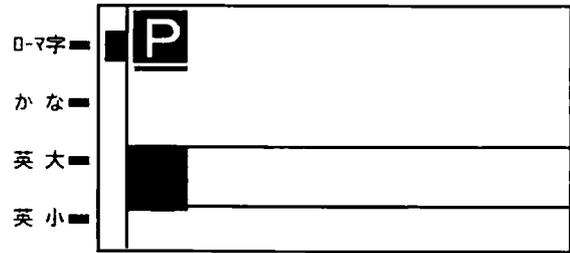
☆登録されない設定項目の主な内容は次の項目です。

- 連続・連番設定
- 矢印と文字
- ミラー
- 分割印刷時の上・下・両方の選択

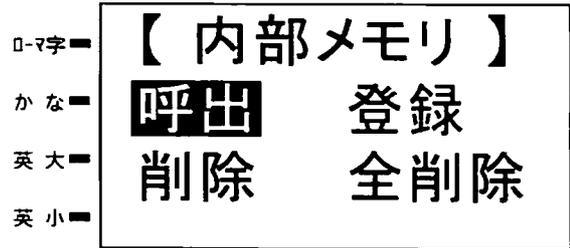
☆ローマ字入力をお使いの場合は、ファイル名を登録するときに、6文字目は母音のひらがな、もしくは英数字のみの入力となります。

1.2 登録したメモリを呼び出す

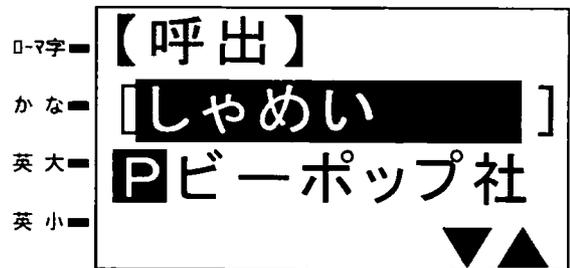
- 1 編集中の文章があれば、それを登録しておきます。(編集中の文章がない場合は、この操作は不要です)



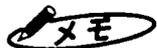
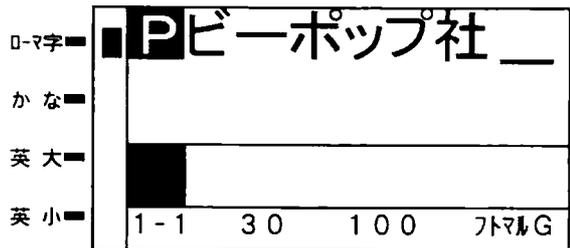
- 2 **メモリ** を押し、「呼出」を選びます。



- 3 **実行** を押します。



- 4 **▲** **▼** を押して呼び出すファイル名を表示するか、またはファイル名を6文字以内で入力し、**実行** を押します。
 そのファイルが通常入力画面に呼び出されます。



☆現在入力している文章があるときにメモリを呼び出すと入力中の文書を消去してメモリを呼び出します。

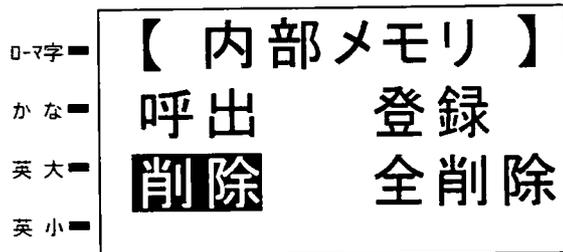
☆ファイル名を入力する場合、使える文字はひらがな、カタカナ、英数字のみです。

また、ローマ字入力をお使いの場合、6文字目は母音もしくは英数字のみの入力となります。

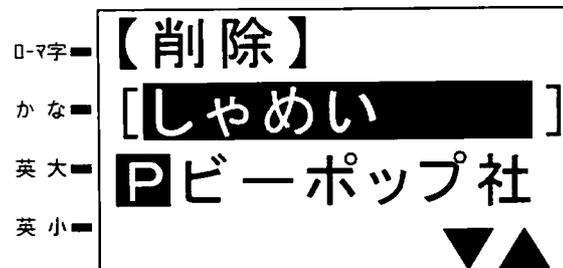
1.3 不要になったメモリを削除する

不要になったファイルのメモリを削除すれば、新たに登録できるファイル数が増えます。

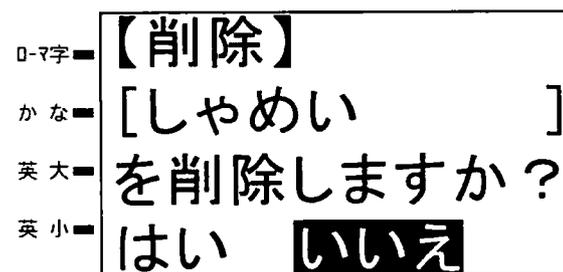
- ① **メモリ** を押し、続けて **▼** を押して「削除」を選びます。



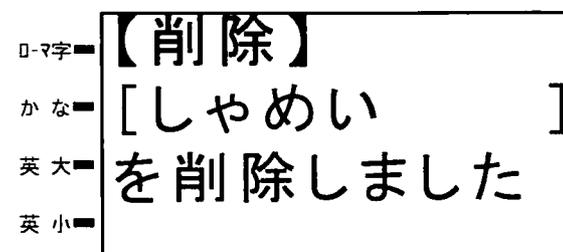
- ② **実行** を押します。



- ③ **▲** **▼** を押すか、もしくはファイル名を入力し、削除するファイルを表示し、**実行** を押します。



- ④ **◀** を押して「はい」を反転表示し、**実行** を押します。
右の確認のメッセージが数秒表示された後、通常の入力画面に戻ります。



☆メモリを削除すると、復元はできませんのでご注意ください。

☆手順③で「いいえ」を選択して実行すると、手順①の画面に戻ります。

☆ファイル名を入力する場合、使える文字はひらがな、カタカナ、英数字のみです。

また、ローマ字入力をお使いの場合、6文字目は母音もしくは英数字のみの入力となります。

1.4 メモリをすべて削除する（全削除）

① **メモリ** を押し、続けて   を押して「削除」を選びます。

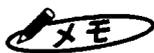
ローマ字	【 内部メモリ 】
かな	呼出 登録
英大	削除 全削除
英小	

② **実行** を押します。

ローマ字	【全削除】
かな	ファイルを
英大	全削除しますか？
英小	はい いいえ

③  を押して「はい」を反転表示し、**実行** を押します。
右の確認のメッセージが数秒表示された後、通常の入力画面に戻ります。

ローマ字	【全削除】
かな	ファイルを
英大	を全削除しました
英小	



☆メモリを全削除すると、すべて復元できませんのでご注意ください。
☆手順 ③ で「いいえ」を選択して実行すると、手順 ① の画面に戻ります。

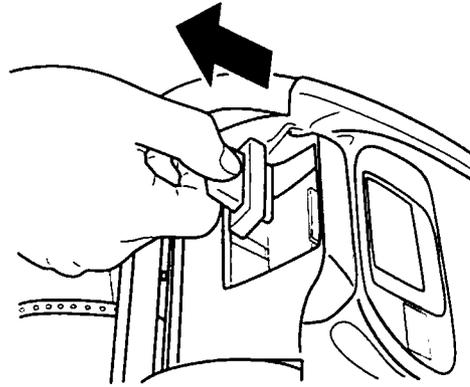
第11章
内部メモリの使い方

2. メモリパックの使いかた

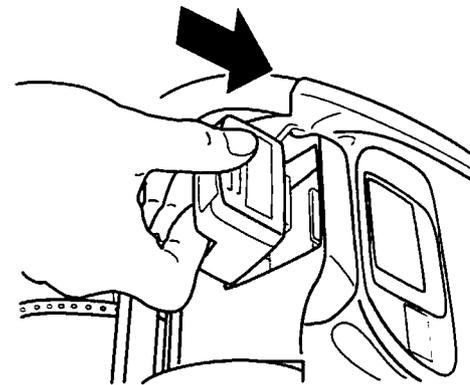
別売りのメモリパック LC-100M を装着すると、登録できるファイルの数が多くなります。また、本体内部に登録したファイルを他の LC-100KP に移し替えたり、バックアップを取っておきたいときなどにもご使用下さい。

2.1 メモリパックを装着脱する

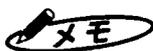
- 1 本体の電源を OFF にします。
- 2 本体の背面にあるスロットに装着されているキャップを取り外します。



- 3 スロットにメモリパック LC-100M を奥までしっかりと差し込みます。



- 4 電源を ON にします。



☆メモリパックは、LC-100K、LC-100K II、LC-150K で使用しているものと同じ物です。ただし、データの共用はできませんので、はじめに装着後の画面メッセージにしたがって初期化してからご使用下さい。

☆メモリパックの装着脱は、必ず電源を OFF にしてから行なって下さい。電源 ON のままで装着脱すると、本体やメモリパックのデータを破壊したり、故障の原因となる場合があります。

☆メモリパック LC-100M の接続端子部分、及び本機のスロット部分には直接指で手を触れないで下さい。静電気などにより本体及びメモリパックの故障の原因となる場合があります。

☆必ず専用のメモリパックをご使用下さい。

☆メモリパックを分解しないで下さい。

☆メモリパックにはリチウム電池（ボタン型電池）を使用しています。電池寿命は、ご使用開始後 5 年程度です（使用状況により異なります）。電池容量が少なくなるとメッセージが本機の画面に表示されます。表示された場合は、最寄りの当社営業所、またはサービス会社にご相談下さい。

⚠ 注意



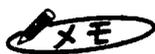
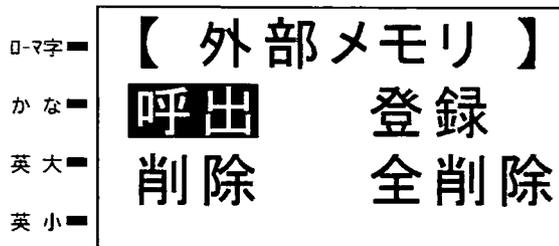
メモリパックに保存した内容や内部メモリに保存した文書は、永久的な保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

2. 2 メモリパックへの登録／呼出／削除／全削除

- ① **メモリ** を押すとメモリパックが装着されていると「内部メモリ」か「外部メモリ」のどちらを操作するかを指定します。メモリパックは「外部メモリ」ですので **▼** を押して「外部メモリ」を選び **実行** を押します。



- ② 以降の操作は、内部メモリの場合と同じです。



- ☆手順 ① で「内部メモリ」を選ぶと内部メモリ（本体内蔵メモリ）への操作となります。
- ☆内部メモリ、外部メモリに分かれていれば、同じ名前のファイルを登録することができます。
- ☆手順 ① の画面はメモリパックが装着されていないと表示されません。



- ☆手順 ② については、「1. 内部メモリの使い方」（94 ページ）を参照して下さい。

第12章

システムの基本設定

諸設定キーを用いて画面の明るさや印字濃度などを設定することができます。この章ではそのやりかたを説明します。

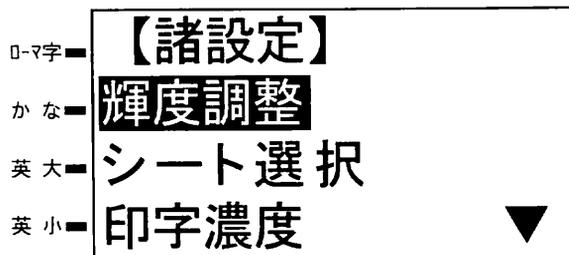
1. 輝度調整のしかた 102
2. シート種類の選択 103
3. 印字の濃さの調整 104
4. シート後端に余白をつける 105

1. 輝度調整のしかた

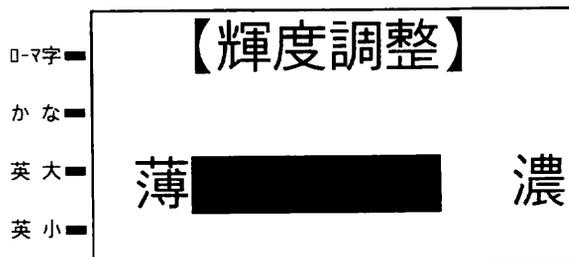
画面の濃度調整を行ないます。調整した濃度は電源を切っても記憶されます。

① 通常入力画面で **諸設定** を押します。

② 「輝度調整」が反転されていることを確認し、**実行** を押します。



③   を押すと濃度が変わります。



④ 見やすい濃度に調整し、**実行** を押します。



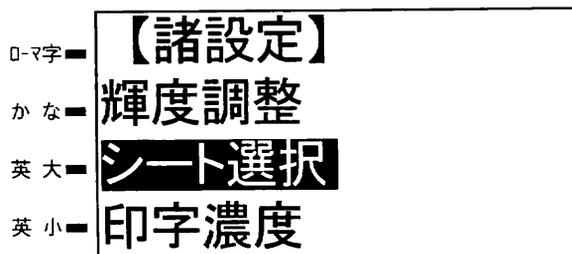
☆本機のLCDの濃度は、気温によって変わります。

2. シート種類の選択

印字するシートの種類に応じて、シート選択をする必要があります。

① 通常入力画面で **【諸設定】** を押します。

② **▽** を押して「シート選択」を反転させ、**実行** を押します。



③ **▲** **▽** でシートの種類を選び、**実行** を押します。



※「サーマル紙」が反転しているときに **▽** を押すと右の画面が表示されます。(この状態で **▲** を押せば右上の画面に戻ります。)



④ 通常の入力画面に戻ります。



☆印刷すると画面に「通常シートで……」のように表示されます。シート種類が異なっている場合は設定してから再度印刷してください。

☆手順 ② および ③ で **ESC** を押すと、シート選択を中止し、通常入力画面に戻ります。

☆設定内容は記憶(バックアップ)されますので、電源を切っても設定内容は保持されます。

☆シートA、シートBは、シート梱包箱に記載がある場合のみ設定して下さい。

☆該当するシートを使用しない場合は、「通常シート」を選択して下さい。

☆サーマル紙を使用する場合、インクリボンカセットを装着せずにご使用下さい。

お願い

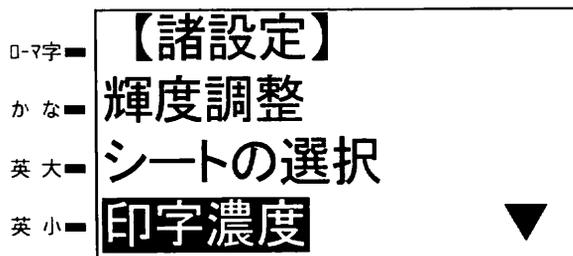
☆装着されているシートの種類と、設定しているシートの種類が異なると印字不良の原因になります。設定する場合は、必ず装着しているシートの種類を確認して下さい。

3. 印字の濃さの調整

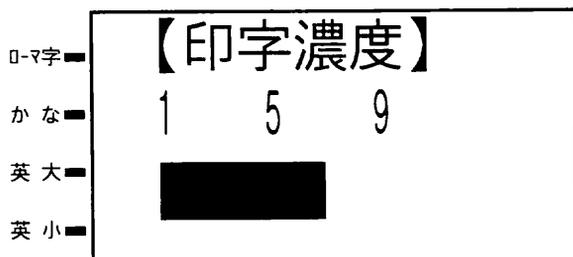
使用環境温度や使用するシート、インクリボンカセットによって、印刷品質が変わる場合があります。こんなときは、印字濃度を調整して下さい。

1 通常入力画面で **諸設定** を押します。

2  を2回押して「印字濃度」を反転させ、**実行** を押します。



3   を押すと印字濃度が変わります。(数字が大きくなるほど、印字が濃くなります)



4 印字濃度を調整し、**実行** を押します。通常の入力画面に戻ります。

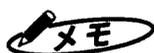
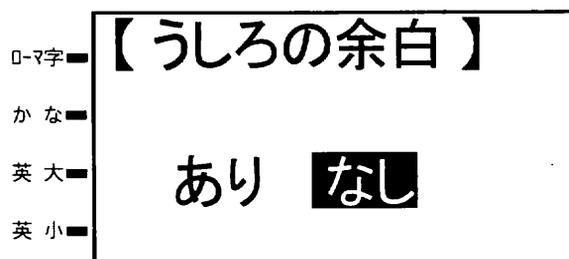
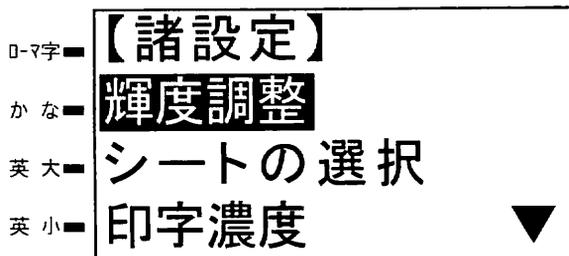
4. シート後端に余白をつける

通常、シートの前と同じだけの余白を付けて印字しますが、印字後のうしろの余白は無しにすることもできます。シートを無駄なく使用するときにお使いください。

1 通常入力画面で **諸設定** を押します。

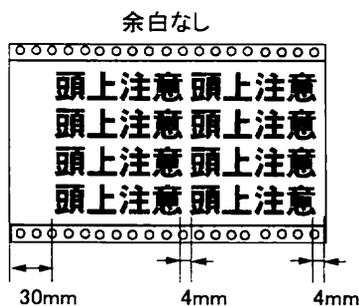
2 **▼** を3回押して「うしろの余白」を反転させ、**実行** を押します。(右下の画面が表示されます。)

3 **◀** または **▶** で「なし」を反転させ、**実行** を押します。通常の入力画面に戻ります。

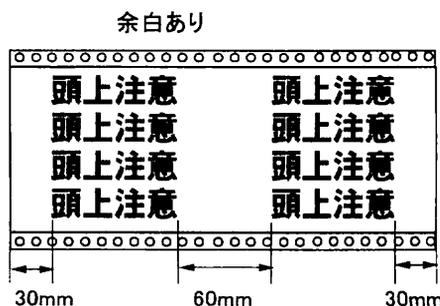


☆シート先端の余白は約3cmあります。但し、カラフル印刷の場合の余白は約4cmになります。

☆連続の場合の余白は次のようになります。例えば「頭上注意」のラベルを8回連続印字したときにシート幅範囲(100mm)に入らなくて次のシートに移るときに余白が挿入されます。



「余白なし」でもラベルの間は4mmの間隔が開きます。



余白ありの場合ラベルの間隔は60mm開きます。



☆カラフル印刷については60ページを参照してください。

第13章

書体パックの使い方(オプション)

オプションの書体パックの使いかたについて説明します。

- 1. 書体パックの種類 108
- 2. 書体パックのセットのしかた 110
- 3. オプション書体の設定 111

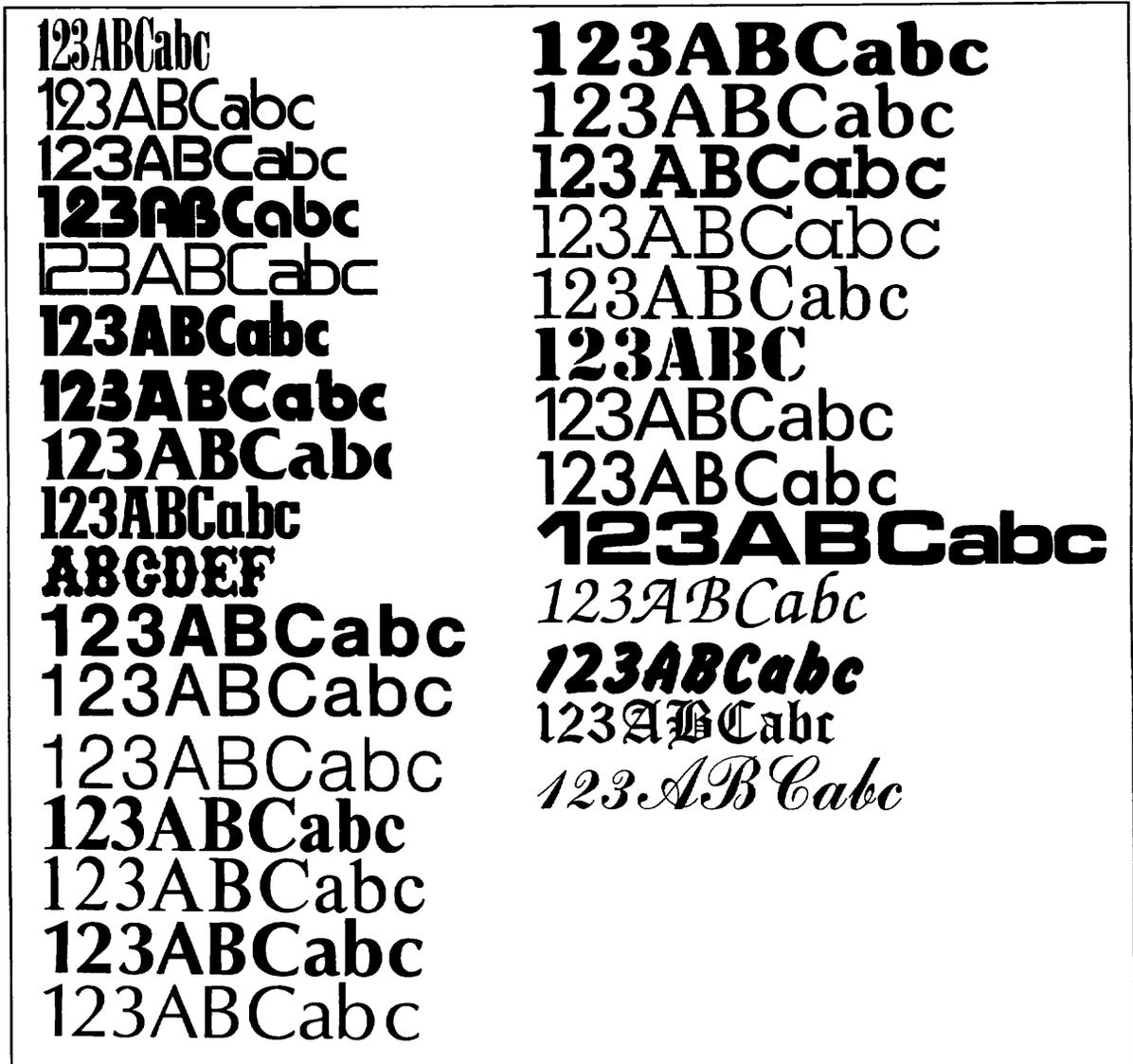
1. 書体パックの種類

本機は標準書体として「太丸ゴシック」と「太角ゴシック」を搭載していますが、これらの書体以外の書体をオプション書体パックとして用意しています。用途に応じてお求めください。

商品名	書体見本
LF-411 細明朝体 (品番: IL 99430)	表現を高める文字 (JIS第1水準準拠)
LF-415 太明朝体 (品番: IL 99435)	表現を高める文字 (JIS第1・第2水準準拠)
LF-421 細角ゴシック体 (品番: IL 99440)	表現を高める文字 (JIS第1・第2水準準拠)
LF-431 細丸ゴシック体 (品番: IL 99450)	表現を高める文字 (JIS第1・第2水準準拠)
LF-440 楷書体 (品番: IL 99455)	表現を高める文字 (JIS第1水準準拠)
LF-460 ポップ書体(角) (品番: IL 99415)	表現を高める文字 (JIS第1・第2水準準拠)
LF-470 演芸書体 (品番: IL 99465)	表現を高める文字 (JIS第1水準準拠)

●英数書体 LF-405 (品番IL99425)

書体見本 (英数字が30書体含まれています)

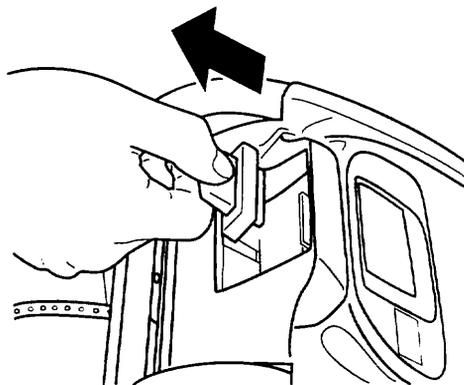


第13章

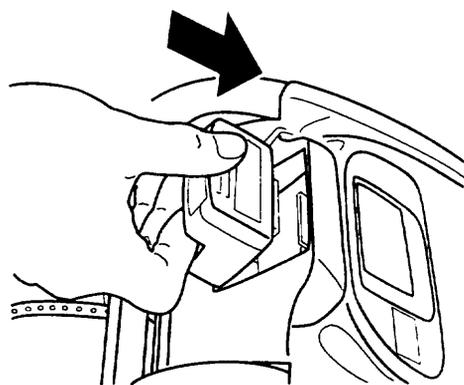
書体パックの種類

2. 書体パックのセットのしかた

- 1 本体の電源を OFF にします。
- 2 本体の背面にあるスロットに装着されているキャップを取り外します。



- 3 スロットに書体パックを奥までしっかりと差し込みます。



- 4 電源をONにします。

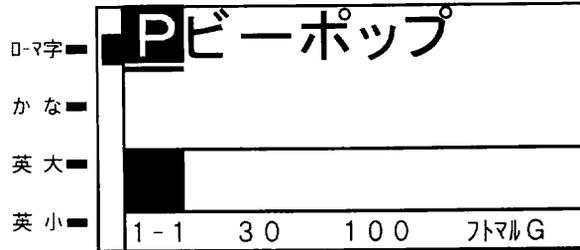


☆書体パックの装着脱は、必ず電源をOFFにしてから行なって下さい。電源ONのまま装着脱すると、本体のデータを破壊したり、故障の原因となる場合があります。
☆書体パックを分解しないで下さい。

3. オプション書体の設定

例 「細角ゴシック書体」LF-421の書体パックを装着し、太丸ゴシックから細角ゴシックに変更します。

- 1 変えたい文字の先頭にある **■** もしくは変えたい文字にカーソルをあわせませす。



- 2 **書体** を押します。現在、設定されている書体が反転表示されます。またオプション書体の「細角G」が表示されます



- 3 **v** を押して「細角G」を選択します。



- 4 **実行** を押すと設定されます。状態表示の書体名が「ホソカクG」に変更されています。
 ・ **実行** の代わりに **取消** を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



メモ ☆文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置に **■** が新しく挿入されそれ以降の文字が設定した書体になります。

第14章

オプションパックの使い方

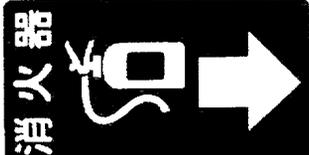
- 1. オプションパックとは 114
- 2. オプションパックのセットのしかた 115

1. オプションパックとは

本機ではオプションパックのご利用により、本機LC-100KPに次の機能が付加されます。

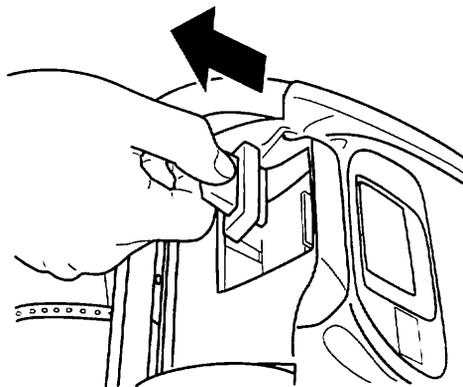
- 業種別でよく使われるシンボルが追加されます。
- あらかじめサイズやレイアウトができていた例文集が格納されており簡単にサインが作れます。
- 専用メニュー画面表示で簡単が操作です。

オプションパックは「工場用」と「土木建築用」の2種類を用意していますが、随時他の業種も発売していく予定であります。ご注文の際には、ご購入の販売店もしくは最寄りの当社営業所にて、最新のラインナップをご確認下さいませようお願い申し上げます。

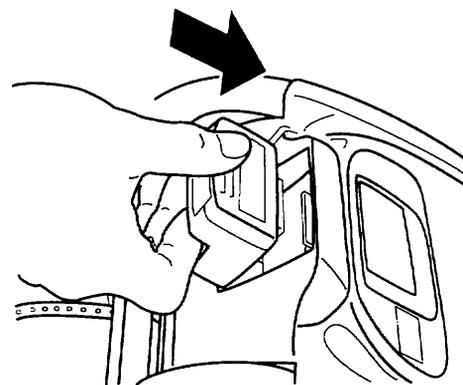
オプションパック 【土木建築用】例文	オプションパック 【工場用】例文										
<p>単独道路補修工事 単独道路補修工事</p> <p>広域農道工事</p> <p> 段差あり ご注意ください</p> <p> 工事中につき ご協力お願いします</p> <p> 関係者以外 立入禁止 （株）松橋工業</p> <p> 作業エリアにつき 駐車ご遠慮下さい （株）松橋工業</p> <p> 消火器</p>	<p> 燃やすゴミ 紙コップ、紙くず、布、感熱紙</p> <p>5S推進  整理 掃除 清掃 5S推進委員会</p> <p>組付Aライン</p> <p>↓検査済品置場</p> <p> 冷却水</p> <table border="1" data-bbox="815 1515 1113 1670"> <tr><td>番 地</td><td>AB001</td></tr> <tr><td>型 品 名</td><td>LC-100KP</td></tr> <tr><td>部 品 名</td><td>IL90001</td></tr> <tr><td>部 品 コード</td><td>IL12345</td></tr> <tr><td>備 考</td><td></td></tr> </table> <p>管理責任者 田中 雄一 男 副 松橋 太郎</p> <p>緊急連絡先 工場 1-23 （株）松橋工業 松橋 太郎</p>	番 地	AB001	型 品 名	LC-100KP	部 品 名	IL90001	部 品 コード	IL12345	備 考	
番 地	AB001										
型 品 名	LC-100KP										
部 品 名	IL90001										
部 品 コード	IL12345										
備 考											

2. オプションパックのセットのしかた

- 1 本体の電源を OFF にします。
- 2 本体の背面にあるスロットに装着されているキャップを取り外します。



- 3 スロットにオプションパックを奥までしっかりと差し込みます。



- 4 電源を ON にします。



☆オプションパックの装着脱は、必ず電源を OFF にしてから行なって下さい。電源 ON のままで装着脱すると、本体のデータを破壊したり、故障の原因となる場合があります。
☆オプションパックを分解しないで下さい。



オプションパックの使いかたについては、オプションパックに付属の取扱説明書にしたがってお取り扱いください。

第15章

図形の読み取り (オプション)

別売りのスキャナシステムを使用すると、市販スキャナで読み取ったロゴやマークなどの図形を本機で出力できます。

1. 必要なオプション 118
2. 読み込んだ図形の呼出しかた 120

1. 必要なオプション

図形の読み取りには、以下のオプション品が必要です。

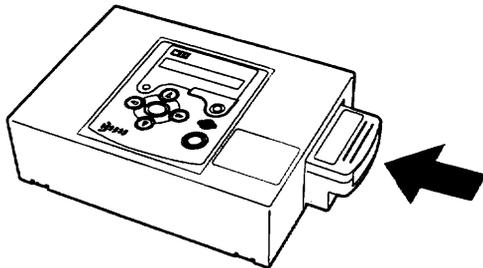
スキャナシステムの使用方法は、データ変換機に同梱されている取扱説明書を参照して下さい。

【スキャナシステムの構成】

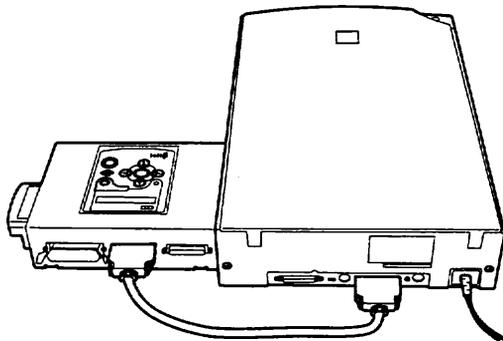
データ変換機 DF-35RVC	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャナで読み取ったデータを本機 of データ形式に変換し、ブランクROMパックへ登録します。 ・この変換機で登録した図形の削除も行ないます。
ブランクROMパック LF-BRP1	<ul style="list-style-type: none"> ・読み込んだ図形データを登録しておく媒体です。
市販のスキャナ	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず当社指定機種をお使い下さい。 ・接続できる市販スキャナについて詳しくは最寄りの当社営業所へお問い合わせ下さい。

【おおよその使いかた】

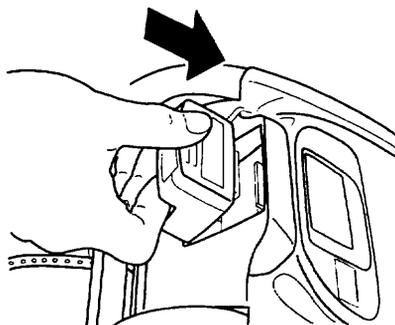
- ①データ変換機にブランクROMパックを装着します。



- ②スキャナとSCSIケーブルで接続します。



- ③データを読み取り後、電源を切ってブランクROMパック取り外し、本機 (LC-100KP) に装着し直します。



お願い

- ☆ブランクROMパックの装着脱やスキャナとの接続は、必ずデータ変換機付属の取扱説明書にしたがって行なって下さい。
- ☆ブランクROMパックの装脱着やスキャナとの接続は、必ず電源OFFの状態で行なって下さい。

**メモ**

- ☆スキャナシステムは、直接本機と接続するのではなく、一度データ変換機でブランクROMパックに登録して、それを本機に装着することで登録した図形を呼び出すようになっています。そのため、よく使うマークなどを登録しておけば、手間なく簡単にオリジナルの図形を呼び出すことができます。
- ☆当社指定機種以外のスキャナはご使用にはなれません。必ずご確認下さい。

2. 読み込んだ図形の呼出しかた

本機では、スキャナデータは書体の1つとして扱います。絵文字の入力方法とは異なりますので、ご注意ください。

- ① 電源をONにする前に、データを登録したブランクROMパックを装着します。

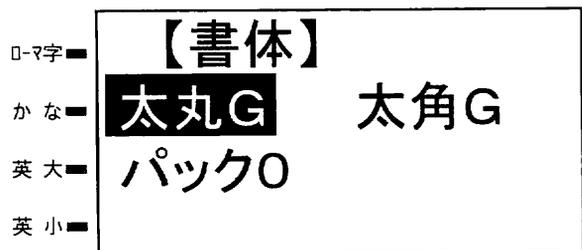


ブランクROMパックの装着脱のしかたはメモリパックと同様でありますので P.99の「メモリパックの使いかた」を参照してください。



☆ 必ず電源を切ってから装着脱して下さい。電源ONの状態では装着脱すると登録データを壊す恐れがあります。

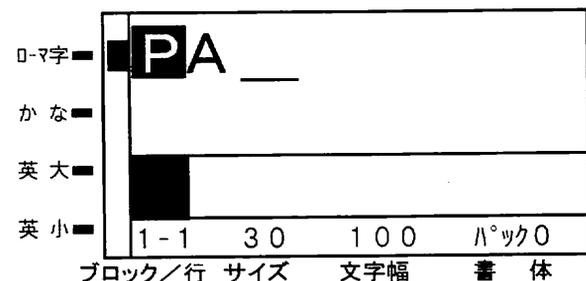
- ② (書体) を押します。



- ③ (v) を押して「パック0」を反転表示させ、(実行) を押します。



- ④ 画面下の書体名表示が「パック0」に変わっているのを確認し、出力する図形の番号を入力します。



- ⑤ イメージ表示で確認します。(イメージ) を押します。)



☆書体設定画面で表示されている「パック」につづく番号は、データ変換機DF-35RVCで登録した番号です。

☆必ず、登録した番号を入力して下さい。データのない番号を登録するとエラーとなります。

☆データ変換機DF-35RVCでは、ブランクROMパックLF-BRP 1に36個の図形を登録できます。36個のデータは、0~9、A~Zの番号をもつようになります。

☆本機では、ROMパックは一度に1つしか装着できません。

☆本機では、サイズ100mmに設定したとき、データ変換機DF-35RVCで登録に使った図形の原稿サイズの原寸となります。すなわち、サイズ設定は原稿に対しての比率(%)設定と置き換えて考えられます。

したがって、原寸が100mm以上の大きな原稿を登録し呼出した場合、出力のサイズを100mmに設定すると、「サイズオーバー」エラーとなりますのでご注意ください。

☆スキャナデータと他の文字との混在も可能です。(但しこの場合外部フォントはROMパックが装着できないため使用できません。)その場合は、他の文字にカーソルをあわせ、書体を変えて下さい。

例：右の図のように入力します。

(2つ目の **P** で書体を変更設定する)

0-マ字	P A
かな	P 巻込み注意
英大	
英小	1-1 30 100 7マルG

第16章

こんなときは

この章では、ご使用中に異常があったときの考えられる原因と対処方法について説明します。

1. エラーメッセージと対処方法 124
2. 故障かなと思う前に 127
3. SL-Rカセット トラブルシューティング 129

1. エラーメッセージと対処方法

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
000	文書容量オーバー入力可能文字数は150文字です	150文字以内で入力してください。ただし、 P マークや改行マークなどの編集マークは、文字数にカウントされます。	39
001	下線は9本まで(下線マークは18個まで)です	不要の下線マークを削除してください。	39
002	先頭の P または、ブロック先頭の P は削除できません	先頭、ブロックの先頭には必ず1つは P マークが必要です。	50
003	1ブロック内の最大行数を超えるので削除できません	1ブロック内の最大行数は6行です。	66
004	1ブロック内の最大行数は6行までです	不要な行を削除してから、再度改行してください。	66
005	最大ブロック数は5ブロックまでですので、 B マークは4個までです。	不要なブロックを削除してから、再度改ブロックしてください。	67
006	カーソルを P に合わせてから操作して下さい	カーソルを P に合わせてから、再度操作してください。	50
007	1ラベルに設定可能な P の数は最大10個までです	不要な P (2個以上続いているものなど)を削除してから、再度設定してください。1つの P で複数の設定を変えることができます。	50
008	熟語が登録できる容量を超えました	登録されている熟語で不要なものを削除してください。	36
009	登録されている熟語がありません	熟語を登録してから、再度実行してください。	34
010	入力されている文書がありません	文書を入力してから、再度実行してください。	34
011	1ラベルに設定可能な2桁数字の数は最大10個です	不要な2桁数字を削除してから、再度2桁数字を入力してください。	33
100	この書体には、この文字データがありません	書体の変更をしてください。	54
101	印字を停止しました	[取消/ストップ]を押しました。同じ内容で印字するには再度印字を開始してください。	47
102	シートがありません	シートを交換して再度印字を行ってください。	12
103	ドアカバーが開きました	ドアカバーを閉めてください。	13
104	ヘッドの温度が異常な温度になります	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼してください。	付23
105	ドアカバーが閉まりました	ドアカバーを開けてください。	10
106	はさみの動作不良が起きています	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼してください。	付23
107	プリントヘッドの動作不良です	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼してください。	付23

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
108	ヘッドの温度が適正温度を超えています	電源を切り、しばらく待ってからご使用ください。	—
109	ヘッドの温度の検知ができません	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼してください。	付 2 3
110	はさみがしまっています	① [ハサミ]キーを押してはさみを動かしてください。 ② ①で直らない場合は電源を一度切ってください。 ③ ①②でも症状が変わらない場合は、電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼してください。	—
111	ドアカバーが開いています	ドアカバーを閉めてください。	—
112	インクリボンがありません	インクリボンを交換してください。	1 3
200	作画する文字、文字列がシートの範囲を超えています	①文字サイズ、文字幅、文字間、行間またはラベルサイズの設定を変更してください。 ②枠囲み設定があり、数mmのオーバーの場合は、枠線情報で枠の太さ、枠と字の間等を小さくしてください。	5 1 7 1
201	均等配列で設定された長さに文字列が収まりません	文字サイズを小さくするか、長さ設定を大きくしてください。	5 8
202	下線がシートの範囲をオーバーしました	文字サイズ、行間等を小さくしてください。	5 1
203	囲み枠がシートの範囲をオーバーしました	文字サイズ、枠の太さ、枠と字の間等を小さくしてください。	5 1
204	分割印刷は1行のみで有効です	1行の文章に訂正してください。	5 2
205	作画方向が幅方向の時には、分割印刷できません	作画方向を長さ方向にしてください。	8 0
206	改ブロックが入力されていると分割印刷はできません	①改ブロックを削除してください。 ②文字サイズを小さくしてください。	6 7
207	矢印の長さが短すぎます	矢印の長さを長くしてください。	8 3
208	中配置／下配置の設定では分割印刷はできません	上配置にしてください。	7 8
209	180mmを超える印刷物の分割はできません	文字サイズを小さくしてください。	5 2
210	矢印+ラベルの長さが100mmを超えています	作画方向を長さ方向にしてください。	8 0
211	現在のラベルサイズの設定では枠で囲めません	文字サイズ、枠の太さ、枠と字の間等を小さくしてください。	5 1
212	2mを超える印刷はできません	文字サイズ、文字数等を小さくしてください。	5 1

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
213	書体データ(文字データ)がありません	オプション書体には、JIS 第2水準漢字など出力できない文字があります。書体を変更してください。	5 4
214	2mを超えるラベルはイメージ表示できません	文字サイズ、文字数等を小さくしてください。	5 1
215	連続／連番ではカラフル印刷できません	色設定を「1色で印刷する」にしてください。	6 1
216	縦書での下線設定はできません	下線マークを削除してください。	9 1
217	下線マークが不足しています	下線マークを正しく挿入してください。	9 1
218	下線マーク不足か  、  、  をまたぐ下線設定不可！	①下線マークを正しく挿入してください。 ②下線マークが  、  、  をまたがないように設定してください。	9 1
219	書体パックが未装着です	電源を切り、適切な書体パックを装着してから電源を入れてください。	1 1 0
220	分割印刷ではカラフル印刷できません	文字サイズを小さくしてください。	5 1
221	下線マークの中に文字がありません	下線マークの中に文字を挿入してください。	9 1
222	オプションパックが未装着です	電源を切り、適切なオプションパックを装着してから電源を入れてください。	1 1 5
223	矢尻幅を...mm以上にしてください	矢印情報で矢尻幅を適切な値にしてください。	7 3
400	登録されているファイルがありません	ファイルを登録してから、再度実行してください。	9 4
401	登録できるファイル数を超えました	使わないファイルを削除してから再度、登録を行ってください。	9 7
402	登録できる文字数を超えました	使わないファイルを削除してから再度、登録を行ってください。	9 7
403	該当するファイルがありません	再度ファイル名を入力してください。	9 6
404	メモリパックの書き込みができません	電源を切り、メモリパックが正しく装着されているか確認してください。	9 9
405	メモリパックの電池を交換してください	電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼してください。	付 2 3
406	メモリパックが装着されていません	電源を切り、メモリパックを装着してから電源を入れてください。	9 9

2. 故障かなと思う前に

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない。	電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。	14
ディスプレイ表示のコントラストが薄い。	ディスプレイの輝度調整が薄くなっていませんか。	ディスプレイの輝度調整を行なって下さい。	102
ディスプレイ表示がしない。(表示が真黒または真白)	ディスプレイの輝度調整が薄くまたは濃くなっていませんか。	「シフト」と「入力」キーを同時に何回か押して輝度調整を行なって下さい。	102
オプションのメモリパック(LC-100M)が働かない。	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、パックの装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	99
オプションの書体パックが働かない。	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、パックの装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	110
オプションのオプションパックが働かない。	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、パックの装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	115
ブランク ROM パック(スキャナデータ)が呼び出せない。	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、パックの装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	118
	データを登録していない番号を入力していませんか。	登録した番号を入力して下さい。	120
	同じ書体設定でかなや漢字を入力していませんか。	かなや文字は、別に書体設定をして下さい。	54
シートが出てこない	シートはきちんとセットされていますか。	シートをきちんとセットして下さい。	12
	インクリボンがセットされていますか。	インクリボンをセットして下さい。	10
	インクリボンが終わっていませんか。	新しいインクリボンカセットをセットして下さい。	10
	シートがハサミ部で詰っていませんか。 シートを斜めに装着したまま動作させたり、シート先端がめくれたままで動作させるとシートが詰まる場合があります。	① 電源を切り、電源をコンセントから抜きます。ドアカバーを開け、詰まったシートを取り除きます。シート先端をはさみなどできれいにカットし、再度セットします。 ② どうしても詰まったシートが取り除けない場合は、最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。	13

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
印刷しないでシートが出てくる。	インクリボンはセットされていますか。	インクリボンをセットし直してください。また、諸設定機能・シート選択でセットされているシートを選択しているか確認してください。	10
	インクリボンが終わっていませんか。	新しいインクリボンカセットをセットして下さい。	10
リボンがシートと一緒に出てくる。	インクリボンカセットの装着時にリボンのたるみを取り除きましたか。	ドアカバーを開け、リボンカセットを一度取り外して、リボンたるみを取り除き、再度セットしてください。	10
印刷すると文字がかすれる。	気温の低いところで使用していませんか。(本機は、気温が10℃以上の場所で使用されることを想定して設計されています。)	① 印字濃度調整の目盛を1ずつ大きな値にして印字し、かすれないよう調整してください。 ② 10℃以上(15℃以上を推奨)の場所に機械をしばらく置いておいた後に再度使用してください。	104
印刷すると斑点状の印字抜けが目立つ。	静電気などによりシート表面にホコリ、ゴミなどが付着していることが考えられます。	① シートの外周1巻分はゴミつきやすいので、切除してから装着してください。 ② 粘着剤や油などが付着しても印字抜けは発生します。シート表面はきれいな状態で保つよう、直接指で触れないなど気を付けてください。 ③ 使用しないときのシートの保管は、梱包のビニール袋に入れてください。	—
文字や枠線の先頭にギザギザがでる。	低い気温の場所で使用していませんか。	低い気温の場所では印字先端部のインクのノリが悪くなり、印字品質が多少劣化します。気温の高い場所(15℃以上を推奨)でご使用ください。	—
印刷すると文字の後部へ尾を引く。	印字濃度調整を確認してください。	印字濃度調整の目盛を1ずつ小さな値にして印字し、尾引かないよう調整してください。	104
文字数の多いラベルを出力すると、途中で一時停止する。	故障ではありません。データが複雑な為に、一時印刷動作を中断しています。	そのままにしてください。自動的に印字動作を再開します。	—

3. SL-Rカセット トラブルシューティング

現象	対応のしかた	
1. カセットのフタが開かない。	「OPEN」と書いてある部分の突起を押すようにして開いてください。	
2. フタが外れた。 (故障ではありません)	ヒンジの凹凸を確認し、パチッと奥まではめ込んでください。(前後のフタは形が違います。)	
3. インクリボンがセットできない。途中でわからなくなった。	①リボンギヤが入らない。	インクリボンの紙管(芯部)の切り欠きとリボンギヤのつば部の凸部を合わせてはめ込んでください。
	②リボンをカセットにのせる前に包装フィルムを切ってしまった。	修復手順 1. リボンのたるみを取り、リボンが下側から引き出される向きで平らな場所におきます。 2. リボンが巻いてある方を手前、空の紙管を奥に向けます。 3. 三角マークを空の紙管の方に向け、台紙を間に挟みます。 4. 取扱説明書の指示に従ってセットして下さい。
	③カセットにリボンギヤが入らない。	リボンギヤを紙管の切り欠きに合わせて奥まで(つば部が紙管にあたるまで)はめ込んでください。
	④フタが閉まらない。 1)リボンギヤをはめ込む位置が間違っている。 2)リボンギヤが奥まで入っていない。 3)台紙が付いたままになっている。 4)フタがかたい	1)台紙の指示に合わせてください。カセットの三角シールを上にして左の上下には青、右上には黄色、右下には黒リボンの時は黒、その他の色の時は黄色のギヤをはめてください。 2)リボンギヤを紙管の切り欠きに合わせて奥まで(つば部が紙管にあたるまで)はめ込んでください。 3)台紙を取り外してください。 4)カセットの四隅をしっかりと押し、パチンと音がするまでしめてください。
4. 台紙が外せない。	リボンをカセットから一旦浮かすようにして台紙を取り除いてください。	
5. リボンギヤをまわしてもインクリボン(色)が出てこない。	リボンが切れている。 修復手順 1. カセットのフタを開けます。インクリボンは取り出さない事。 2. インクリボンが巻いてある方から端を引き出し、空の紙管に粘着テープ等で貼り付けます。 3. フタを閉め、矢印方向にリボンギヤを回します。	
6. リボンが落ちる。	フタが閉まっていない。 再度リボンをセットし直し(3. の②修復手順及び取扱説明書参照)、四隅をパチンと音がするまで押してフタを閉めて下さい。	

付録

1. 搭載文字一覧表（JISコード一覧表）.....	付1
2. 絵文字一覧表	付16
3. 初期値一覧表	付20
4. ローマ字入力規則表	付21
5. 商品仕様	付22
6. 保証書／保守サービス	付23

1. 搭載文字一覧表（JISコード一覧表）

JISコード入力の際には、JISコード表により必要な文字または記号を確認し、コードの入力を行なって下さい。

当 JIS コード表は、非漢字・JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字の 3 項目に分けてあります。それぞれ、多少分類方法が異なりますので、下記の「表の見方」に従って効率よく調べてください。

表の見方

- 1 コードは 16 進で表現されています。
例えば、「B」のコードは $2340 + 2 = 2342$ となります。
(表の左側にある「2340」と上側にある「2」のクロスする場所に記載されているので、「2340」の最後の一桁を「2」に置換えて、「2342」が JIS コードとなります。)
- 2 非漢字各種記号、英数字、ひらがな、カタカナなどの JIS コード表です。それぞれのグループ毎に分けてあります。
- 3 JIS 第一水準漢字
JIS 第一水準漢字が、「あいうえお」順に区分けされています。
- 4 JIS 第二水準漢字
JIS 第二水準漢字が、部首別に区分けされています。



☆当コード表の文字は、文章用の書体を使用していますので、作画した文字と一部文字形が異なります。

☆オプション書体では、特字 (2D20 ~ 2E3C)、ギリシャ文字 (2620 ~ 2658)、ロシア文字 (2720 ~ 2771)、「うゝ」(2474) は、文字データがなく、出力できません。該当文字は標準書体に変更して出力してください。



☆ JIS コードの入力方法は、「第 2 章 4. JIS コードでの入力」32 ページを参照ください。

☆ 書体の変更は、「第 5 章 1.5 書体の設定」54 ページを参照ください。

非漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
記号	2120		、	。		、	.	.	:	;	?	!	'	°	'	.	..	
	2130	^	—	—	、	√	√	√	√	全	々	メ	○	—	—	—	/	
	2140	\	~			'	"	"	()	[]	[]	[]	[]	[]	
	2150			<	>	<	>					【 】	+	-	+	×		
	2160	÷	-	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥	
	2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇		
	2220	◆	□	■		△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=		
	2230											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	
	2240	U	∩								∧	∨			¬	⇒	⇔	∇
	2250	∃										∠	⊥				∅	
2260	∇	≡	≐	<	>	√	∞	∞	∴	f	ff							
2270			À	%	#	b	♪	†	‡	¶						○		
特字	2D20	①	②	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
	2D30	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	
	2D40	ミリ	キ	センチ	メートル	グラム	トン	キログラム	トン	リットル	リットル	リットル	リットル	リットル	リットル	リットル	リットル	
	2D50	mm	cm	km	m	kg	cc	m ²	m ³	cm ³	cm ³	mm ³	mm ³	ℓ	ℓ	t	噸	
	2D60		No	KK		TEL	上	中	下	左	右	株	有	代	明	証	職	
	2E20		協	電			營	注		cal	Hg	K		Bg	dB	Ag	pm	
	2E30	FAX	電	機	器	鐘	表	機	器	機	器	器	器	器	器	器	器	
	2E30																	
英数字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
	2350		P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
	2370		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
ひらがな	2420		あ	い		う	え			お	か	き	ぎ	く				
	2430		ぐ	け	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	
	2440		だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	
	2450		ば	び	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	
	2460		む	め	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	
2470		ゐ	ゑ	を	ん	う												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
カタカナ	2520		ア	イ		ウ	エ			オ	カ	ガ	キ	ク				
	2530		グ	ケ	コ	ゴ	サ	シ		ジ	ズ	ゼ	ソ	タ				
	2540		ダ	チ	ツ	ッ	ツ	テ	ド	ト	ナ	ヌ	ネ	ハ				
	2550		バ	ビ	ピ	フ	ブ			ヘ	ベ	ボ	ポ	マ				
	2560		ム	モ	ヤ	ユ	ヨ			ヨ	ラ	リ	ル	レ				
2570		キ	エ	ラ	ン	ヅ	カ	ケ										
ギリシャ文字	2620		A	B	Γ	Δ	E	Z	Η	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	
	2630		Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
	2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
	2650		π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
ロシア文字	2720		A	B	B	Γ	Д	E	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	
	2730		О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	2740		Ю	Я														
	2750		a	b	b	г	д	e	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
	2760		о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	2770		ю	я														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	



オプション書体では、特字(2D20~2E30)、ギリシャ文字(2620~2650)、ロシア文字(2720~2770)、「うゝ」(2474)は、文字データが無く、出力できません。該当文字は標準書体に変更して出力してください。

JIS 第一水準漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ア	302		垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	患	握	渥
	303	旭	葦	芦	鱗	梓	庄	翰	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闌	鞍	杏						
イ	304											以	伊	位	依	偉	圍
	305	夷	委	威	尉	推	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	306	麥	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	淫	志	溢	逸
	307 312	桶	茨	芋	陰	允	印	咽	員	因	姻	引	飲				
ウ	312							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶻	窺	丑
	313	確	臼	渦	嘘	唄	蔚	蔚	鱧	姥	厖	浦	瓜	閏	啤	云	運
	314	雲															
エ	314		荏	餌	淑	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	315	穎	英	衛	詠	鏡	液	疫	益	馭	悅	謁	越	閱	榎	厭	円
	316	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	317	艶	苑	菌	遠	鈴	鴛	塩									
オ	317								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	億
	322		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鷺	鷗	黄	岡	冲	萩	
	323	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音				
カ	323													下	化	仮	何
	324	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	325	火	珂	禍	禾	稼	簡	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	326	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	327	介	会	解	回	塊	塊	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
	332		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効
	333	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
	334	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	括	岳	滑	葛	額	掛	笠	穫
	335	覚	角	赫	較	郭	闊	隔	革	学	岳	滑	葛	額	掛	笠	穫
	336	櫃	梶	鯨	湯	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	額	掛	笠	穫

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(カ)	337	叶	枇	樺	皐	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	喃	鴨	栢	茅	萱	
	342		粥	刈	苻	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
	343	完	官	寬	干	幹	忠	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歎
	344	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	345	莞	觀	諫	貫	還	鑑	問	雁	閔	陷	韓	館	館	丸	含	岸
	346	巖	玩	癖	眼	岩	翫	贖		頑	顏	願					
キ	346												企	伎	危	喜	器
	347	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	企	期	棋	棄	起
	352		機	婦	穀	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	既	規	記	貴	疑
	353	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
	354	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	估	柁
	355	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	356	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	紮	糾	給	川	牛	去	居
	357	巨	拒	拗	拳	渠	兇	兇	凶	鋸	魚	叫	胸	亨	享	京	強
	362		供	俠	僑	兇	競	共	況	協	匡	狹	矯	喬	境	興	嶺
	363	彊	快	恐	恭	挾	教	橋	克	狂	狹	曲	極	喬	桐	杆	儻
364	鏡	響	饜	巾	仰	凝	克	曉	業	局	筋	緊	玉	菌	衿	襟	
365	勤	均	近	金	斤	欣	欽	琴	禁	禽			岸	菌	衿	襟	
366	謹																
ク	366						九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駮
	367	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	苦	軀	驅	駮
	372 373	薰	掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	隈	糸	栗	練	桑	嶽	勳	君
ケ	373						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	主	珪	型
	374	契	形	徑	患	慶	慧	憇	揭	携	敬	景	桂	溪	哇	稽	系
	375	經	繼	繫	罨	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	溪	哇	稽	系
	376	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	溪	哇	稽	系
	377	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	溪	哇	稽	系
	382		檢	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	臍	肩	見	溪	哇	稽	系
	383	鍵	險	顛	驗	鯨	元	原	蔽	幻	臍	肩	見	溪	哇	稽	系
	384	言	諺	限										玄	現	賢	賢

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ソ)	417	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	
	422		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	提	束	測	足	速	俗
	423	屬	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
夕	423															他	多
	424	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	精	陀	馱	驛	體	堆
	425	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
	426	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	騰	滝	瀧	卓	啄
	427	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	楓	蛸	只	
	432		叩	但	達	辰	奪	脫	突	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	433	丹	單	嘆	坦	担	探	且	歎	淡	湛	炭	短	端	筆	綻	耽
	434	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談			
チ	434														值	知	地
	435	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚶	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	436	逐	秩	窒	茶	矯	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	437	註	耐	鈔	駐	榜	瀦	猪	孛	著	貯	丁	兆	湖	喋	龍	眺
	442		帖	帳	疇	巾	張	彫	微	懲	挑	暢	朝	湖	牒	叮	眺
	443	聽	脹	腸	蝶	調	謀	超	跳	銚	長	頂	烏	勅	抄	直	朕
	444	沈	珍	賃	鎮	陳											
ツ	444						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	捆
	445	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鏢	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊
	446	釣	鶴														
テ	446			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	447	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	楨	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	哲
	452		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鋪	溺	顛
	453	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	轉	
	454	点	伝	殿	澱	田	電										
ト	454							兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	455	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	456	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	烏	嶋	悼	投	搭	東	桃	袴	棟
	457	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	棒	等	答	筒	糖	統	到	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ト)	462		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	錠	陶	頭	騰	闕	働
	463		動	同	堂	憧	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	鴉	匿
	464		得	德	洗	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椽	届
	465		焉	苦	寅	西			惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑		鈍
ナ	466		奈	那	内	乍				風	雍	謎	灘	捺	鍋	槽	馴
	467		軟	難	汝												
ニ	467						二			尼	式	迹	匂	賑	肉	虹	廿
	472					如	尿	菲		任	妊	忍	認				
又	472													濡			
ネ	472														襦	祢	寧
	473		念	捻	燃				粘								
ノ	473										乃	迺	之	桎	囊	惱	濃
	474					農	覗	重									
ハ	474								巴	把	播	崩	杷	波	派	琶	破
	475										敗	杯	牌	背	肺	翠	配
	476	俳	糜	拜	排	買	壳	陪	這	壳	賠	這	這	背	秤	矧	荻
	477	楸	煤	狼	狛	箔	泊	薄	迫	柏	舶	薄	迫	蠅	矧	爆	縛
	482					函	箱	箸	箸		箸	箸	櫛	曝	肌	畑	帛
	483					醜	髮	伐	罰	拔	拔	伐	鳩	嘶	塙	蛤	隼
	484					叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁
	485					采	煩	頰	飯	挽	沱	汎	番	磐	蕃	蠻	
ヒ	485															匪	卑
	486	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	毘	肥	庇
	487	誹	費	避	非	飛	樋	比	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	被
	492		鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彦	膝	膝	肘	弼	毘	畢	筆	逼
	493					百	繆	儀	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	約
	494	桧	姬	媛	紐	苗	苗	儀	蒜	蛭	鱈	品	彬	斌	浜	瀨	貧
	495	賓	類	敏	瓶												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
フ	495					不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷	
	496	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	
	497	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	茸	落	伏	副	復	幅	服		
	4A2		福	腹	複	淵	弗	弘	紛	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	
	4A3	憤	扮	焚	奮	粉	糞	穿		文	聞							
へ	4A3											丙	併	兵	摒	幣	平	
	4A4	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	管	蔑	窺	
	4A5	偏	變	片	篇	編	邊	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭				
ホ	4A5													保	鋪	鋪		
	4A6	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	
	4A7	俸	包	呆	報	奉	寶	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	鋒	
	4B2		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	
	4B3	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	
	4B4	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	錐	防	吠	賴	北	僕	卜	墨	
4B5	撲	朴	牧	陸	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆		
マ	4B6	摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉	
	4B7	鱒	樹	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	俚	蘭	磨	萬	慢	滿		
	4C2																	
ミ	4C2				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	糞	稔	脈	妙	
	4C3	耗	民	眠														
ム	4C3			務		夢	牟	矛	霧	鵠	掠	婚	娘					
メ	4C3														冥	名	命	
	4C4	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵			
モ	4C4															摸	模	
	4C5	茂	妄	謐	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	日	杳	勿	餅	
	4C6	尤	戾	舛	貫	問	悶	紋	門	匆								
ヤ	4C6											也	冶	夜	爺	耶	野	
	4C7	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	菽	鑿					弥	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ユ	4C7													愉	愈	油	癒
	4D2		論	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	融	拊	有	柚
	4D3	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄			夕		
ヨ	4D3															予	余
	4D4	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
	4D5													養	慾	抑	欲
	4D6	沃	浴	翌	翼	耀	葉	蓉	要								
ラ	4D6													洛	絡	落	酪
	4D7	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽								
リ	4D7													梨	理	璃	溜
	4E2		痢	裏	裡	里	離	陸	律	利率	吏立	履葎	李掠	梨略	理劉	璃流	溜凌
	4E3	琉	留	硫	粒	隆	龜	龍	侶	慮慮	旅旅	虜虜	了了	亮亮	僚僚	兩兩	凌力
	4E4	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧糧	良良	諒諒	遼遼	量量	陵陵	領領	
	4E5	綠	倫	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	麟					
ル	4E5													瑠	罌	淚	累
	4E6	類															
レ	4E6		令	伶	例	冷	肋	嶺	伶	玲	札	岑	鈴	隸	零	靈	麗
	4E7	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F2		蓮	連	鍊												
ロ	4F2													略	路	露	勞
	4F3	樓	榔	浪	漏	呂	魯	櫓	妒	駱	路	郎	六	婁	廊	弄	朗
	4F4	論				牢	狼	篋	老	駱	蠟			窳	廊	肋	錄
ワ	4F4		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	鷲	互	亘	鰐	詫	葉	蔽
	4F5	腕	灣	碗	腕												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

JIS 第二水準漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
一	502	式	丐	丕													
丨	502				个	卯											
丶	502					井											
丿	502						ノ	又	乖	乘							
乙	502													亂			
丿	502													丿	豫	事	
二	503	式	丁	亞	亟												
一	503					一	亢	京	毫	亶							
人	503									从	仍	仄	仆	仂	仗		
	504	仞	伋	仵	价	伉	佚	佔	佛	佻	佻	侏	侏	佻	佻		
	505	佩	佰	侑	伴	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛	侖	俚	侖	侖
	506	俾	倚	倨	偏	倪	倥	倅	倅	俶	倡	倩	倅	俾	俯	們	侖
	507	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
	512		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
	513	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
儿	513									儿	儿	兒	兌	兔	兢	競	
入	514	兩	僉														

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
八	514				兮	冀											
冂	514					冂	回	册	冉	冂	冂	冂	冂				
冂	514															冂	冤
	515					冂	冂									冂	冤
冂	515					冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
几	515																几
	516																几
冂	516					冂	冂										
刀	516							刃	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
	517							刃	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
	522							刃	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
力	522							勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹
	523							勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹
勹	523							勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹	勹
匕	523													匕			
匚	523													匚	匚	匚	匚
匚	523																匚
十	524																
卜	524																

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
口	524					卍	危	卯	卻	卷									
厂	524													厂	厖	厖	厖		
	525	厥	厥	厥															
厶	525			厶		參	纂												
又	525					雙	叟	曼	變										
口	525									叮	叨	叭	叭	吁	吡				
	526	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	答	叭	叭	吁	吡		
	527	咒	呻	咀	嗽	咄	咐	咆	哇	呖	呖	咭	咬	哄	哈	咨			
	532		咫	晒	咤	佬	尚	咐	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	呀		
	533	嗽	唾	脚	腔	售	唆	啁	啖	啖	唸	唸	啣	啖	啖	啖	啖		
	534	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖		
	535	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖		
	536	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖		
	537	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖	啖		
口	537									囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗		
	542					圈	國	圍		圓	團	圖	畜	圍					
土	542									坎	坏	址	坏	坎	圻	址	坏		
	543	坵	垂	堡	坡	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵		
	544	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵		
	545	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵		
	546	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵		
土	546			壯		壺	壺	壺	壺	壽									
又	546									又									
又	546									又	復								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
夕	546													夕	夕	夕	夕
大	546																大
	547	天	本	夸	火	奇	奕	奘	奎	奚	奘	奢	奘	奧	奘	奘	
女	552	奸	灼	妝		佞	佞	妣	妣	姆	姨	姜	妍	姪	姚	娥	娟
	553	姿	娜	娉	娉	婀	姪	婉	嫻	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
	554	媽	媽	媽	媽	嫩	嫻	嫻	嫻	嬌	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻
	555	孃	孃	孃													
子	555			子		孕	孕	孕	孕	孩	執	孳	孳	學	孳	孳	
宀	555																宀
	556	它	宦	宸	宛	寇	崔	寔	寐	寤	實	寢	寢	寥	寫	寢	寶
	557	寶															
寸	557			冠	將	專		對									
小	557							尔	尠								
尢	557								尢	尠							
尸	557											尸	尸	尸	尸	尸	尸
	562					屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮
屮	562									屮							
山	562									此	岩			屹	岌	岑	岱
	563	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
	564	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
565	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	
彡	565																彡

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
工	566	巫															
巳	566	巳	卮														
巾	566		帟		帶	帙	帙	帙	帙	帶	帷	幄	幃	幃	幃	幃	幃
	567	幃	幃	帟													
干	567				干	并											
么	567				么	麼											
广	567						广	庠	廁	廂		廈	廐	廐			
	572	廐	廣	廐	廚	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐			
彡	572																彡 廐
升	573	升	升	升	升												
弋	573				弋	弋											
弓	573				弓	弓	弩	弭	弭	弭	弭	弭	弭	弭	弭	弭	弭
彳	574	彳	彳	彳	彳	彳											
心	575				忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	576	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	577	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(心)	582	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
	583	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
	584	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
	585	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
	586	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
	587	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
戈	587									戈	戈	戈		戈	戈	戈	
	592	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛								
戶	592									扁							
手	592									扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	593	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	594	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	595	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	596	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	597	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5A2	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
	5A3	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
攴	5A3																攴 攴 攴
	5A4	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴
斗	5A4																斛
	5A5	斛															
斤	5A5	斤	斤														
方	5A5				旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃				
无	5A5													无	无		

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
日	5A5													旱	呆	吳		
	5A6	昃	昃	杳	呢	昶	昂	易	晏	晁	管	晁	晞	晝	晷	晷	晨	
	5A7	晟	晝	晰	晝	暈	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	
	5B2																	
日	5B2									日	曳	曷						
	5B3																	
木	5B3		朮	朮		朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	
	5B4	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5B5	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5B6	梳	梳	梳		梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	
	5B7	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5C2		杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5C3	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5C4	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5C5	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5C6	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5C7	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	
	5D2																	
	5D3	杳	杳	杳		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳
	欠	5D3									欠	盜	歎	歎	歎	歎	歎	歎
5D4		歎	歎	歎		歎												
止	5D4					歸												
	5D5																	
歹	5D4						歹	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	
	5D5	殳	殳	殳		殳												
殳	5D5					殳	殳	殳	殳	殳								
	602																	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
母	5D5													母	毓			
	5D6																	
毛	5D5													毛	毳	毳	毳	
	5D6	魔	魔															
氏	5D6																	
	5D6																	
气	5D6																	
	5D6																	
水	5D6																	
	5D7	汾	汨	汨		汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	
	5E2	汨	汨	汨		汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	
	5E3	汨	汨	汨		汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	
	5E4	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	5E5	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	5E6	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	5E7	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	5F2																	
	5F3	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	5F4	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	5F5	滄	滄	滄		滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
	火	5F5																
		5F6	焠	焉	焠		焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠
5F7		焠	焉	焠		焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	
602		焠	焉	焠		焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	焠	
爪	602																	
	602																	
爻	602																	
	602																	
爻	602																	
	603																	

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
牛	603			抵	牯	犁	犁	犛	犛	犛	犛	犛	犛				
犬	603											犹		豺	狙	狎	狄
	604	狎	狒	狒	狼	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻
	605	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻
玉	605														珈	玳	玳
	606	玻	珀	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳
	607	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳
瓜	612			瓠	瓠												
瓦	612				坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
	613	甍	甍	甍													
甘	613			肯													
生	613				甦												
用	613				甬												
田	613				畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀
	614	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀
病	614											疔		疾	疔	疥	疣
	615	痂	疔	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥
	616	痂	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥
	617	痂	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥
	622	痂	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥	疥
疾	622			疾	疾												
白	622				皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
皮	622																皀
	623	皀	皀	皀	皀												皀
皿	623				盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
	623				盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
	624	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
	625	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
	626	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
矛	626				矜												
	626				矜												
矢	626				矣	矮											
	626				矣	矮											
石	626							砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
	627	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
	632	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
示	632											祀		祠	祇	崇	祚
	633	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕
禹	633											禹		禹			
	633											禹		禹			
禾	633															秉	秭
	634	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭
	635	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭	秭
穴	635											穹	穹	穹	穹	穹	穹
	636	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹
立	636											竝		竝	竝	竝	竝
	637	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝
竹	637				笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄
	642	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄	笄

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(竹)	643	筩	篔	簾	箬	筍	筵	筵	筵	筵	簾	篔	篔	篔	篔	篔	篔
	644	箬	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔
	645	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔
	646	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔	篔
米	646		粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒
	647	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒
糸	647													紵	紵	紵	紵
	652	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	653	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	654	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	655	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	656	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	657	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
缶	657													缸	缸	缸	缸
	662	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸	缸
网	662													罽	罽	罽	罽
	663	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽
羊	663													羴	羴	羴	羴
	664	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
羽	664													翮	翮	翮	翮
老	664													耆	耆	耆	耆
耒	665													耒	耒	耒	耒
耳	665													聃	聃	聃	聃
	666	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃	聃
聿	666													聿	聿	聿	聿

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
肉	666									肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	667	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
	672	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
	673	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
	674	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
臣	674									臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧
至	674									臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺
臼	674													臬	臬	臬	臬
	675	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬	臬
舌	675									舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍
舟	675									舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
	676	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
艮	676									艮	艮	艮	艮	艮	艮	艮	艮
色	676									艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷
艸	676									艸	艸	艸	艸	艸	艸	艸	艸
	677	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	682	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	683	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	684	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	685	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	686	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	687	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	692	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	693	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	694	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
虍	694									虍	虍	虍	虍	虍			
虫	694													虱	虱	虱	虱
	695	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蚰	蛆	蚰	蛉	螭	蛇	蚶	蚶	蚶	蚶
	696	蛟	蛛	蚪	蛭	蛭	蜈	蜀	蚤	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭
	697	蝮	蜻	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥
	6A2		蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪	蟪
	6A3	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳	螳
	6A4	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭
血	6A4									血	血	血	血	血			
行	6A4									街	街	街	街	街	街	街	街
衣	6A4													衫	袁	袁	袁
	6A5	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	6A6	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	6A7	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	6B2																
西	6B2									西	西	西	西	西			
見	6B2													覓	覓	覓	覓
	6B3	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓
角	6B3									觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚	觚
言	6B3													訃	訃	訃	訃
	6B4	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
	6B5	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
	6B6	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
	6B7	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
	6C2																
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
谷	6C2																砑
	6C3									砑	砑	砑	砑	砑			砑
豆	6C3									豈	豈	豈	豈	豈			
豕	6C3									豕	豕	豕	豕	豕			
豸	6C3													豸	豸	豸	豸
	6C4									豸	豸	豸	豸	豸			
貝	6C4									賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤
	6C5									賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤
赤	6C5																赧
	6C6									赧	赧	赧	赧	赧			
走	6C6									走	走	走	走	走			
足	6C6									趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
	6C7	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
	6D2									跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
	6D3	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
身	6D3													躬	躬	躬	躬
	6D4									躬	躬	躬	躬	躬			
車	6D4									軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋
	6D5	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟
	6D6	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟	輟
辛	6D6									辛	辛	辛	辛	辛			
辵	6D6													辵	辵	辵	辵
	6D7	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近
	6E2	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近
	6E3	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近	近
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
邑	6E3									邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨
	6E4	邨	邨	邨	邨												
西	6E4					酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃
	6E5	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃								
采	6E5									秬	秬						
里	6E5													釐			
金	6E5													釧	釧	釧	釧
	6E6	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
	6E7	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
	6F2	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
	6F3	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
	6F4	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
	6F5	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧	釧
門	6F5									閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
	6F6	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
	6F7	閨	閨	閨	閨												
阜	6F7					阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡
	702		陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝
隶	703	隶	隶														
隹	703		隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹
雨	703													電	電	電	電
	704	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電
青	705	靜															
非	705		靠														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
面	705					靦	靦	靦	靦								
革	705									鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
	706	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
韋	706												韋	韋			
韭	706													韭	韭	韭	
音	706																竟
	707	詔	詔														
頁	707					頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
	712	頤	頤	頤													
風	712					颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯
食	712													餽	餽	餽	餽
	713	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽
	714	餽	餽	餽	餽												
首	714								首	首							
香	714												馥				
馬	714													馮	馮	馮	馮
	715	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
	716	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
骨	716															骸	骸
	717	骸	骸	骸	骸												
高	717												高				
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
髮	717					髮	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
	722					髻	髻	髻	髻								
鬪	722									鬪	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪		
鬮	722															鬮	
鬮	722																鬮
鬼	723	魄	魃	魏	魃	魃	魃	魃	魃								
魚	723									魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
	724	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
	725	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
	726	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
鳥	726									鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥
	727	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥
	732	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥
	733	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥
	734	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥	鳥
鹵	734			鹵	鹵	鹵											
鹿	734					鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	734																鹿
麦	734																麦
	735																麦
麻	735				麻												
黄	735					黄											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黍	735					黍	黍	黍	黍								
黑	735									黑	黑	黑	黑	黑	黑	黑	黑
	736									黑	黑	黑	黑	黑	黑	黑	黑
帝	736					帝	帝	帝	帝								
黽	736									黽	黽	黽	黽				
鼓	736													鼓	鼓		
鼠	736													鼠	鼠		
鼻	736															鼻	
齊	736																齊
	736																齊
齒	736																齒
	737									齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒
龍	737																龍
龜	737																龜
龠	737																龠
その他漢字	742	堯	橫	遙	瑤												

2. 絵文字一覧表

絵文字は、4つのグループに分かれています。を押して、グループを選ぶと画面上にピクトサインが表示されます。

絵文字使用上の注意

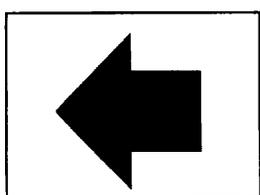
絵文字は、 マークで大きさを変えることができます。

ただし、一部の絵文字はシンボルの天地サイズと設定サイズが一致しません。そのため、サイズの設定内容によっては、作画範囲オーバーなどのエラーが表示される場合があります。その場合は、文字サイズを小さくするなど調整して実行して下さい。

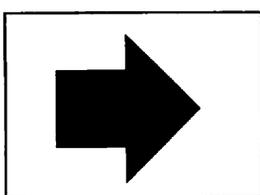
 *絵文字の入力方法については、第2章 3.絵文字の入力 30ページを参照して下さい。

矢印一覧表

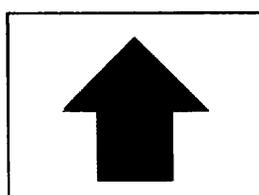
矢印 



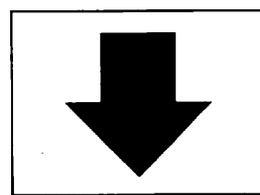
記号:A



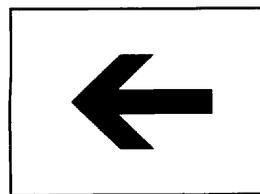
記号:B



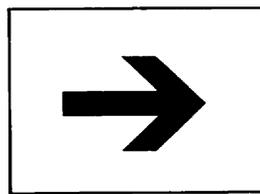
記号:C



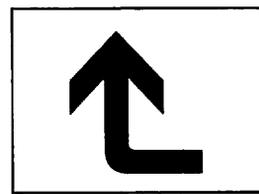
記号:D



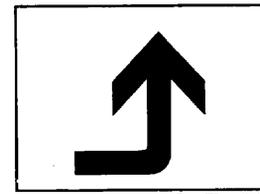
記号:E



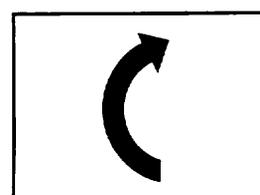
記号:F



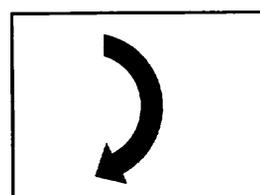
記号:G



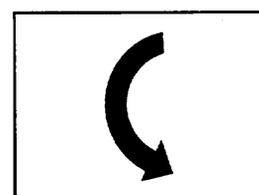
記号:H



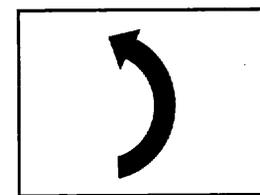
記号:I



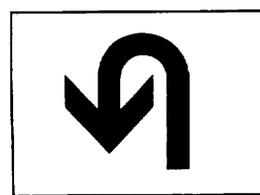
記号:J



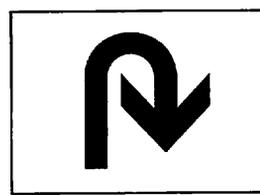
記号:K



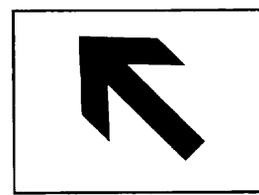
記号:L



記号:M



記号:N



記号:O

立入禁止一覧表

立入禁止 



記号: A



記号: B



記号: C



記号: D

場所一覧表

場所 



記号: A



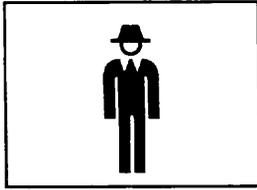
記号: B



記号: C



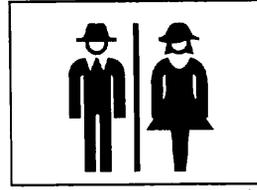
記号: D



記号: E



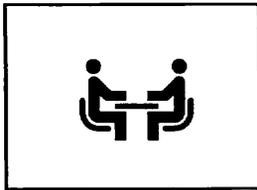
記号: F



記号: G



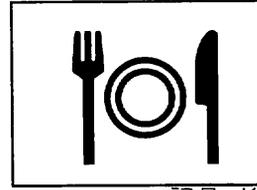
記号: H



記号: I



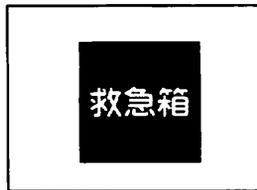
記号: J



記号: K



記号: L



記号: M

注意一覧表

注意 



記号:A



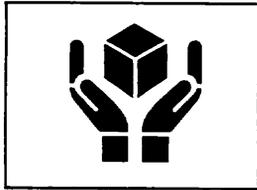
記号:B



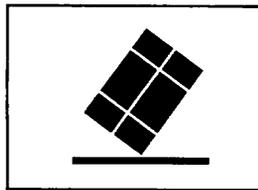
記号:C



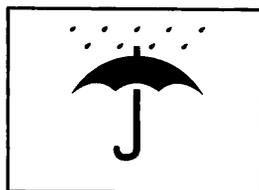
記号:D



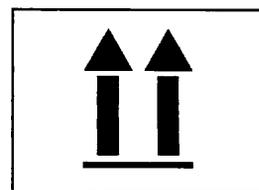
記号:E



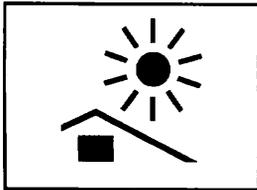
記号:F



記号:G



記号:H



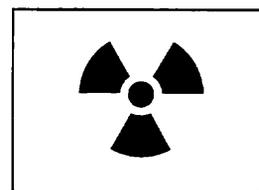
記号:I



記号:J



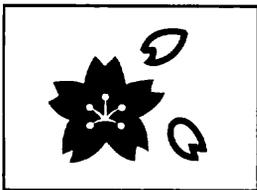
記号:K



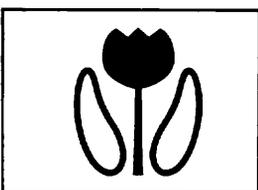
記号:L

イラスト一覧表

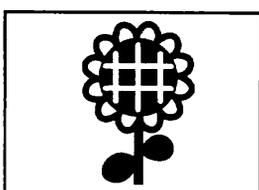
イラスト 



記号:A



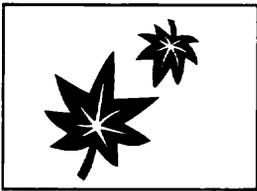
記号:B



記号:C



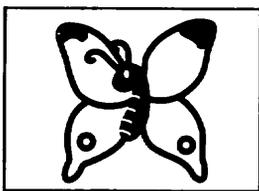
記号:D



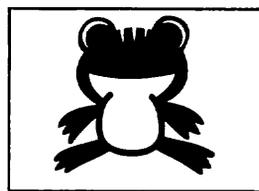
記号:E



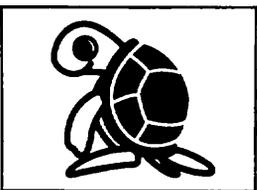
記号:F



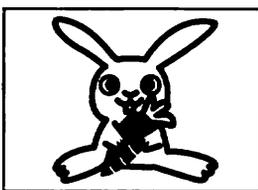
記号:G



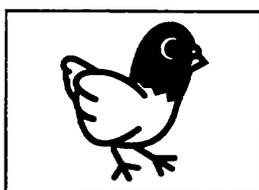
記号:H



記号:I



記号:J



記号:K

キャッチ一覧表

キャッチ 



記号: A



記号: B



記号: C



記号: D



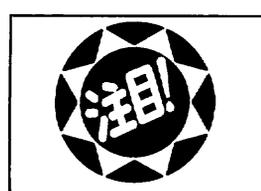
記号: E



記号: F



記号: G



記号: H



記号: I



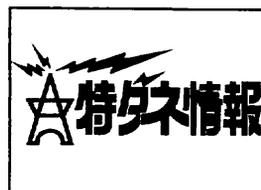
記号: J



記号: K



記号: L



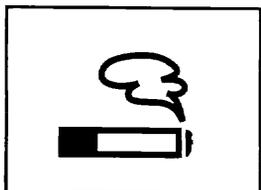
記号: M



記号: N

その他一覧表

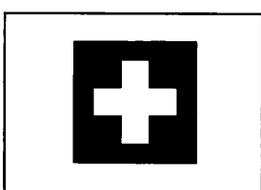
その他 



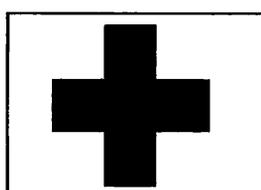
記号: A



記号: B



記号: C



記号: D



記号: E

付録
絵文字一覧表

3. 初期値一覧表

本機で工場出荷時に設定されている値は次の通りです。

区分	設定項目	工場出荷時	備考
□マーク	サイズ	30 mm	電源投入時に工場出荷時の設定になります。
	文字幅	100 %	
	文字間	3 %	
	色	色1	
	書体	太丸ゴシック体	
	斜体	しない	
	均等配列	しない	
	行間	10 %	
ラベル全体にかかわる設定	横書・縦書	横書	電源投入時に工場出荷時の設定になります。
	作画方向	よこ（長さ方向）	
	位置合わせ	複数行の揃え方：前寄 シート幅出力位置：上配置	
	桁合わせ	しない	
諸設定項目	輝度調整	4	設定変更すると電源を切っても記憶されます
	シート選択	通常シート	
	印字濃度	5	
	うしろの余白	あり	

4. ローマ字入力規則表

ローマ字入力で日本語を入力する際の入力規則は次の表のようになります。

あ a	い i yi	う u wu	え e	お o	にや nya	にい nyi	にゆ nyu	にえ nye	によ nyo
か ka ca	き ki	く ku cu qu	け ke	こ ko co	ひや hya	ひい hyi	ひゆ hyu	ひえ hye	ひよ hyo
さ sa	し si ci shi	す su	せ se ce	そ so	みや mya	みい myi	みゆ myu	みえ mye	みよ myo
た ta	ち ti chi	つ tu tsu	て te	と to	りや rya	りい ryi	りゆ ryu	りえ rye	りよ ryo
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	ぎや gya	ぎい gyi	ぎゆ gyu	ぎえ gye	ぎよ gyo
は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	じゃ jya ja	じい zyi jyi	じゆ zyu jyu ju	じえ zye jye je	じよ zyo jyo jo
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	ぢや dya	ぢい dyi	ぢゆ dyu	ぢえ dye	ぢよ dyo
や ya		ゆ yu		よ yo	でや dha	でい dhi	でゆ dhu	でえ dhe	でよ dho
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	びや bya	びい byi	びゆ byu	びえ bye	びよ byo
わ wa	ゐ wi		ゑ we	を wo	ぴや pya	ぴい pyi	ぴゆ pyu	ぴえ pye	ぴよ pyo
	ん	n + (y以外の子音) + 母音			うあ wha	うい whi		うえ whe	うお who
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	くあ kwa qa	くい kwi qi	くう kwu	くえ kwe qe	くお kwo qo
ざ za	じ zi	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	つあ tsa	つい tsi		つえ tse	つお tso
だ da	ぢ di	づ du	で de	ど do	ふあ fwa fa	ふい fwi fi	ふう fwu	ふえ fwe fe	ふお fwo fo
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	うゎあ va	うゎい vi vyi	うゎゆ vu	うゎえ ve vye	うゎお vo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	うゎや vya		うゎゆ vyu		うゎよ vyo
きゃ kya	きい kyi	きゆ kyu	きえ kye	きよ kyo	あ la xa	い li xi	う lu xu	え le xe	お lo xo
しゃ sya sha	しい syi	しゆ syu shu	しえ sye she	しよ syo sho	や lya xya		ゆ lyu xyu		よ lyo xyo
ちゃ tya cya cha	ちい tyi cyi	ちゆ tyu cyu chu	ちえ tye cye che	ちよ tyo cyo cho		わ lwa xwa		つ ltu xtu	
てや tha	てい thi	てゆ thu	てえ the	てよ tho		か lka xka		け lke xke	

5. 商品仕様

商品名	ビーポップ LC-100KP
キーボード	ラバーキー/70キー
ディスプレイ	液晶表示 132X64ドット
文書メモリ	内部: 最大100ファイル/最大5000文字 外部(オプションメモリパックLC-100M): 最大200ファイル/最大10000文字
搭載フォント、他	文字: 太丸ゴシック、太角ゴシック体 (JIS第1水準・第2水準。非漢字には特字 101文字含む。) 絵文字: 74種
印字方式	熱転写方式
印字密度	200dpi
印字速度	0.01m/s
最大出力範囲	100X2000mm/1ラベル
最大入力行数	6行
使用環境	温度: 10~35℃ 湿度: 35~80%(ただし結露しないこと)
電源	AC100V 10% 50/60Hz
消費電力	最大40W
外形寸法	シートホルダー収納時: W300 X D290 X H250(mm) シートホルダー開口時: W300 X D350 X H250(mm)
質量	6Kg

6. 保証書／保守サービス

【保証書について】

- * 保証期間中万一故障した場合、保証記載内容に基づき無料修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- * 保証期間後の修理はお買い求めの販売店、弊社営業所、又はマックスサービス（株）窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に応じ有償修理いたします。
- * 保証書は、同梱されております。付属のお客様アンケートカードに所定の事項をご記入の上、ご返送ください

【保守サービスについて】

- * お買い上げの販売店、又は弊社営業所、マックスサービス（株）にご相談ください。
- * 持ち込み修理：修理品を販売店、又はマックスサービス（株）の窓口にお持ち込みください。